

港区高校生世代実態調査 報告書

令和5（2023）年10月

港区

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区

目次

第1章 アンケート調査実施概要.....	1
1 調査目的.....	1
2 調査の実施概要.....	1
3 調査内容.....	1
4 回収結果.....	1
5 報告書の見方.....	2
第2章 高校生世代アンケート調査結果.....	3
1 あなたについて.....	3
2 普段の生活について.....	14
3 悩みや居場所について.....	17
4 区の施策について.....	31
5 考察.....	42
第3章 保護者アンケート調査結果.....	54
1 あなた（調査対象のお子さんの保護者）について.....	54
2 調査対象のお子さんとのかかわり方について.....	58
3 子どもの悩みやあなたの悩みについて.....	62
4 区の施設について.....	67
5 考察.....	75
第4章 ヒアリング調査結果.....	79
1 調査目的.....	79
2 実施概要.....	79
3 調査結果.....	80
(1) 児童館・子ども中高生プラザ.....	80
(2) 高校.....	100
第5章 国や都の政策動向.....	107
1 国の動向.....	107
(1) こども政策の新たな推進体制に関する基本方針とこども家庭庁の創設.....	107
(2) こどもの居場所づくりに関する調査.....	107
(3) こども基本法（令和5年4月1日施行）.....	108
(4) こども大綱（令和5年末閣議決定予定）.....	108
(5) こどもの居場所づくりに関する指針（仮称）.....	109

2	都の動向	110
	(1) 子供の居場所創設事業	110
	(2) 子供食堂推進事業	110
	(3) 都立高校の魅力向上に向けた実行プログラム	110
第6章	調査結果のまとめ	111
1	アンケート調査の主な結果	111
	(1) 高校生世代の悩み、居場所、居心地がよいと感じる人について	111
	(2) 悩み・居場所・居心地がよいと感じる人の有無と自己肯定感等の関係について	111
	(3) 子ども中高生プラザについて	111
	(4) 高校生世代の居場所づくりについて	112
2	ヒアリング調査の主な結果	113
	(1) 児童館・子ども中高生プラザの現状	113
	(2) 高校生世代の居場所づくりについて	113
3	こどもの居場所づくりに関する調査（内閣官房）の結果の概要	114
	(1) 有識者や関係団体等へのヒアリング	114
	(2) こども・若者への個別ヒアリング	114
	(3) こども・若者へのアンケート調査	114
4	今後の取組の方向性	115
	(1) 子ども中高生プラザの利活用の促進	115
	(2) 非交流型施設の検討	115
参考資料		116
1	単純集計	116
	高校生世代	116
	保護者	129
2	クロス集計	135
	高校生世代	135
3	調査票	157
	高校生世代	157
	保護者	169

第1章 アンケート調査実施概要

1 調査目的

港区では、高校生世代が家庭や学校のほかに、思春期特有の悩みや不安などを相談でき、本音を言うことができる安全で安心して過ごせる第三の居場所を新しく作ることを検討している。

本調査は、高校生世代の実態を正確に把握し、気軽に相談できる環境や体制の整備など、必要な支援につなげる対応策に取り組むための基礎資料を得ることを目的として実施した。

2 調査の実施概要

- | | |
|--------|-------------------------|
| 1 調査対象 | 港区在住の高校生世代とその保護者 |
| 2 標本数 | 高校生世代：4,815人、保護者：4,513人 |
| 3 調査方法 | 郵送配付、郵送・WEBにより回収 |
| 4 調査期間 | 令和5年3月13日（月）～4月4日（火） |

3 調査内容

【高校生世代】

- 1 普段の生活について
- 2 悩みや居場所について
- 3 区の施策について
- 4 基本属性

【保護者】

- 1 調査対象のお子さんとのかかわり方について
- 2 子どもの悩みやあなたの悩みについて
- 3 区の施策について
- 4 基本属性

4 回収結果

- | | |
|---------|---|
| 1 標本数 | 高校生世代：4,815人、保護者：4,513人 |
| 2 有効回収数 | 高校生世代：787人（郵送：360人、WEB：427人）、
保護者：748人（郵送：388人、WEB：360人） |
| 3 有効回収率 | 高校生世代：16.3%、保護者：16.6% |

5 報告書の見方

- 1 図表内のnとは、回答者総数（または該当設問での該当者数）のことである。
- 2 集計は、小数点第2位を四捨五入している。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 3 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100.0%を超える場合がある。
- 4 本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮または簡略化している。
- 5 クロス集計は、コメントで着目している数値には網掛けをしている。
- 6 クロス集計表は、サンプル数が20未満と少ないものについては、集計結果を参考程度に示すため、本文中に図表を掲載しているが、コメントは記載していない（階層別集計を除く）。
- 7 クロス集計表のnの列は回答者数を示し、表頭の選択肢におけるそれぞれの数値は割合（%）を示している。
- 8 掲載している自由回答は、寄せられた回答の一部を抜粋している。回答内容は、原則として原文のまま掲載しているが、回答者の特定を避けることと等を目的として、趣旨を変えずに文言等を修正している場合がある。

第2章 高校生世代アンケート調査結果

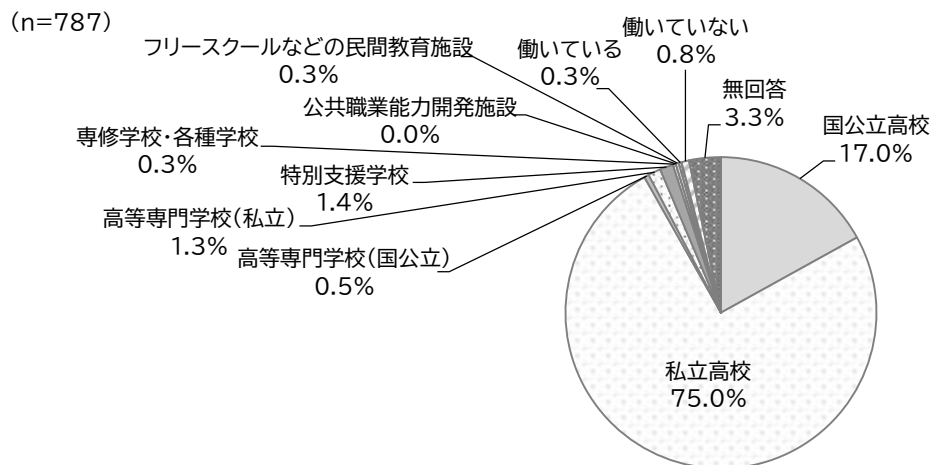
1 あなたについて

POINT | あなたについて

- 区内の高校生世代の9割以上が就学しており、そのうちの約8割が私立高校に通っている。
- 区外の23区の学校・職場に通っている人が約6割、区内の学校・職場に通っている人は約1割に留まる。
- 約半数が区内に15年以上居住している。
- 約7割がきょうだいと同居しており、そのうちの約7割が2人きょうだい。
- 学校や職場以外に所属し活動する場がある人は約3割。

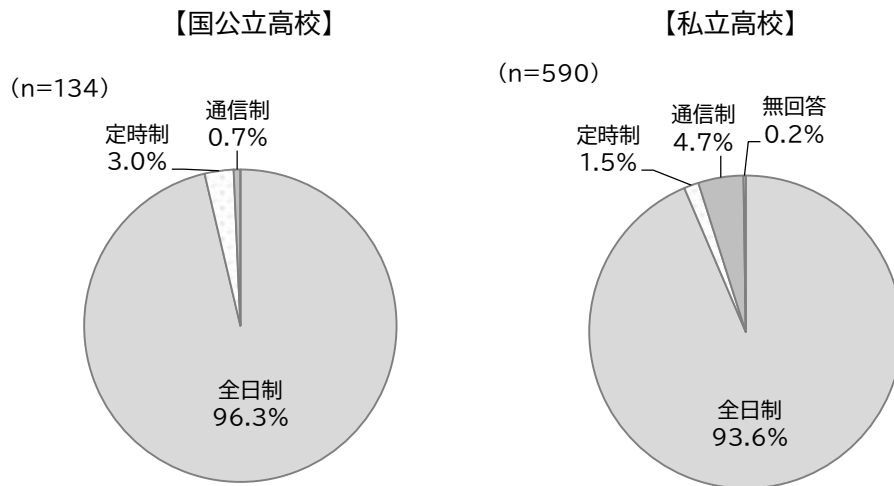
問1 (1) あなたの現在の状況についてお聞きします。※令和5年3月1日時点
就学されている方は1～8、就学されていない方は9・10のいずれかを選択してください。

「私立高校」が75.0%と最も多く、次いで「国公立高校」が17.0%となっている。就労している高校生世代もあり、その割合は0.3%であった。



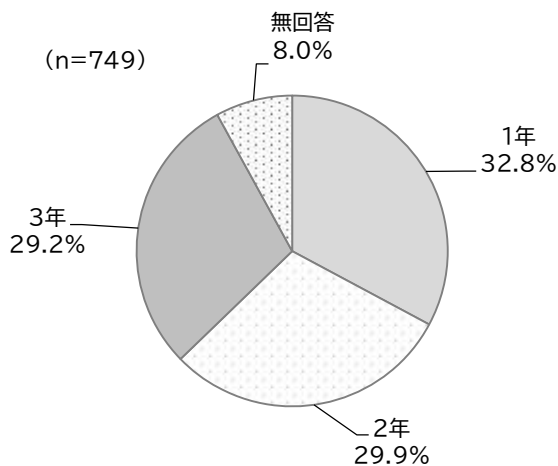
問1 (1) 全日制・定時制・通信制のどれか (国公立高校及び私立高校)

「国公立高校」及び「私立高校」ともに、「全日制」が9割以上を占めている。通信制には差が見られ、国公立高校（0.7%）よりも私立高校（4.7%）の方が通信制の割合が高かった。



**問1 (1) で「1 国公立高校」から「5 特別支援学校」のいずれかを選択した人のみ回答
問1 (2) 学年を教えてください。(○は1つ)**

「1年」が32.8%と最も多く、次いで「2年」が29.9%、「3年」が29.2%となり、高校生世代の人口の年齢別割合と近似した結果となっている。



【参考】 区の16～18歳人口

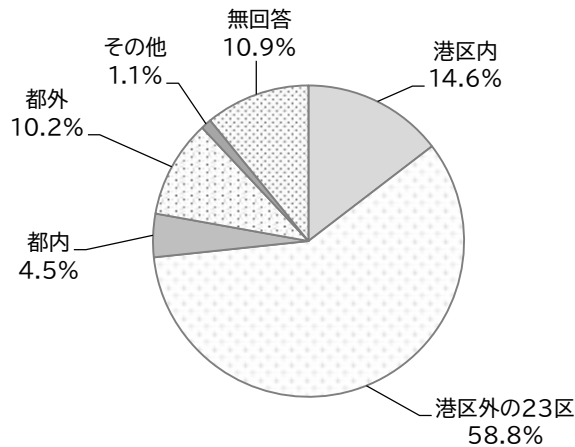
	人口	割合
16歳	1,716	34.8%
17歳	1,558	31.6%
18歳	1,654	33.6%
合計	4,928	100.0%

※R5.4.1現在

問1 (1) で「1 国公立高校」から「9 働いている」のいずれかを選択した人のみ回答
 問1 (3) あなたの通っている学校または職場はどこにありますか。(〇は1つ)

「港区外の23区」が58.8%と最も多く、次いで「港区内」が14.6%、「都外」が10.2%となっている。「区外」(全体から「港区内」と「無回答」を除く)は74.6%となり、高校生世代の多くが区外を拠点に活動していることが分かる。

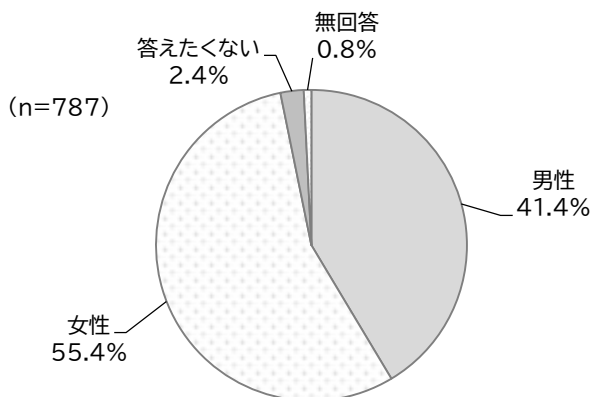
(n=755)



「その他」の内訳
 海外、通信・オンライン

問2 性別を教えてください。(〇は1つ)

「女性」が55.4%と最も多く、次いで「男性」が41.4%、「答えたくない」が2.4%となっている。本調査の回答において、大きな男女の偏りは見られない。



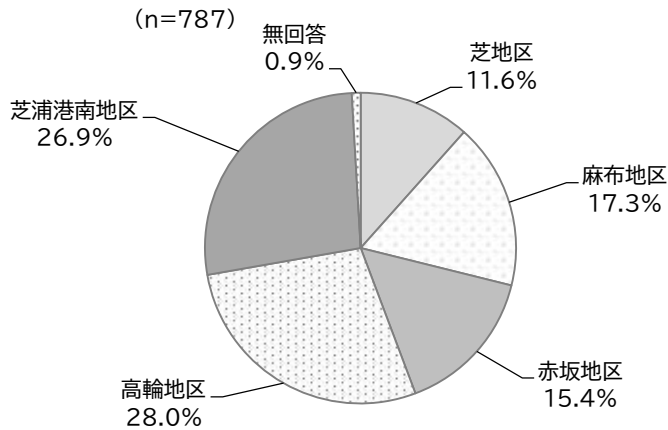
【参考】区の16～18歳の男女比

	人口	割合
男性	2,466	50.0%
女性	2,462	50.0%
合計	4,928	100.0%

※R5.4.1 現在

問3 あなたのお住まいはどの地区ですか。(○は1つ)

「高輪地区」が 28.0%と最も多く、次いで「芝浦港南地区」が 26.9%、「麻布地区」が 17.3%、「赤坂地区」が 15.4%、「芝地区」が 11.6%となっており、高校生世代の人口の居住地区割合と近似した結果となっている。



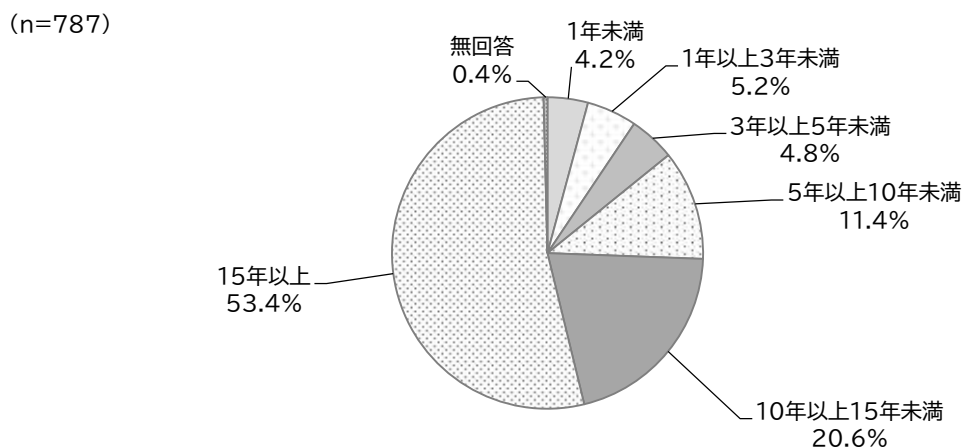
【参考】区の16～18歳の居住地区

	人口	割合
芝	519	10.5%
麻布	1,125	22.8%
赤坂	682	13.8%
高輪	1,259	25.5%
芝港	1,343	27.3%
合計	4,928	100.0%

※R5. 4. 1 現在

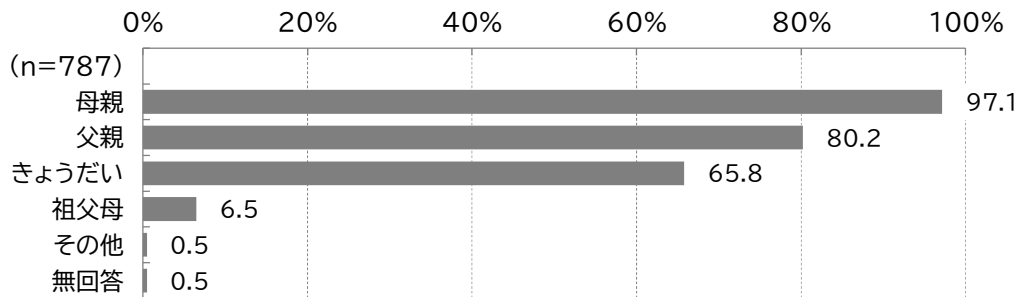
問4 港区での通算の居住年数を教えてください。(○は1つ)

「15年以上」が 53.4%と最も多く、次いで「10年以上15年未満」が 20.6%、「5年以上10年未満」が 11.4%となっている。本調査は、16～18歳になる年度の子どもを対象としているため、区における高校生世代の半数程度が、港区で生まれ育っていることが分かる。



問5 あなたが現在一緒に住んでいる家族の内訳を教えてください。

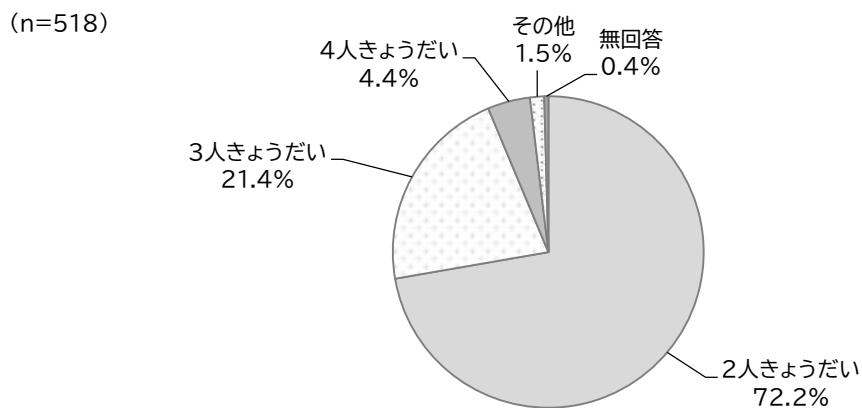
「母親」が97.1%と最も多く、次いで「父親」が80.2%、「きょうだい」が65.8%となっている。母親と父親に16.9ポイントの差が見られ、単身赴任やひとり親家庭など、父親が同居していない家庭が2割程度存在していることが分かる。



問5で「4 きょうだい」を選択した人のみ回答

問6 (1) あなたは、何人きょうだいですか。(〇は1つ)

「2人きょうだい」が72.2%と最も多く、次いで「3人きょうだい」が21.4%、「4人きょうだい」が4.4%となっている。

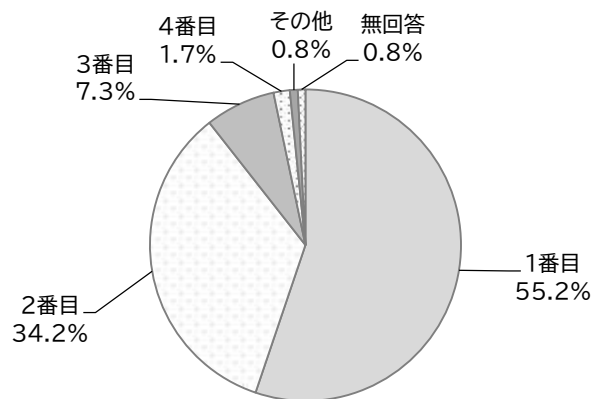


問5で「4 きょうだい」を選択した人のみ回答

問6(2) あなたは、きょうだいの何番目ですか。(〇は1つ)

「1番目」が55.2%と最も多く、次いで「2番目」が34.2%、「3番目」が7.3%となっている。

(n=518)

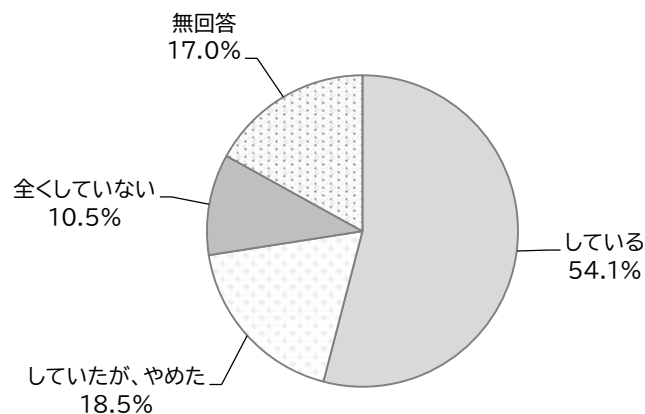


問1(1)で“就学している”(「1 国公立高校」から「8 フリースクールなどの民間教育施設」)のいずれかを選択した人のみ回答

問7 あなたは、部活動をしていますか。(〇は1つ)

「している」が54.1%と最も多く、次いで「していたが、やめた」が18.5%、「全くしていない」が10.5%となっている。

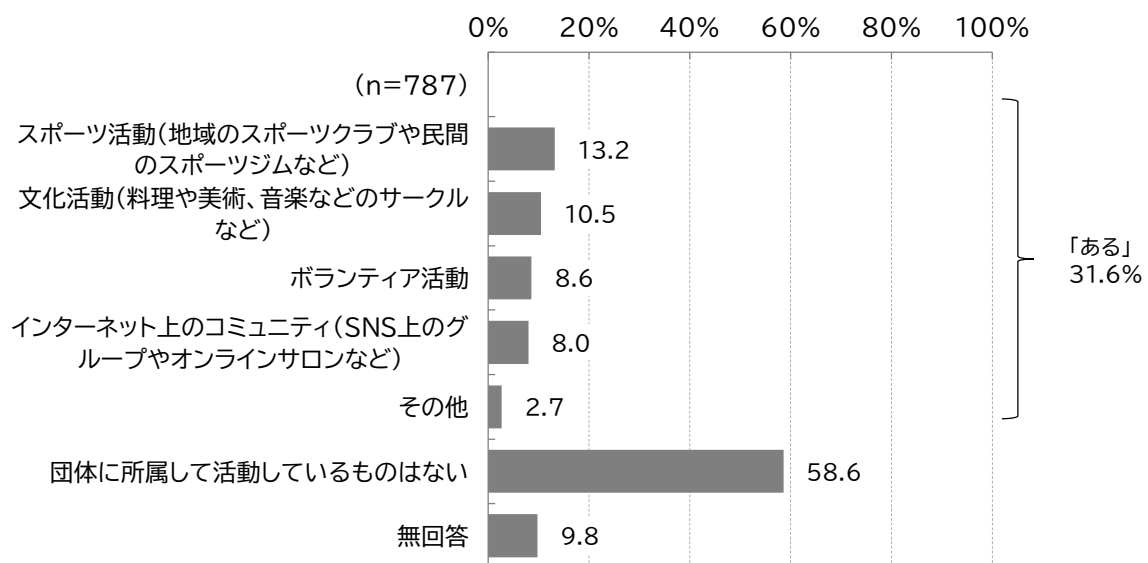
(n=753)



問8 あなたが、学校や職場以外で所属し活動しているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

学校や職場以外で所属し活動しているものが「ある」(100%から「団体に所属して活動しているものはない」と「無回答」を除く)が31.6%、「団体に所属して活動しているものはない」が58.6%となっている。

「ある」の中では、「スポーツ活動(地域のスポーツクラブや民間のスポーツジムなど)」が13.2%、「文化活動(料理や美術、音楽などのサークルなど)」が10.5%となっている。



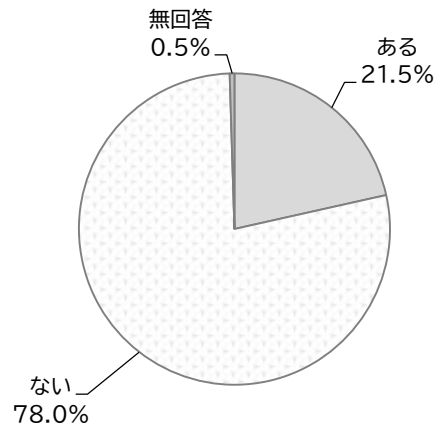
「その他」の内訳

消防少年団、児童館、評議委員会、かるた会、ボーイスカウト、ガールスカウト、東京都こどもシンポジウムティーンズアクション、東京都こども編集者、サマーキャンプ、デイサービス、教会、キッズドア教育、教師

問9 あなたは、アルバイトをしたことはありますか。(現在している場合も含む) (○は1つ)

「ない」が78.0%と最も多く、次いで「ある」が21.5%となっている。

(n=787)

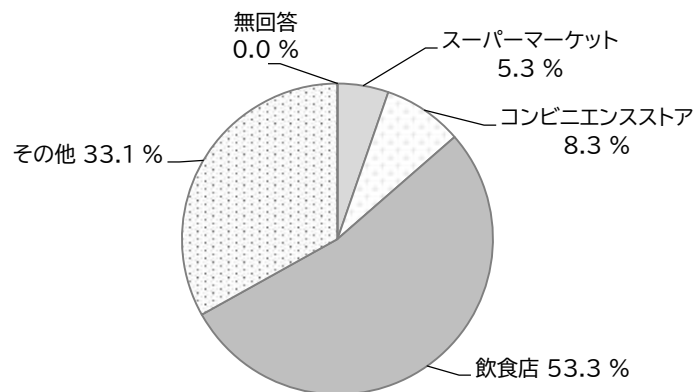


問9で「1 ある」を選択した人のみ回答

問9(1) アルバイトの内容を教えてください。(○は1つ)

「飲食店」が53.3%と最も多く、次いで「コンビニエンスストア」が8.3%、「スーパーマーケット」が5.3%となっている。

(n=169)



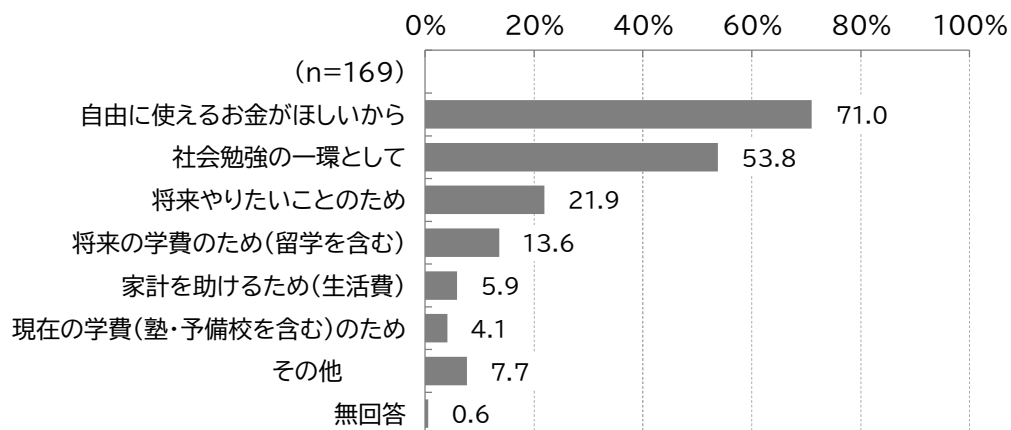
「その他」の内訳

IT会社、イベントスタッフ、運送、家庭教師、教育施設、検温、コールセンター、サマーキャンプ、自然観察の講師、事務所移転、ジムスタッフ、塾講師、塾の受付、小規模無認可保育園、神社、製菓小売、税理士事務所、接客、単純作業、テーマパーク、ドラッグストア、人材派遣・力仕事、バスモニター、バルーン屋、ブライダル、ホテルのスタッフ、本屋、モデル、輸入食品専門店

問9で「1 ある」を選択した人のみ回答

問9 (2) アルバイトを始めた理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「自由に使えるお金がほしいから」が71.0%と最も多く、次いで「社会勉強の一環として」が53.8%、「将来やりたいことのため」が21.9%となっている。



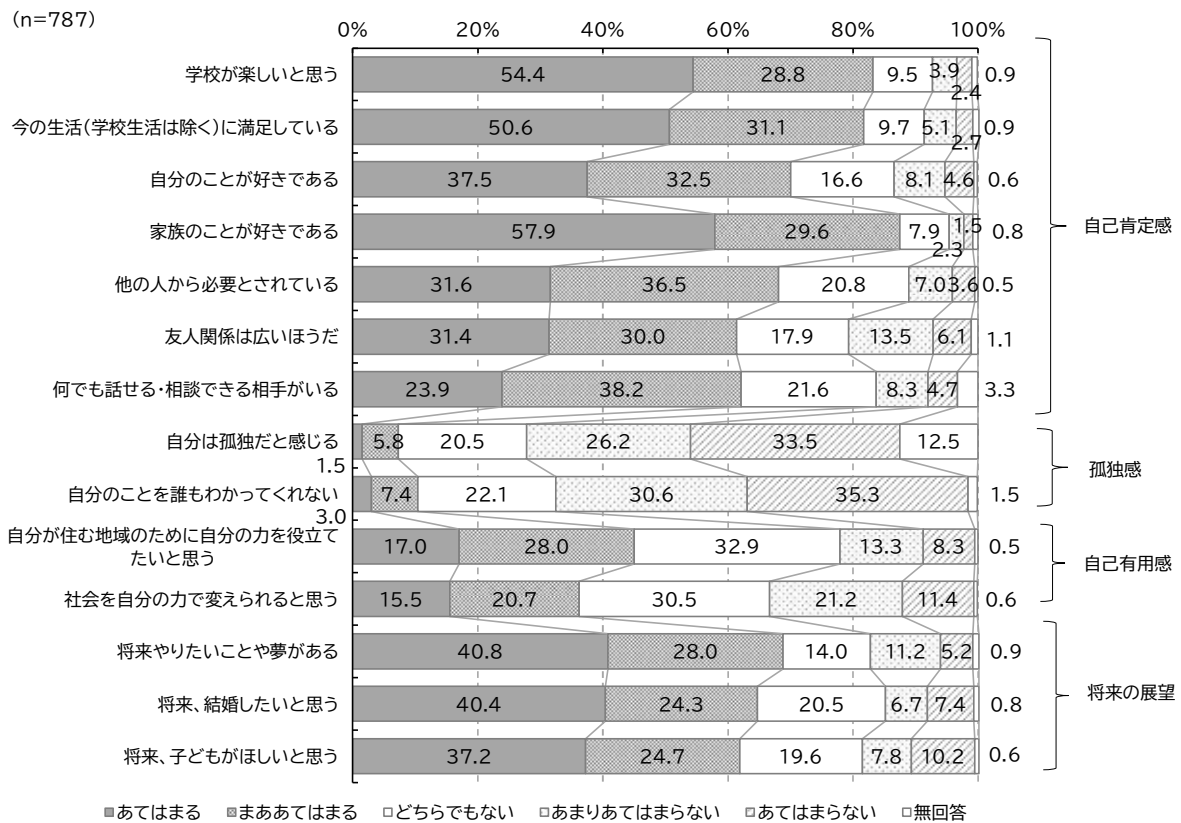
「その他」の内訳

街で誘われたため・暇な時間ができたため・楽しそうだったから・家業・進学のため・親の友人の紹介・高校生のうちにバイトをすることが夢だったのと、春休みという自由な時間が重なったので・医療費を自分で払うため・先生に頼まれたから・将来の生活費などのため・兄の紹介・社会経験

問 10 次のことについて、自分にあてはまるものに○をつけてください。(それぞれに1つ○)

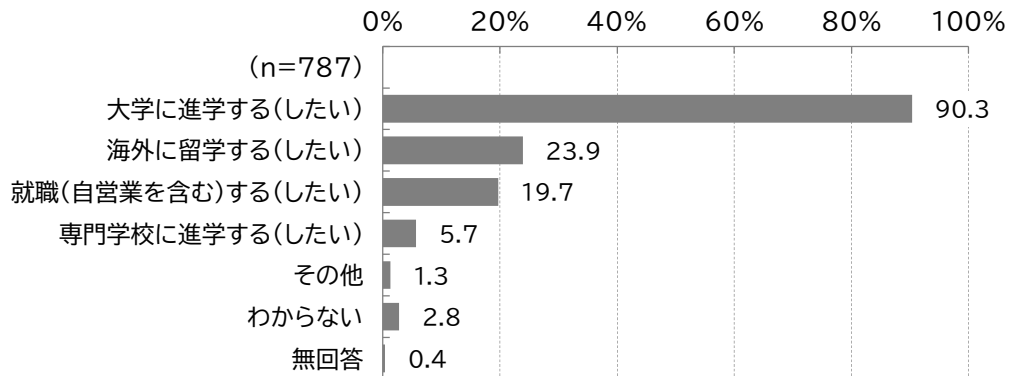
「今の生活に満足している」など自己肯定感を問う設問について、「あてはまる」「まああてはまる」を合わせた評価でみると、「家族のことが好きである」が 87.5%と最も多く、次いで「学校が楽しいと思う」が 83.2%、「今の生活（学校生活は除く）に満足している」が 81.7%となっている。一方で、これらの設問に対して、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答している者が一定数存在していることが分かる。

また、「自分は孤独だと感じる」など孤独感を問う設問について、「あてはまる」「まああてはまる」を合わせた評価でみると、「自分は孤独だと感じる」が 7.3%、「自分のことを誰もわかってくれない」が 10.4%となり、少数ではあるものの、孤独感を感じている者がいることが分かる。



問 11 あなたの今後の展望について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「大学に進学する(したい)」が90.3%と最も多く、次いで「海外に留学する(したい)」が23.9%、「就職(自営業を含む)する(したい)」が19.7%となっており、回答者の9割以上が進学を視野に入れていることが分かる。



「その他」の内訳

・オペラ歌手になる・アイドルとして韓国で活動する・創作活動・バレエ団に入団する・起業・研究者・航空学生になりたい・夢を追いかける・スターになる

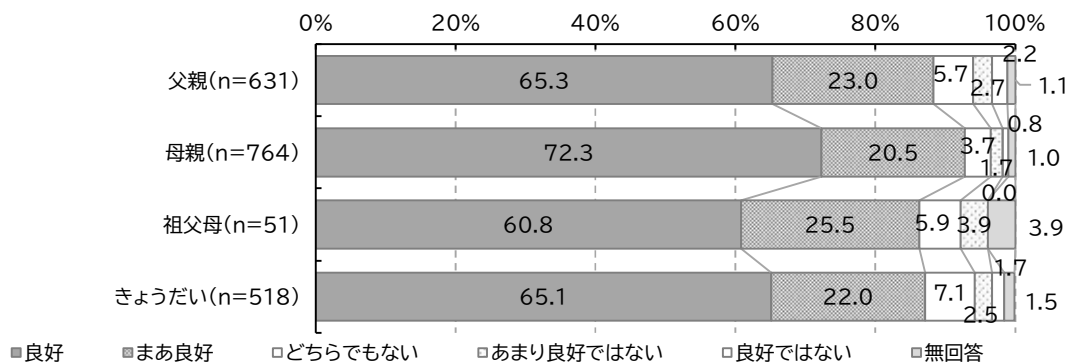
2 普段の生活について

POINT | 普段の生活について

- 高校生世代の8割以上が、両親やきょうだい、祖父母など、同居家族との関係性について良好と捉えている。
- 学校生活や進路・将来について家族と話す人が約8割、友人関係について話す人も約7割いる。
- 高校生世代の多くが、友人と会っているときや、動画やウェブサイトを開覧しているときに楽しいと感じている。

問12 一緒に住んでいる家族との関係性について教えてください。

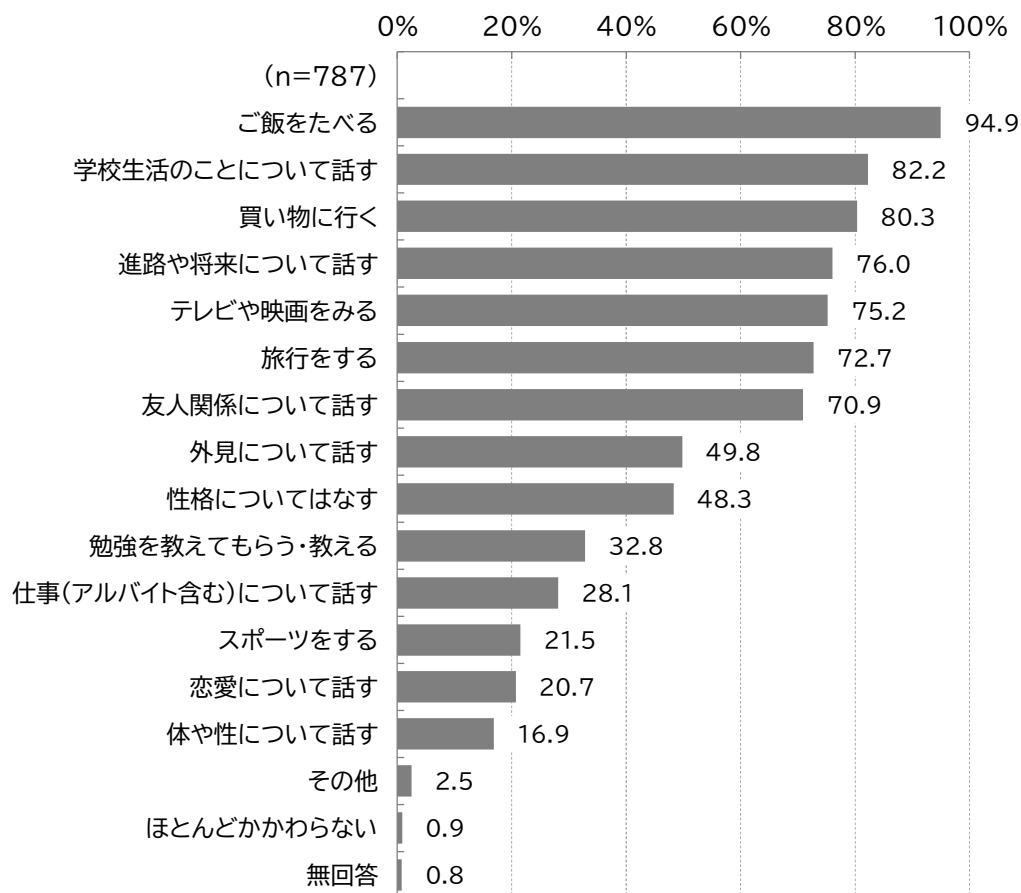
「良好」「まあ良好」を合わせた肯定的評価でみると、「母親」が92.8%、「父親」が88.3%、「きょうだい」が87.1%、「祖父母」が86.3%となっている。



※「その他」は、回収数が少ない（n = 4）ため、図表化していません。

問 13 あなたは、普段家族とどのようにかかわっていますか。(あてはまるものすべてに○)

「ご飯を食べる」が 94.9%と最も多く、次いで「学校生活のことについて話す」が 82.2%、「買い物に行く」が 80.3%となっている。「進路や将来について話す (76.0%)」や「友人関係について話す (70.9%)」なども7割以上の回答があり、多くの家庭でコミュニケーションの機会があることが分かる。

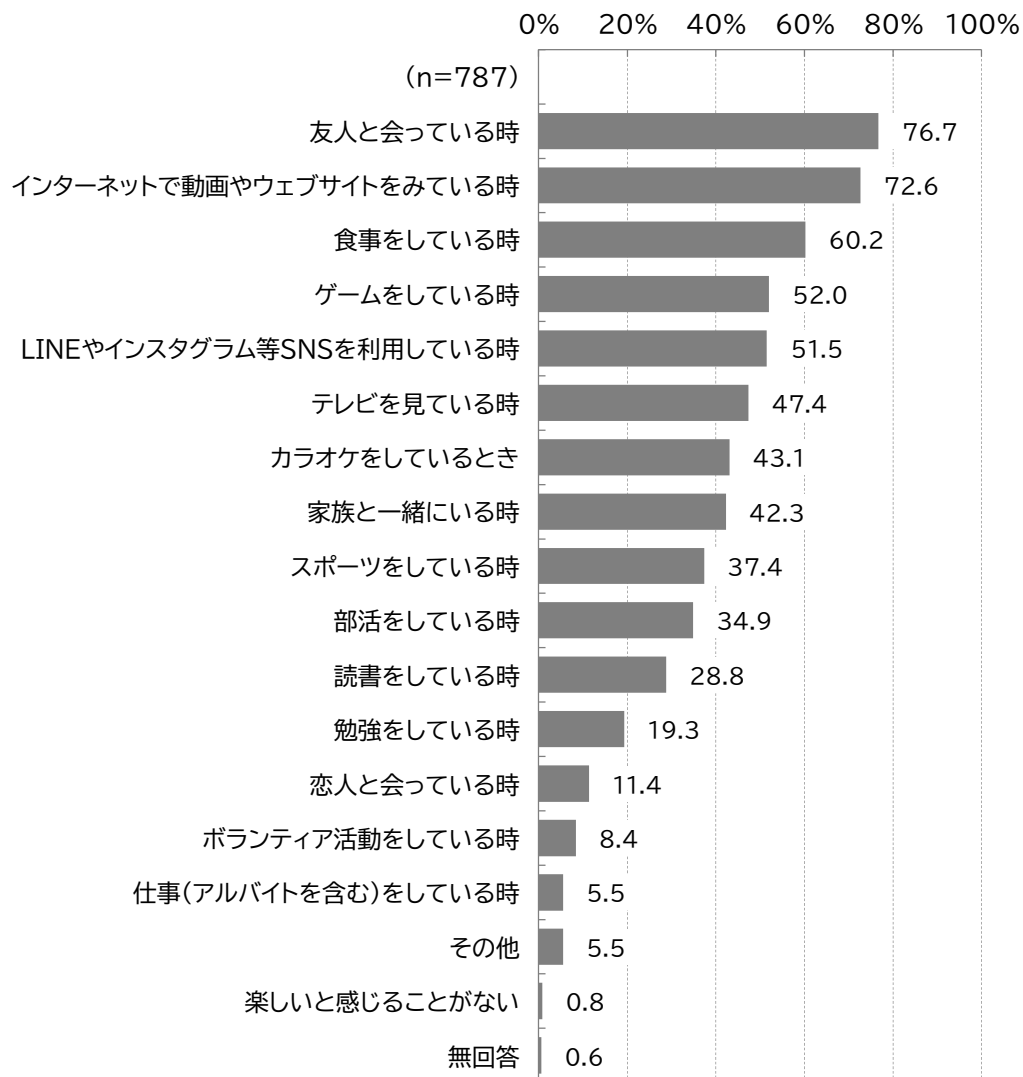


「その他」の内訳

・必要最低限の会話・サッカー観戦・スキンシップをとる・YouTuber をしているので、YouTube に関する話をする・ニュースを見ながらその話題について議論する・趣味、お金、それぞれの将来などについて話す・学校や部活動への送迎・趣味の話をする・自分の好きなことについて話す。(例：バスケや野球の試合のこと、政治や社会のことについて)・筋肉について多く話す・父親とは何もしません・ヲタ活について・習い事について話す・いっしょにねる・何でも話す

問 14 あなたは、普段何をしている時が楽しいと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

「友人と会っている時」が76.7%と最も多く、次いで「インターネットで動画やウェブサイトを見ている時」が72.6%、「食事をしている時」が60.2%となっている。コミュニケーションを有する行動と個人の行動の両方が上位となっている。



「その他」の内訳

趣味を楽しんでいる時、創作活動をしている時、出かけているとき、寝ている時、お風呂に入っている時、学校にいるとき

3 悩みや居場所について

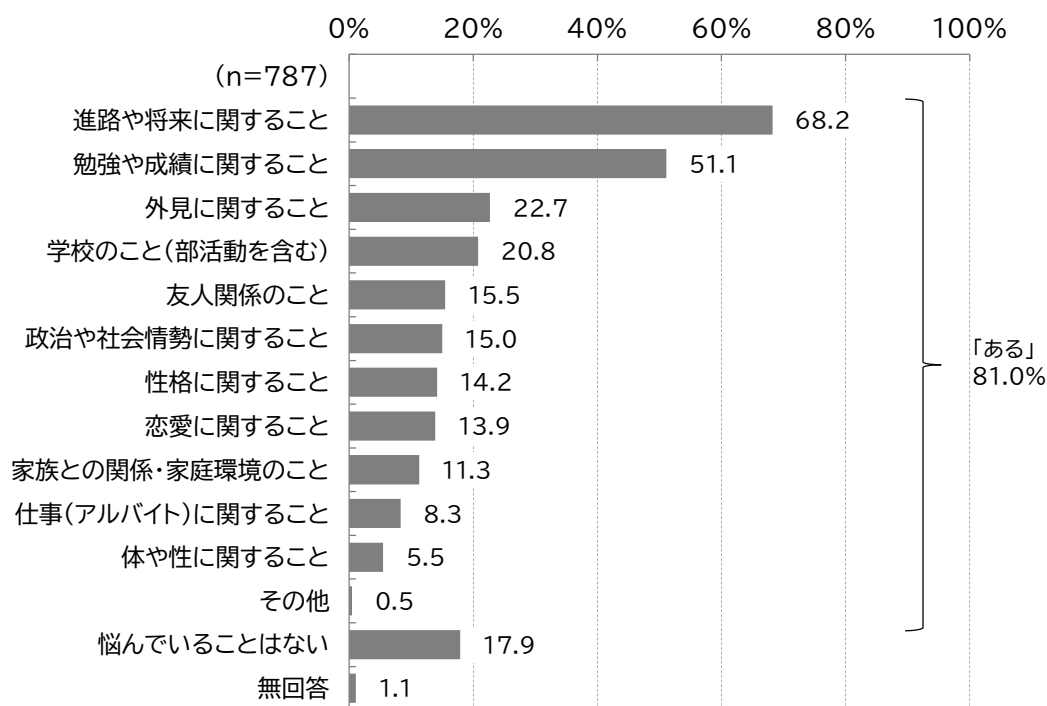
POINT | 悩みや居場所について

- 高校生世代の約8割が、進路や勉強、外見など何らかの悩みを抱えている。
- 悩みの相談先は、友人、母親が約7割と多く、父親は3割、学校の先生は2割に過ぎない。
- 約1割は、相談が面倒等を理由に、悩みを抱えても誰にも相談しない。
- 9割以上が、自宅や学校など居心地がよいと感じる場所を持っている。
- 9割以上が、友人や家族など一緒にいて居心地がよいと感じる人がいる。

問15 現在抱えている悩みはありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在抱えている悩みは「ある」(回答合計から「悩んでいることはない」と「無回答」を除く)が81.0%、「悩んでいることはない」が17.9%となっている。

また、「ある」の中では、「進路や将来に関すること」が68.2%と最も多く、次いで「勉強や成績に関すること」が51.1%、「外見に関すること」が22.7%となっている。大学進学を控え、進路や勉強に関する悩みとともに、外見や友人関係、恋愛など思春期特有の悩みも挙げられている。



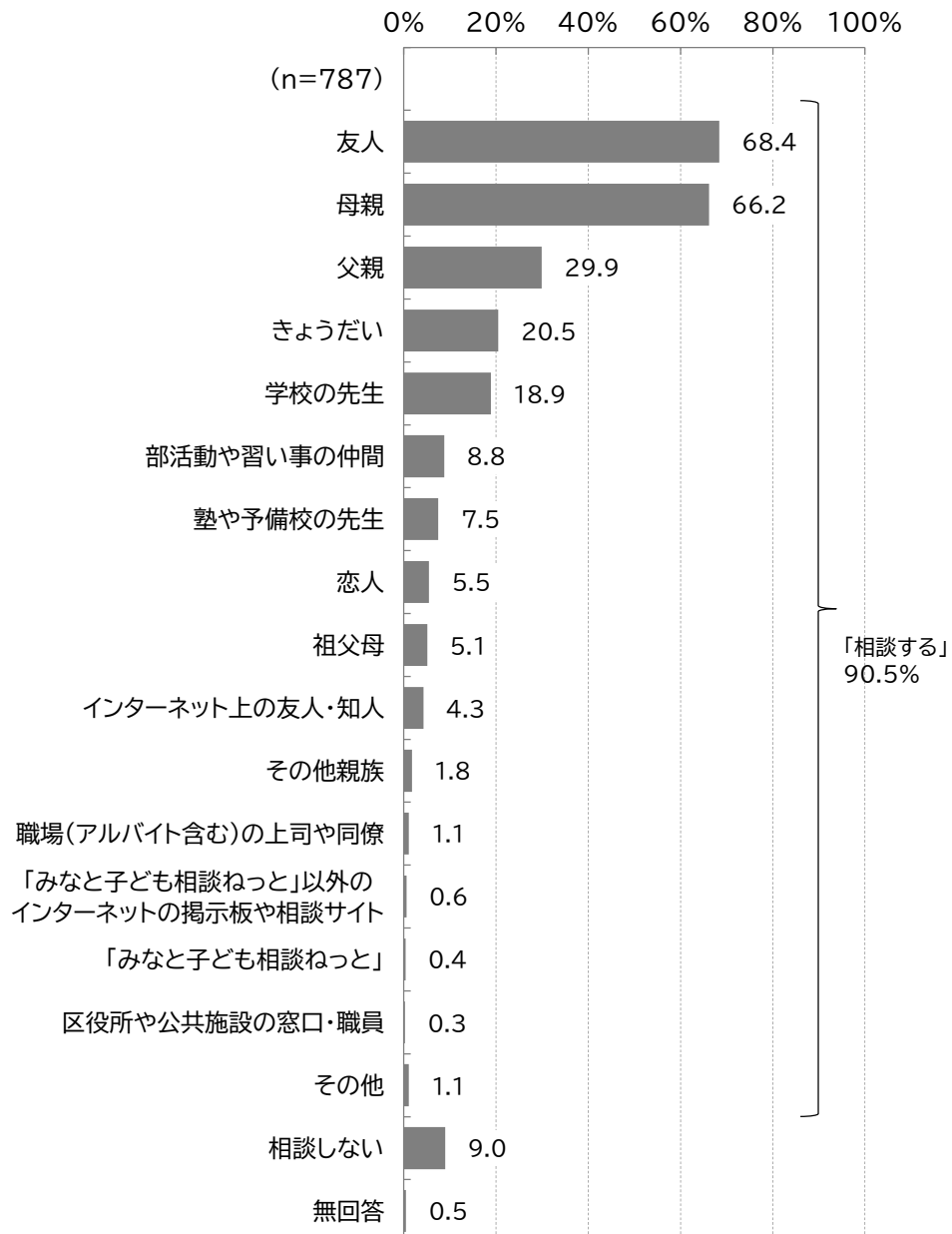
「その他」の内訳

・体調に関すること・持病・自身の能力について・入りたい部活がないから作りたいけど、作れそうにないから

問 16 あなたは、悩みを抱えた時、誰に（どこに）相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

悩みを抱えた時、誰かに（どこかに）「相談する」（100%から「相談しない」と「無回答」を除く）が90.5%、「相談しない」が9.0%となっている。

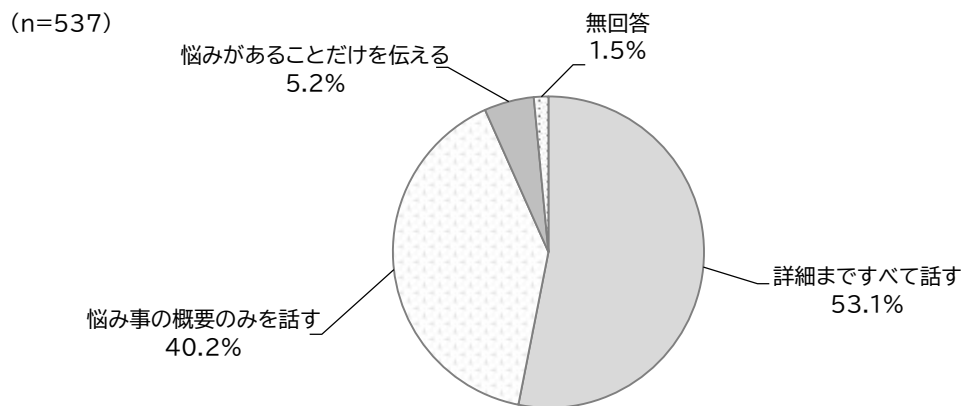
また、「相談する」の中では、「友人」が68.4%と最も多く、次いで「母親」が66.2%となっている。一方、「父親」は29.9%、学校の先生は18.9%にとどまっている。



「その他」の内訳
 スクールカウンセラー、メンタルクリニック

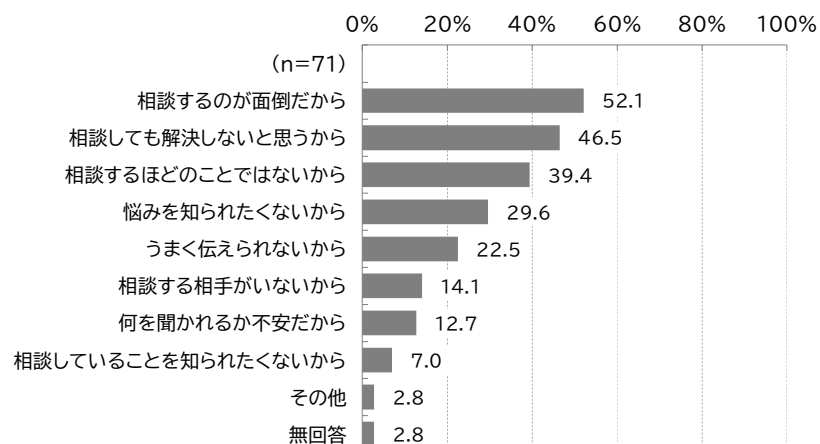
問 16 で「1 父親」と「2 母親」のいずれかまたは両方を選択した人のみ回答
 問 16 (1) あなたは、あなたのお父さんまたはお母さんに悩みを相談するとき、どの程度話
 しますか。(〇は1つ)

「詳細まですべて話す」が 53.1%と最も多く、次いで「悩み事の概要のみを話す」が 40.2%、「悩みがあることだけを伝える」が 5.2%となっている。



問 16 で「18 相談しない」を選択した人のみ回答
 問 16 (2) 相談しないのはなぜですか。理由を教えてください。(あてはまるものすべてに
 〇)

「相談するのが面倒だから」が 52.1%と最も多く、次いで「相談しても解決しないと思うから」が 46.5%、「相談するほどのことではないから」が 39.4%となっている。「うまく伝えられないから (22.5%)」や、「相談する相手がいないから (14.1%)」など、相談したくてもできない状況に置かれていると思われる回答も一定数見られる。

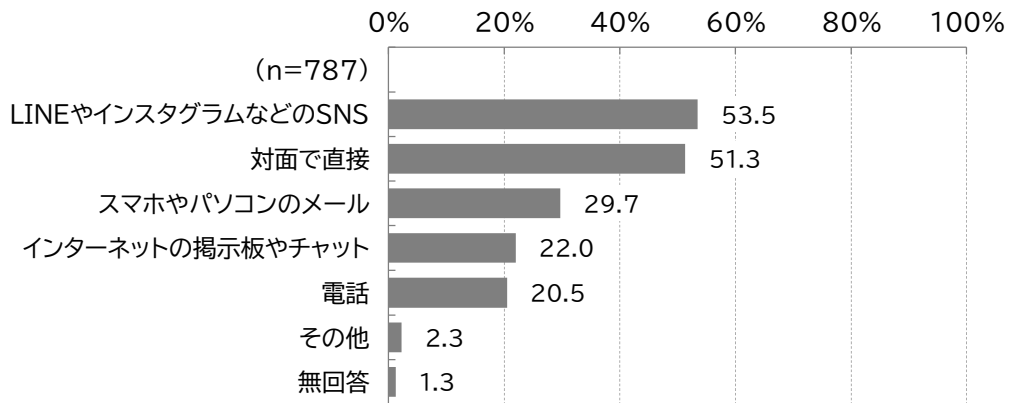


「その他」の内訳

・悩んでいるのは自分だけではないから・興味ない

問 17 どのような方法であれば相談しやすいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「LINE やインスタグラムなどの SNS」が 53.5%と最も多く、次いで「対面で直接」が 51.3%、「スマホやパソコンのメール」が 29.7%となっている。

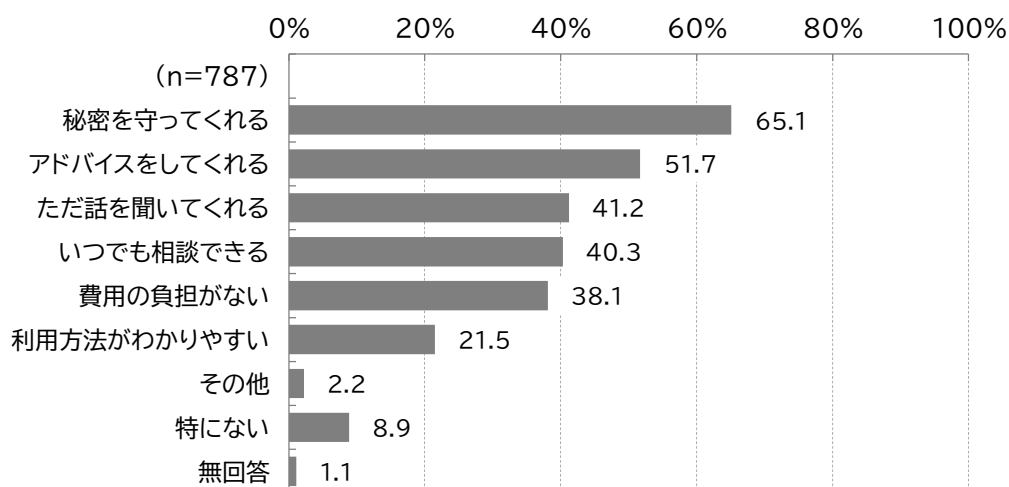


「その他」の内訳

・Zoom とかの相手の顔が見えるもの・対面だけど、こちらの顔はあまり見えない方がいいと思う

問 18 あなたが悩みについて誰か（どこか）に相談するとき、相談先を選ぶ基準として重視することはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「秘密を守ってくれる」が 65.1%と最も多く、次いで「アドバイスをしてくれる」が 51.7%、「ただ話を聞いてくれる」が 41.2%となっている。そういった相談相手に関する基準に加え、「いつでも相談できる（40.3%）」、「費用の負担がない（38.1%）」、「利用方法がわかりやすい（21.5%）」など、相談先利用の利便性に関する基準も一定程度重視されている。

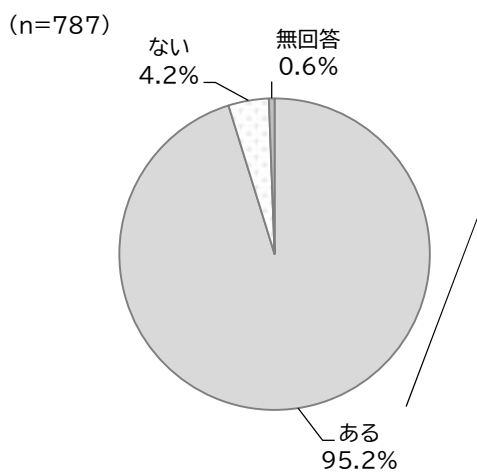


「その他」の内訳

・ 様々な知識を持っていて、価値観があう・自身がその人のことをよく知っている・自分が頼りたいと思う人・否定されない・信用している・わかったような口を聞かない、あまり深く干渉してこない・自分の弱さを見せても変に同情したりあわれんだりしない人・安心感がある人・手間がかからない・軽さがある・近い距離にある・相手の人柄・相手の所属などがしっかりとわかる

問 19 普段居心地がよいと感じる場所がありますか。(○は1つ)

「ある」が 95.2%と最も多く、次いで「ない」が 4.2%となっている。居心地の良い場所があると回答した中で、自宅以外にも居心地の良い場所があると回答したのは 66.6%、居心地の良い場所は自宅のみと回答したのは 33.4%であり、全国規模の調査と比較すると、自宅以外に居心地の良い場所があると回答した割合は、同程度であった。



【参考】自宅以外に居心地の良い居場所がある割合

		件数	割合
ある (n=749)	自宅以外にもある	499	66.6%
	自宅のみ	250	33.4%

【参考：内閣官房「こどもの居場所づくりに関する調査研究」（令和5年3月）】

・年齢別、自宅以外の居心地の良い居場所の有無（16～18歳、n=486）

自宅以外に居心地の良い居場所がある	61.5%
自宅以外に居心地の良い居場所がない	38.5%

・性別、自宅以外の居心地の良い居場所の有無（おおむね30歳までの子ども・若者）

	居場所がある	居場所がない
男（n=921）	61.8%	38.2%
女（n=1,002）	64.7%	35.3%
わからない、答えたくない（n=113）	63.7%	36.3%

問 19 で「1 ある」を選択した人のみ回答

問 19 (1) あなたが居心地がよいと感じる場所は、どこですか。(あてはまるものすべてに○)

「自宅」が 90.8%と最も多く、次いで「学校」が 32.8%、「部活動や習い事の場所」が 14.3%となっている。

全国規模の調査では、「オンライン空間」と回答する人が約4割いる一方、区の調査で「インターネット上のオンライン空間」と回答する人は約1割にとどまる。



「その他」の内訳
カフェ・喫茶店、親族の家、学校の寮、公共交通機関、自然豊かな場所、商店街、映画館、美術館、神社仏閣、恋人の家、洋服店、体育館、空港、ライブハウス、テーマパーク、オンライン空間、海外、過去に楽しい思い出のある場所、何もない開けた場所、好きな人たちとならどこでも、人の少ない場所

参考：内閣官房「こどもの居場所づくりに関する調査研究」（令和5年3月）

・居場所があると回答した子ども・若者が、どのような場を居場所と感じているか

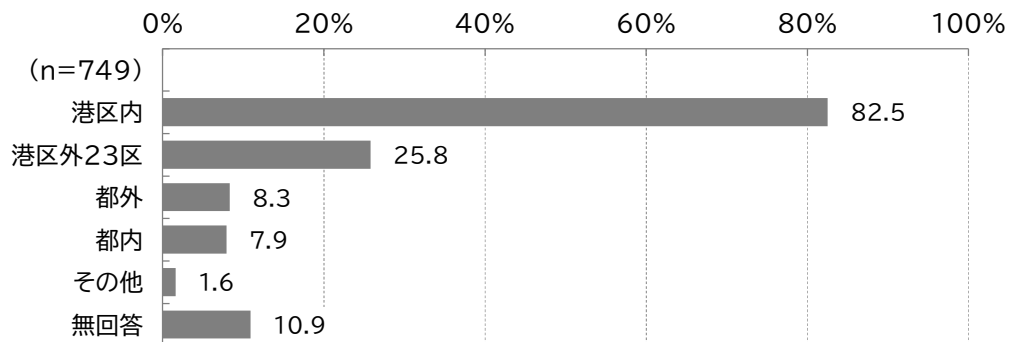
（ア）年齢別、物理的にどのような場か（16～18歳、n=299）

祖父母・親戚の家や友達の家	46.5%
オンライン空間(SNS、オンラインゲームなど)	37.1%
公園や自然の中で遊べる場所	35.8%
学校の教室以外の場所(保健室、図書館、校内カフェなど)	31.1%
ショッピングセンターやファストフードなどのお店	27.1%
図書館や公民館、児童館などの施設	22.1%
児童クラブや習い事(スポーツ少年団等含む)や塾などの場所	13.7%
無料で勉強を見てくれる場所や、食事や軽食を無料か安く食べることができる場所	11.4%
そのほか	7.0%
地域の人が開いている遊びの場所(プレイパークなど)	5.7%
悩みごとの相談にのったり、サポートしてくれる場所(電話やオンラインを含む)	4.7%
無回答	0.7%

問 19 で「1 ある」を選択した人のみ回答

問 19 (2) 問 19 (1) で選択した場所はどこにありますか。(あてはまるものすべてに○)

「港区内」が 82.5% と最も多く、次いで「港区外 23 区」が 25.8% となっており、居住地が区内であることを考えると、比較的自宅に近い場所に居心地の良い居場所を持つ傾向にある。



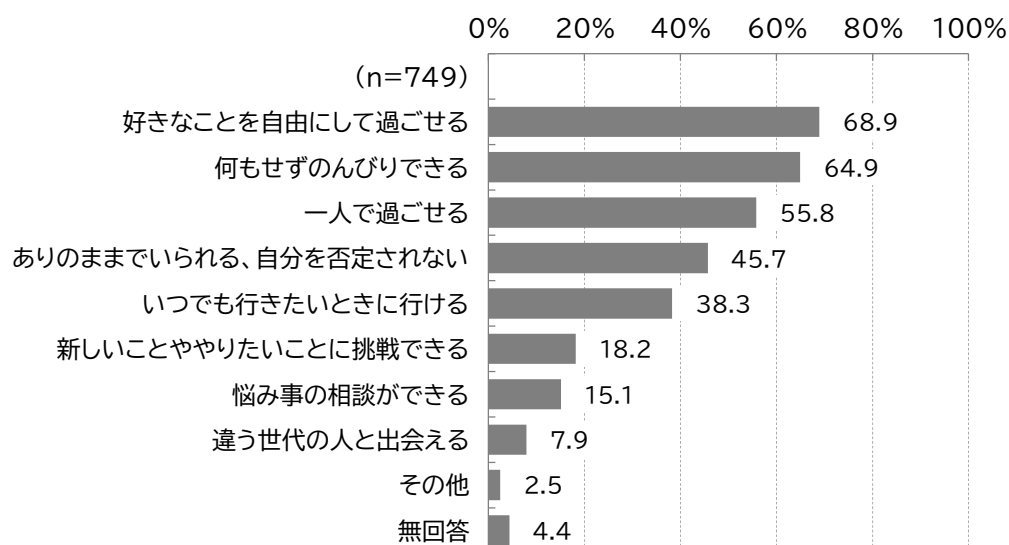
「その他」の内訳

海外、オンライン

問 19 で「1 ある」を選択した人のみ回答

問 19 (3) 問 19 (1) で選択した場所が居心地がよいと感じる理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「好きなことを自由にして過ごせる」が68.9%と最も多く、次いで「何もせずのんびりできる」が64.9%、「一人で過ごせる」が55.8%となっている。他者と交流する場というよりも、自分のしたいことができることが居心地の良さの理由に挙げられており、区の調査の上位3項目は、全国規模の調査の上位2項目とおおむね同水準となっている。



「その他」の内訳

人と交流できる、勉強できる、飲食ができる、安心できる、何かに夢中になれる、静かで落ち着きがある、前向きな気持ちになれる、楽しい

参考：内閣官房「こどもの居場所づくりに関する調査研究」(令和5年3月)

・居場所があると回答したこども・若者が、どのような場を居場所と感じているか

(イ) 年齢別、機能的にどのような場か (16~18歳、n=299)

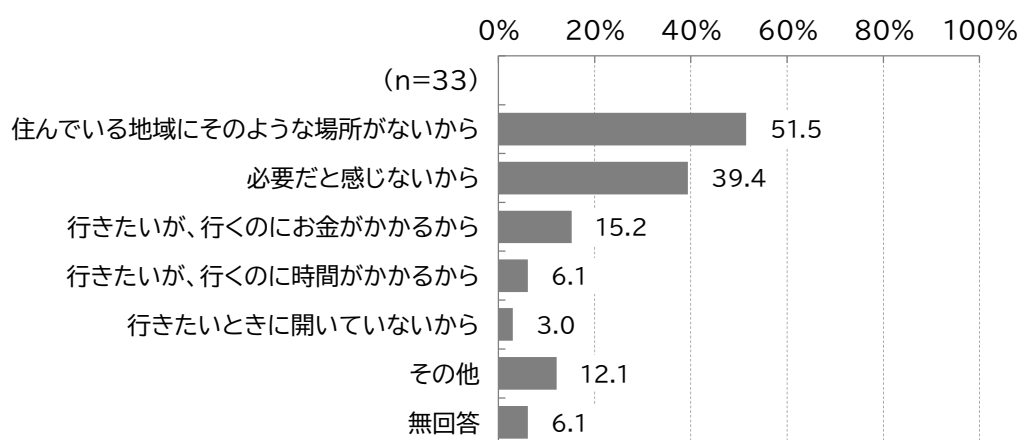
好きなことをして自由に過ごせる	67.6%
一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる	59.9%
いつでも行きたい時に行ける	57.9%
いろんな人と出会える、友人と一緒に過ごせる	44.5%
ありのままでいられる、自分を否定されない	34.1%
新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる	26.8%
悩みごとの相談にのってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいる	19.4%
自分の意見や希望を受け入れてもらえる	18.1%
そのほか	2.3%
無回答	1.3%

問 19 で「2 ない」と選択した人のみ回答

問 19 (4) 居心地がよいと感じる場所がないと思うのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

「住んでいる地域にそのような場所がないから」が 51.5% と最も多く、次いで「必要だと感じないから」が 39.4%、「行きたいが、行くのにお金がかかるから」が 15.2%、「行きたいが、行くのに時間がかかるから」が 6.1% となっており、居場所を求めているにもかかわらず利用できない状況に置かれている回答も一定数見られる。

全国規模の調査と比較すると、「住んでいる地域にそのような場所がない」と「必要性を感じない」が他の項目に比べて多く、同様の傾向となっている。



「その他」の内訳

みつからないから。

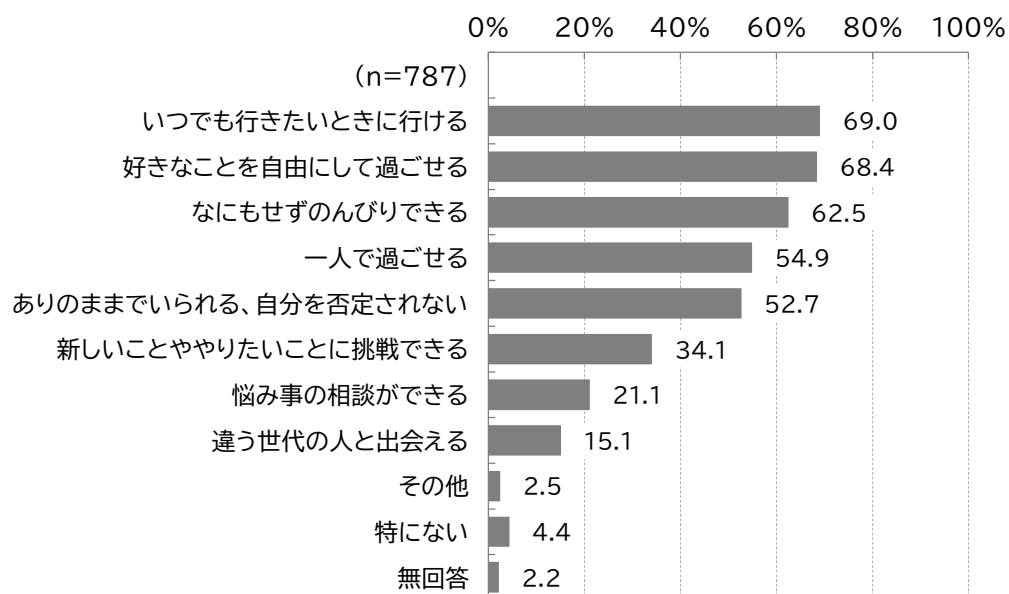
【参考：内閣官房「こどもの居場所づくりに関する調査研究」(令和5年3月)】

・居場所がないと回答した子ども・若者における、居場所がない理由 (16~18 歳、n=187)

住んでいる地域に、そのような場所がないため	40.6%
家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に必要と感じないため	39.6%
(行きたい場所はあるが) 行くのに時間がかかるため	19.8%
(行きたい場所はあるが) お金がかかるため	16.0%
(行きたい場所はあるが、その場所の) 開いている日時が合わないため	5.9%
そのほか	8.0%
無回答	6.4%

問 20 どのような場所であれば行ってみたい、行きやすいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「いつでも行きたいときに行ける」が69.0%と最も多く、次いで「好きなことを自由にして過ごせる」が68.4%、「なんにもせずのんびりできる」が62.5%となっている。「いつでも行きたいときに行ける」のような利便性に加え、「好きなことを自由にして過ごせる」、「一人で過ごせる(54.9%)」など他者に介在されない空間、それとは逆に「新しいことややりたいことに挑戦できる(34.1%)」、「違う世代の人と出会える(15.1%)」場所など、求められる居場所は様々であることがうかがえる。



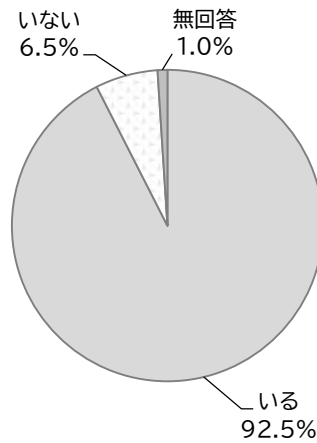
「その他」の内訳

無料で利用できる、行きやすい、好きなことができる、飲食ができる、静かで落ち着きのある、勉強ができる、人と交流できる、自然や動物と触れ合える、新たな気付きがある場所

問 21 あなたには、普段一緒にいて居心地がよいと感じる人はいますか。(○は1つ)

「いる」が92.5%と最も多く、次いで「いない」が6.5%となっている。

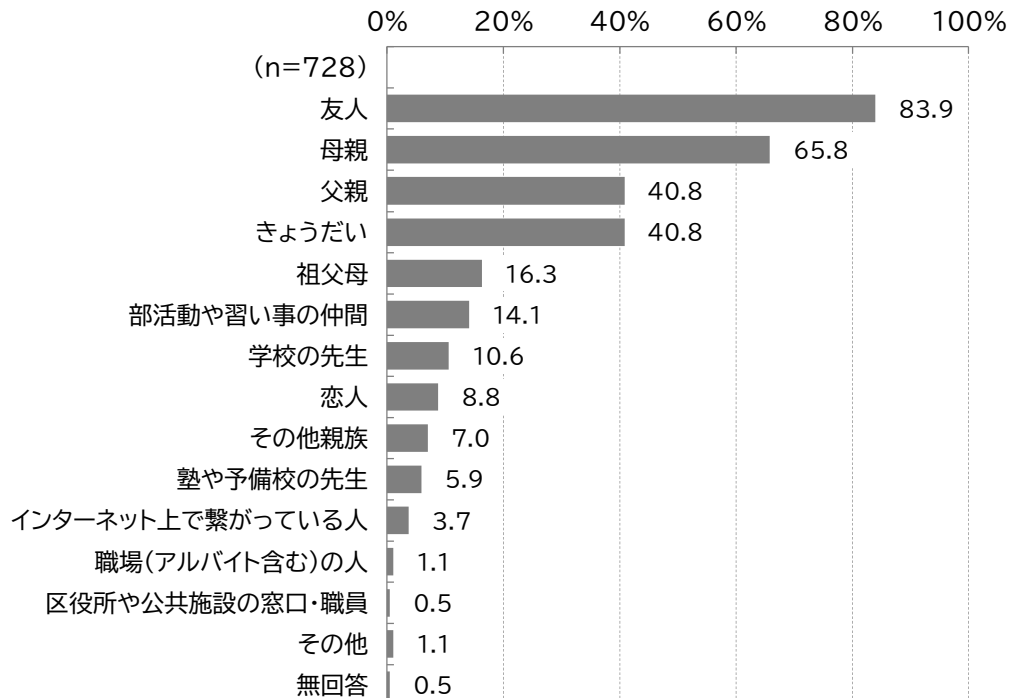
(n=787)



問 21 で「1 いる」と選択した人のみ回答

問 21 (1) あなたが居心地がよいと感じる人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

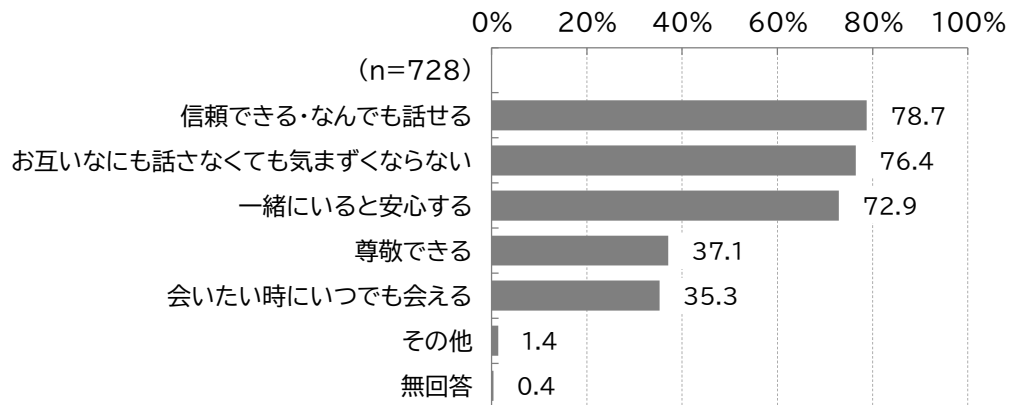
「友人」が83.9%と最も多く、次いで「母親」が65.8%、「父親」「きょうだい」が40.8%となっている。



問 21 で「1 いる」と選択した人のみ回答

問 21 (2) 居心地がよいと感じる相手はどのような人ですか。(あてはまるものすべてに○)

「信頼できる・なんでも話せる」が78.7%と最も多く、次いで「お互いにも話さなくても気まずくならない」が76.4%、「一緒にいると安心する」が72.9%となっている。



「その他」の内訳

一緒にいると楽しい、趣味が合う、好きな人、相手をしてくれる、互いを思いやれる

4 区の施策について

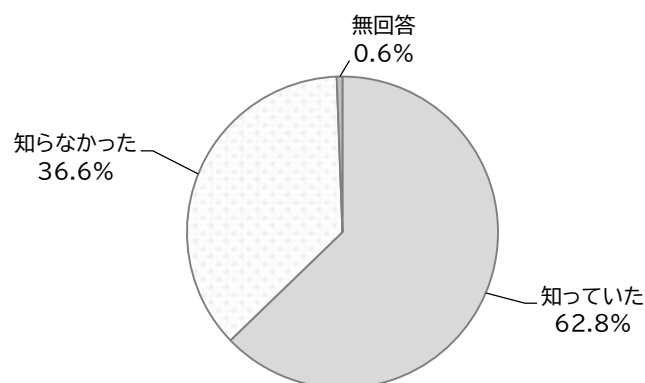
POINT | 区の施策について

- 高校生世代の約6割が、子ども中高生プラザを認知している。
- 約4割が小学生まで、約2割が中学生まで子ども中高生プラザを利用している。行かなくなった理由は、勉強や部活の忙しさが多い。
- 高校生世代向けの新たな居場所への要望は、無料であることや、行きやすい場所にあることなど、利便性に関するものが多い。

問 22 あなたは、港区にある「子ども中高生プラザ」のことを知っていましたか。(〇は1つ)

「知っていた」が62.8%、「知らなかった」が36.6%となっている。

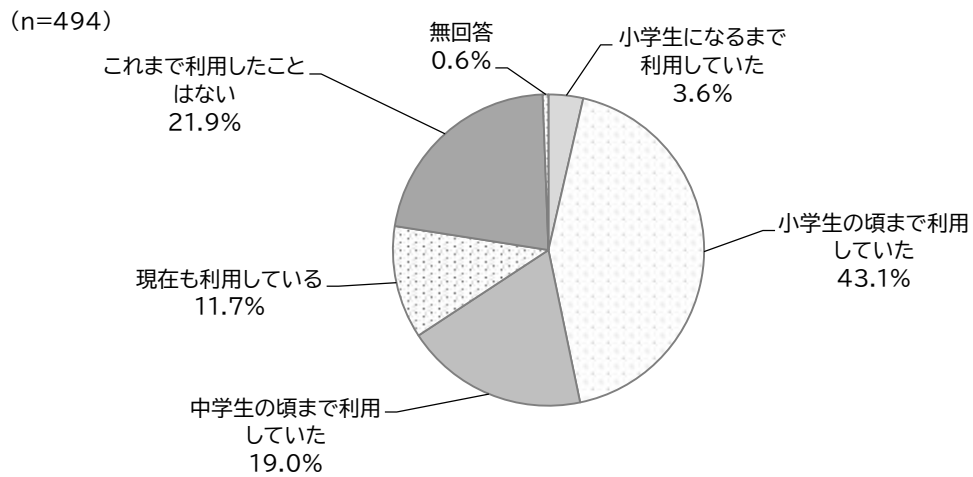
(n=787)



問 22 で「1 知っていた」を選択した人のみ回答

問 22 (1) あなたは、港区にある「子ども中高生プラザ」をいつまで利用していましたか。
(○は1つ)

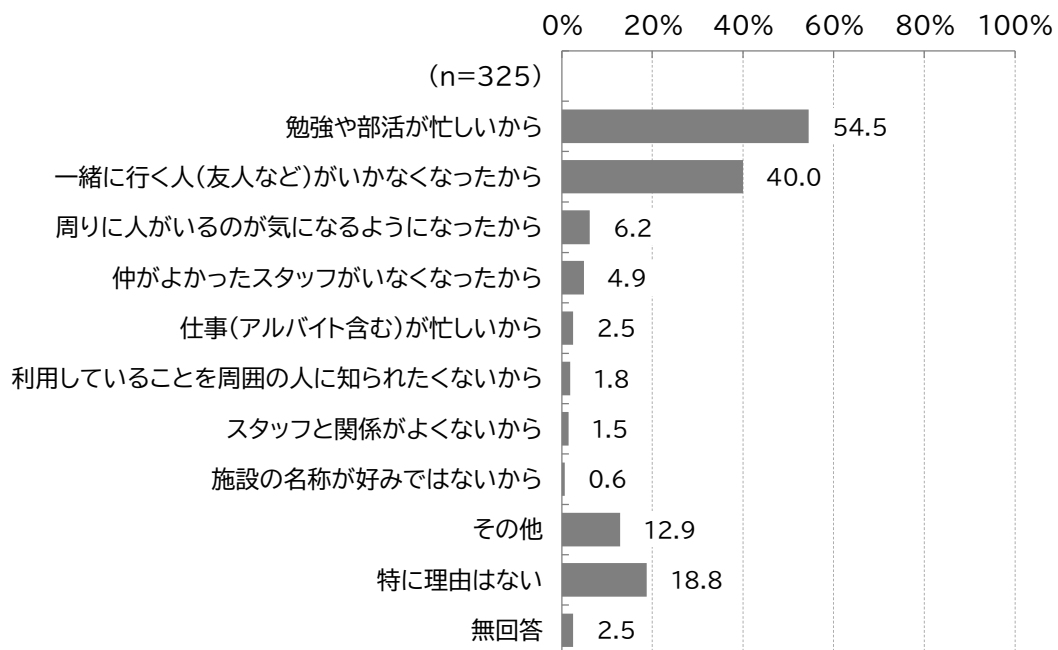
「小学生の頃まで利用していた」が43.1%と最も多く、次いで「これまで利用したことはない」が21.9%、「中学生の頃まで利用していた」が19.0%となっている。



問 22 (1) で「1 小学生になるまで利用していた」から「3 中学生の頃まで利用していた」のいずれかを選択した人のみ回答

問 22 (2) あなたが、子ども中高生プラザを利用することをやめたのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

「勉強や部活が忙しいから」が 54.5%と最も多く、次いで「一緒に行く人（友人など）がいなくなったから」が 40.0%、「特に理由はない」が 18.8%となっている。

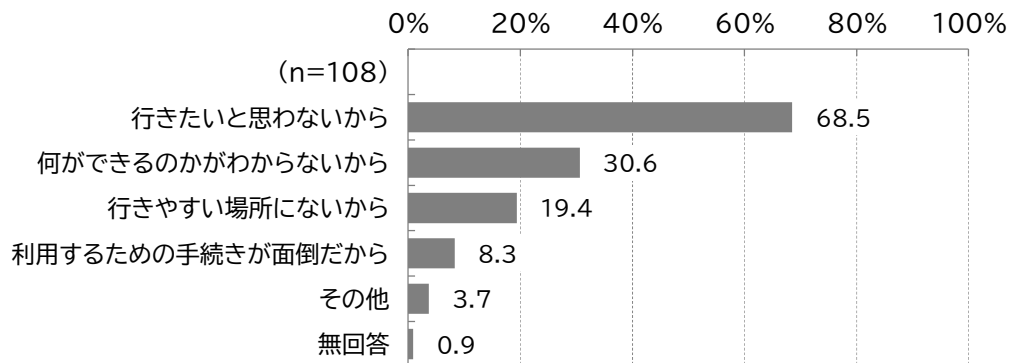


「その他」を選択し記述された回答を以下のように分類し主な意見を掲載している。

大分類	小分類	主な内容	件数
ポジティブ	自身の成長に伴って	中学生になって行く時間が無くなったから	4
	他に行くところがある	他に遊ぶ所がある	3
ネガティブ	行きづらい（距離）	家から遠く、通いづらかったから・中学が近かったから友人と行っていたが、高校になってその方面に行かなくなったから	11
	行きづらい（雰囲気等）	高校生がほとんどいない・中学生から行くのが恥ずかしい、利用する時間も無く場所も小学生向きだから・自分より下の学年の子が元気に活動しているのを見てると辛くなるしあの空間はすごい疎外感を感じてしまう	10
	楽しくない	つまらない・小さい子供が多く騒がしい	5
	対応が悪い	対応がひどいから	1
ネガティブ以外	引っ越し等	都外の学校で寮生活するようになったから	6
	コロナの影響	コロナで行けなかった	2
	子ども中高生プラザでの習い事をやめた	子ども中高生プラザでしていた習い事をやめたから	1

問 22 (1) で「5 これまで利用したことはない」を選択した人のみ回答
 問 22 (3) 利用したことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「行きたいと思わないから」が 68.5% と最も多く、次いで「何ができるのかがわからないから」が 30.6%、「行きやすい場所がないから」が 19.4% となっている。



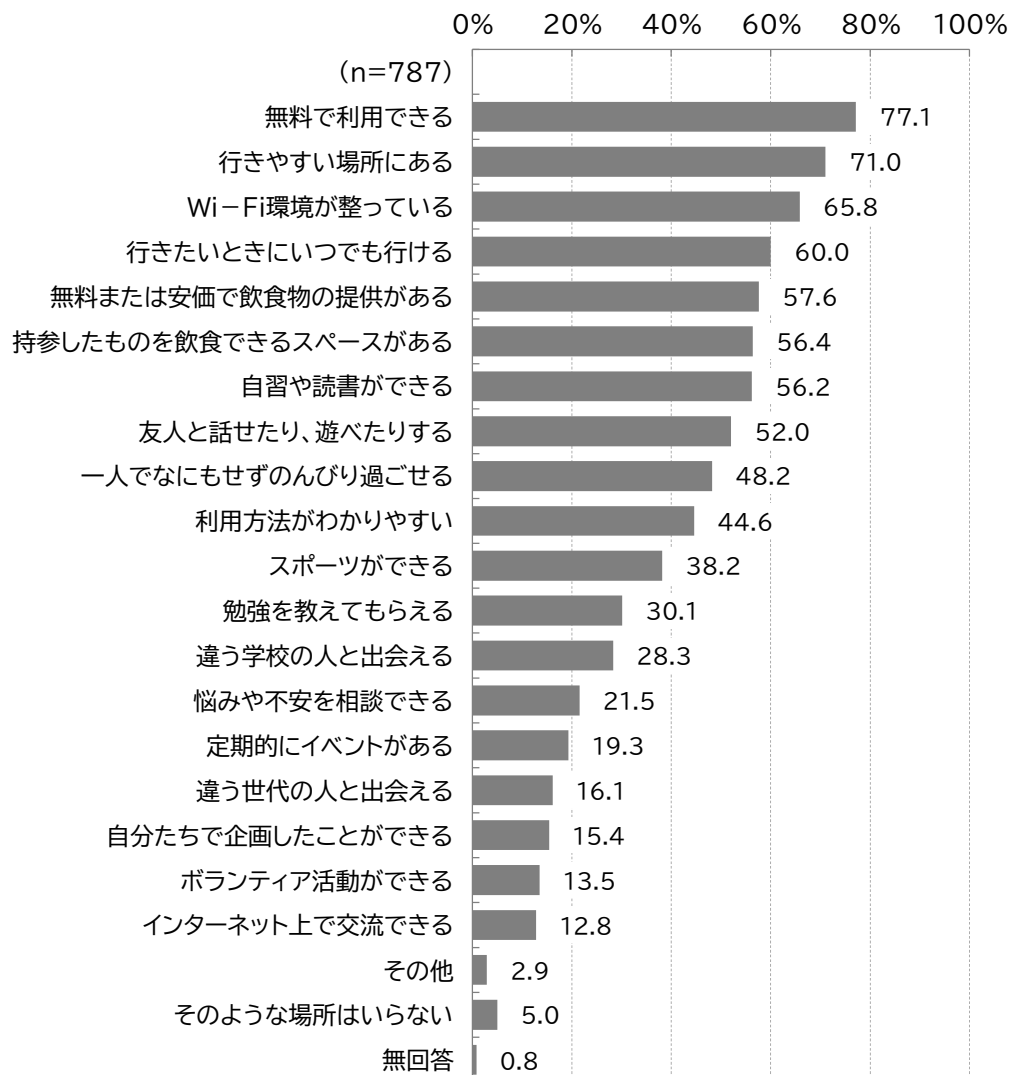
「その他」を選択し記述された回答は、以下の通りとなっている。

○行く必要がない

- ・行かなくても大丈夫だから。
- ・家族が相談に親身になって話してくれるため行かなくても大丈夫だから。
- ・行く必要がなかったから。部活、塾で忙しかった。
- ・行く必要がないから。

問 23 港区内に新しく高校生世代の皆さんの居場所をつくるとしたら、どのような場所であれば行ってみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「無料で利用できる」が 77.1%と最も多く、次いで「行きやすい場所にある」が 71.0%、「Wi-Fi 環境が整っている」が 65.8%となっており、「そのような場所はいらない」は 5.0%にとどまっている。



「その他」を選択し記述された回答を以下のように分類し掲載し、主な意見を掲載している。

分類	主な内容	件数
好きなことができる	ジム・体育館・映画館・テニスコート・ねこがいっぱいいる場所・ゲームが出来る・ボードゲーム・テーブルゲームができる・音楽室・服などが売ってある・本や漫画がおいてある	10
人と交流できる	大学生との交流・男女の出会いがある・学生や近い年のスタッフがいる	3
個室がある	治安が保たれる管理、個室がある	3
無料で利用できる	お金を使わずに軽食を食べながらダラダラできる場所・各席に自由に使えるコンセントが欲しい	2
飲食ができる	軽食は水と麦茶とキャンディー、ラムネ程度で良い	2
静かで落ち着きがある	人気がない場所	1
その他	部外者を阻害する文化がない	2

問 24 最後に、高校生世代の居場所づくりについて、区に求めることや期待することがありましたら、ご自由にご記入ください。

記述された回答は、以下のように分類し、主な意見掲載している。

No	分類	主な内容	件数
1	勉強・自習ができる	長い間開いている自習スペース、勉強を教えてくれる人を望みます／家には小さい弟と妹がいてうるさいし、図書館の自習スペースはいつも埋まっているので、学生がいつでも使える自習室が欲しい／塾に自習室がなかったり、塾自体がない日に使いたい。家にできる限りいたくない	34
2	様々な人と交流できる	色々な人と交流できて心休まる場所や、家に帰りたくない時に、夜遅くまでもしくは泊まれる場所があったら良いと思う／自分は、小中高と港区外の学校へ通っていて、生まれてから港区に居るのに友人が地元にはいません。やはり個人的には地元の友人がほしいので、新しい友人をつくれる場があれば良いのかなと思います／いじめられた子たちが交流できる場が欲しいです／他校との出会いが極端に少ない／閉塞的な男子校に通っているため、このような場所を作って頂けることを強く期待しております	20
3	スポーツができる	バスケや野球など球技ができる広い遊び場がほしい／テニスコートをふやしてほしい／無料でダンスができるダンススタジオなどの場所が欲しい／卓球台があっても、ラケットがぼろぼろでは遊べない。アリーナがあってもバスケットボールがべこべこじゃ使えない。このように場の充実だけでなく、実際に使う時のことも同時に検討してほしい	15
4	施設設置について	全ての人にとっての居場所というコンセプトで大きな施設を創るのでは無く、性格や趣味のジャンルなどで区分を作り、1つの施設の規模を抑えて区分ごとに複数の施設を創るべきだと思う／料金が安いという理由だけで公共施設を利用し、そこで騒ぐ迷惑な集団などがいると、せっかくの和んでいてほんわかしているそういう施設が台無しになる／高校生の居場所とはどのようなものなのか、またなぜそれを作る必要があるのか、よく分かっていません。港区内に居場所がないと感じている高校生がいるのでしょうか／家庭内暴力や虐待、いじめに困っている子が助けを求めやすくなりそうだと思うと同時	14

		に、本人に問題のある子供のたまり場にならないよう、管理は徹底するべきだと思います	
5	好きなことができる	憩いの場、遊び場がほしい。広めの場所で、運動、ゲーム、飲食などができる場所が適当だ。自分が望む施設は遊び場であって、別に相談してくれる人だとかはいなくても問題ない／1人で過ごせる個室のある施設など自由にやりたいことができる場所があると良いと思う	14
6	飲食ができる	長時間学習のための飲食スペース又は飲食OKな学習スペース	12
7	無料で利用できる	高校生はお金がないので無料で気軽に利用できる場所を作してほしいです。映える綺麗なところも作ってください／お金を使わずに友達とゆっくり過ごしたり話したりできる場所が少なすぎると思います。公園は小さな子供の居場所であり、高校生は学校では飲食などの自由が制限されており、友達と集まるにはお店に行かなければなりません	12
8	悩みが相談できる、ストレスが解消できる	悩んでいる人が救われるような場所を用意してほしい／自分の進みたい方向に向かうためのサポートをしてくれるような場所であつたら良いなと思います。批判や否定ではなく、サポートや寄り添いのある場所であることを期待します／進路のことを話せ、様々なアドバイスができる人がいてほしい／個室でストレスが発散出来る施設を作りたい	8
9	Wi-Fi がある	Wi-Fi がある勉強や遊びができる場所を作してほしい	8
10	一人で過ごせる	なんでもかんでも人を交流させたりするだけでなく、一人になってリラックスできる場所があると最高です。例えば作業のできる個人ブースだったり、仕切りのある自習室でも良いです／居場所作りをするのはいいことだが、高校生同士が互いの目を気にしないで使用できる空間であることが大切であると思う	7
11	行きやすい（雰囲気）	悩みを持っていたり、家庭環境に問題があつたりする子向けに作るのも大切だが、それと同時にいわゆる“普通の子”と“普通の子っぽく振る舞ってる子”が一緒に行けるような気軽な場所であつてほしい／活発に遊ぶ人が溜まり場とするようなところは、居場所を必要としている人たちが居づらすぎる空間になるので、少し遊びには不便であつてほしい。運動ができて安価な飲食の提供があつたら、本当に嫌な高校生の溜まり場になりかねない。利用するための壁が低ければ低いほどそういう人たちが集まりやす	7

		くなってしまうと思うので、一定の金額がかかっても良いからとにかく元気な人たちの溜まり場にはして欲しくない、見てるだけで辛い。	
12	金銭的な補助など	居場所よりこれから大学、専門学校へ進学する世帯への負担を軽減してほしい	7
13	区の施設について	プラリバは最高の居場所だと思う。スタッフも明るく優しくいつでも行ってもいい雰囲気があり、変な人に逢ってしまっても逃げ込める／子ども中高生プラザはきれいで安心できますが、子供たちのスタッフに対する態度が悪すぎる。暴言、暴力など大人に対する接し方がひどい。スタッフもそれに対してきちんと叱るなりしないと子供達はいつまでも大人をなめてかかって悪いと思う。	7
14	夜間利用ができる	部活の後の6時以降でも使えるような場所があればよいと思います／図書館の利用できる時間を、もう少し長くしてほしいです。8時までだと、部活帰りに勉強したいとなっても少し難しいです	7
15	年代のすみ分け	若者向けの一般開放もできるカフェなどくつろげる場所があるとよいと思います。区の施設だと、どうしても高齢者向けという印象があります／高校生以上だけが使うことが出来る施設があればいいなと思いました	7
16	安心・リラックスできる	自由に利用できるが、みんなが節度を守った安心出来る場所、友人と気軽に集まれる場所があるとよいなと思いました	6
17	オンライン	学校、部活、受験等で忙しく、実際に足を運ぶには時間の余裕がないのでそういう場所があるということを前提にネット上でもそういう所を作って欲しい／Z世代である私たちにとって、インターネットの活用は日常的なものであるから、外出するメリットを与えてくれる場所がある、またはインターネットを活用した区のコミュニティスペースを作りたいことを希望します	6
18	静かで落ち着きのある	小さい子がおらず、静か過ぎない場所	4
19	個室	カフェのような場所で個室がある。1人になりたいときでも、誰かと話したいときも利用できるように	4
20	イベントがある	自由に大会やイベントが開けるような場所がほしい	4
21	将来につながる経験ができる	進学や就職に関わる、今しかできない体験がしたいです。例えば企業とコラボして商品を作ることや、商品のモニターなど少しでも携わり社会に貢献してみたいです／性教育や人権教育など普段学校で習わないことを知れるようにして	4

		欲しい／大人になることへの自覚の持たせ方やマナー、服装や化粧などの大切さを教えてもらえる機会を設けて頂きたいです	
22	アンケートについて	アンケート対象のうち、平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの人は、もう卒業し高校生世代ではなくなるので、アンケートを行っても仕方がないのではないのでしょうか	3
23	社会貢献ができる	今までボランティア活動やイベントは、どこから情報収集したらいいか全くわからなかった。もし1か所で全てわかることができたら、とってもありがたい	3
24	行きやすい（距離）	行きやすい環境がいい	2
25	宿泊できる	家出などをしたいときに安く泊まるところがあると嬉しいです	2
26	動物と触れ合える	港区で公共（無料）の犬カフェを作って欲しいです。動物と触れ合っていると無条件に癒されるからです	2
27	障がいの有無など関係なく利用できる	障がいを持っている人でも利用できるようにしてほしい	1
28	その他	港区に住む少年少女らは、親から程度はどうあれ、ネグレクトを受けがちだなと、区内の小中学校に通う中で感じました。港区に住めるような稼ぎのある家庭の親は大概帰りが遅かったりすることが多いためです。しかしここを改善するのは中々難しいと思いますが、このような事実があることも忘れないでください／高校生くらいになると、「どうせ」と思って区に期待なんかしてないことをわかってほしい	11

5 考察

(1) 高校生世代の悩みと相談先

ア 悩みの有無と内容

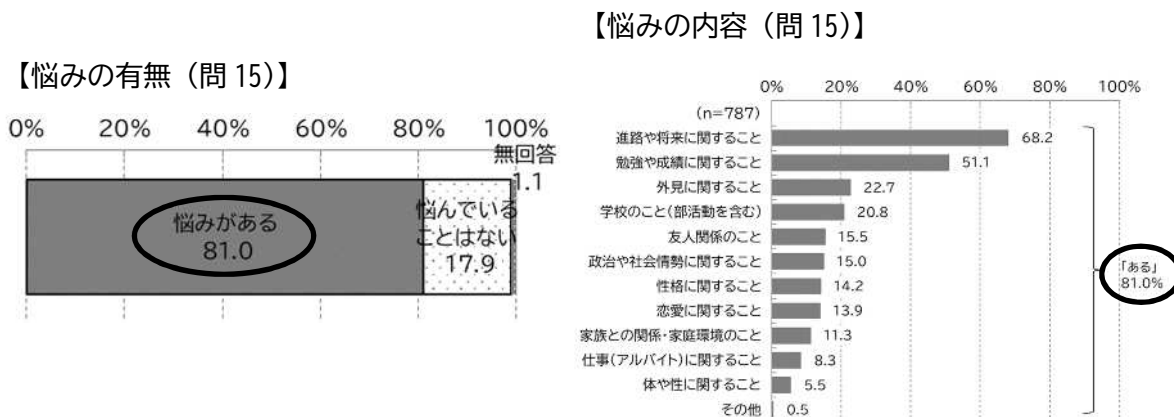
POINT | 悩みの有無と内容

- 高校生世代は、約8割が悩みを抱えており、悩みの内容は、大学進学を控え、進路や勉強に関するものが多く、外見や友人関係、恋愛など思春期特有のものもある。
- 学年では高校1年生、性別では女性が悩みを抱えやすい傾向にある。

(ア) 単純集計（悩みの有無と内容（問15））

回答のうち、現在抱えている悩みがあるのは、81.0%、悩んでいることがないのは、17.9%となっており、高校生世代の約8割が何らかの悩みを抱えている。

悩みの内容は、「進路や将来に関すること」が68.2%と最も多く、次いで「勉強や成績に関すること」が51.1%、「外見に関すること」が22.7%となっている。大学進学を控え、進路や勉強に関する悩みとともに、外見や友人関係、恋愛など思春期特有の悩みも挙げられている。



(イ) クロス集計（悩みの内容（問15）×学年別（問1（2））、性別（問2））

学年別にみると、「悩んでいることはない」は学年があがるにつれて多くなっており、高校1年生は、他の学年に比べて、より悩みを抱えやすい傾向が見られる。悩みの内容で回答の多かった「勉強や成績に関すること」、「進路や将来に関すること」、「学校のこと（部活動を含む）」も学年があがるにつれて、回答が少なくなっている。

【悩みの内容（問15）×学年別（問1（2））】

[単位：%]

	n	勉強や成績に関すること	進路や将来に関すること	学校のこと（部活動を含む）	家庭環境のこと	家族との関係・家	友人関係のこと	恋愛に関すること	と体や性に関すること	性格に関すること	外見に関すること	政治や社会情勢に関すること	仕事（アルバイト）に関すること	その他	悩んでいることはない	無回答
学年別																
全体	749	51.7	68.5	21.0	11.5	15.9	14.3	5.2	14.2	23.4	15.2	8.0	0.3	18.2	0.9	
1年	246	62.2	75.2	29.3	12.2	17.9	18.7	6.9	17.9	27.6	15.4	6.1	0.4	12.6	0.4	
2年	224	56.7	71.0	22.8	12.9	18.8	12.9	5.4	12.9	21.4	16.1	7.1	0.0	17.4	1.3	
3年	219	34.2	58.9	11.4	9.6	11.9	12.3	4.6	11.4	21.0	13.7	11.4	0.5	24.7	0.9	
無回答	60	53.3	66.7	15.0	10.0	11.7	8.3	0.0	13.3	21.7	16.7	6.7	0.0	20.0	1.7	

性別にみると、「悩んでいることはない」は女性が男性よりも少なくなっており、女性は、男性に比べて、より悩みを抱えやすい傾向が見られる。また、「友人関係のこと」は「男性」は 8.6%、「女性」は 20.0%と、女性は男性よりも友人関係に悩みを抱えやすい傾向にあり、同様に、「外見に関すること」も「男性」は 15.0%、「女性」は 28.7%と、女性は男性よりも外見に関することに悩みを抱えやすい傾向にある。

【悩みの内容（問15）×性別（問2）】

[単位：%]

	n	勉強や成績に関すること	進路や将来に関すること	学校のこと（部活動を含む）	家庭環境のこと	家族との関係・家	友人関係のこと	恋愛に関すること	と体や性に関すること	性格に関すること	外見に関すること	政治や社会情勢に関すること	仕事（アルバイト）に関すること	その他	悩んでいることはない	無回答
性別																
全体	787	51.1	68.2	20.8	11.3	15.5	13.9	5.5	14.2	22.7	15.0	8.3	0.5	17.9	1.1	
男性	326	46.3	64.7	16.6	7.4	8.6	14.4	5.8	10.7	15.0	19.3	8.0	0.9	21.5	1.8	
女性	436	54.1	71.3	23.2	14.2	20.0	12.6	4.8	16.5	28.7	11.5	8.5	0.2	15.1	0.7	
答えたくない	19	52.6	63.2	31.6	10.5	26.3	31.6	15.8	15.8	21.1	26.3	5.3	0.0	21.1	0.0	
無回答	6	83.3	50.0	50.0	16.7	33.3	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	

イ 悩みの相談先

POINT | 悩みの相談先

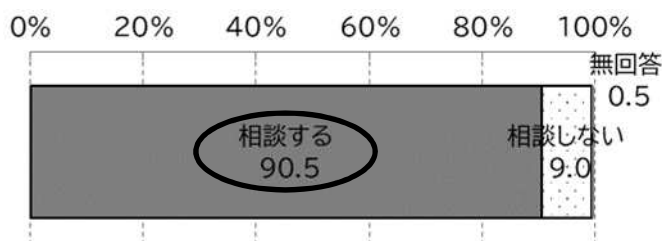
- 高校生世代の約9割が相談先を持ち、悩みを抱えた際には相談している一方で、約1割は悩みを抱えても相談しない。
- 相談先としては、友人や母親が多く、学年、性別によってその傾向は変わらない。

(ア) 単純集計（相談の有無と相談先（問16））

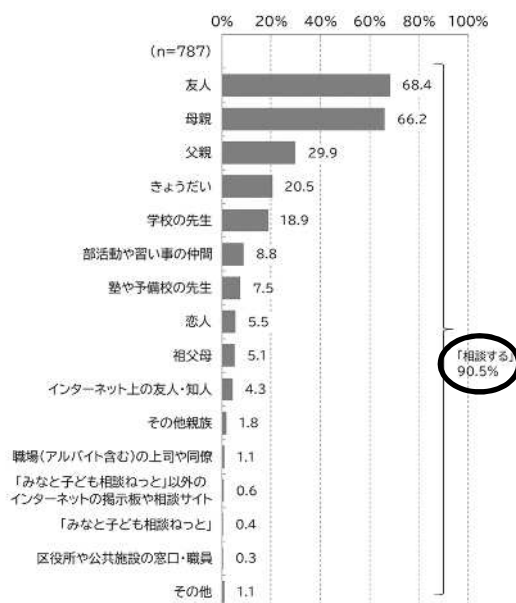
回答のうち、悩みを抱えた時、誰かに（どこかに）相談するのは、90.5%、相談しないのは、9.0%となっており、高校生世代の約9割が相談先を持ち、悩みを抱えた際には相談している。

相談先は、「友人」が68.4%と最も多く、次いで「母親」が66.2%、「父親」が29.9%、「きょうだい」が20.5%、「学校の先生」は18.9%となっている。同世代かつ気心の知れた友人は相談先として最も多く、自分の家族の中では、多くが「母親」を相談先としている。

【相談の有無（問16）】



【相談先（問16）】



(イ) クロス集計 (相談先 (問 16) × 学年別 (問 1 (2))、性別 (問 2))

学年別にみると、「相談しない」は学年によって大きな差は見られない。相談先の傾向も大きく変わらない。

【相談先 (問 16) × 学年別 (問 1 (2))】

[単位：%]

	n	父親	母親	きょうだい	祖父母	その他親族	友人	恋人	学校の先生	塾や予備校の先生	部活動や習い事の仲間	職場(アルバイト含む)の上 司や同僚	員 区役所や公共施設の窓口・職	「みなと子ども相談ねっと」	「みなと子ども相談ねっと」 以外のインターネットの掲示 板や相談サイト	人 インターネット上の友人・知	その他	相談しない	無回答	
学年別																				
全体	749	29.6	65.8	20.3	4.7	1.5	68.8	5.3	18.8	7.6	8.9	0.9	0.1	0.4	0.7	4.4	1.1	9.2	0.3	
1年	246	28.9	61.0	19.5	3.7	1.2	65.9	3.7	19.5	8.9	12.6	0.4	0.0	0.8	0.8	4.9	1.2	11.0	0.4	
2年	224	28.6	66.5	17.9	4.9	0.4	70.1	6.3	16.1	8.0	8.0	0.4	0.0	0.0	0.4	5.4	0.9	8.9	0.0	
3年	219	30.6	68.5	23.3	5.0	2.3	69.4	6.8	17.8	5.5	6.8	1.8	0.5	0.5	0.5	2.7	1.4	8.2	0.5	
無回答	60	33.3	73.3	21.7	6.7	3.3	73.3	3.3	30.0	8.3	5.0	1.7	0.0	0.0	1.7	5.0	0.0	6.7	0.0	

性別にみると、「母親」を相談先としているのは、「男性」が 56.4%、「女性」が 73.6%と、女性が多くなっている。同様に、「きょうだい」を相談先としているのも、「男性」が 14.4%、「女性」が 25.7%と、女性が多くなっている。

「父親」を相談先としているのは、「女性 (27.5%)」が「男性 (33.7%)」よりも少ない。

【相談先 (問 16) × 性別 (問 2)】

[単位：%]

	n	父親	母親	きょうだい	祖父母	その他親族	友人	恋人	学校の先生	塾や予備校の先生	部活動や習い事の仲間	職場(アルバイト含む)の上 司や同僚	員 区役所や公共施設の窓口・職	「みなと子ども相談ねっと」	「みなと子ども相談ねっと」 以外のインターネットの掲示 板や相談サイト	人 インターネット上の友人・知	その他	相談しない	無回答	
性別																				
全体	787	29.9	66.2	20.5	5.1	1.8	68.4	5.5	18.9	7.5	8.8	1.1	0.3	0.4	0.6	4.3	1.1	9.0	0.5	
男性	326	33.7	56.4	14.4	4.0	2.1	63.2	4.9	19.6	8.3	10.1	0.6	0.6	0.3	0.6	4.3	0.9	11.3	0.9	
女性	436	27.5	73.6	25.7	5.5	1.1	72.0	6.0	18.3	7.3	8.0	1.6	0.0	0.5	0.5	4.6	0.9	7.3	0.2	
答えたくない	19	15.8	63.2	5.3	15.8	10.5	73.7	5.3	21.1	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	10.5	10.5	0.0	
無回答	6	33.3	66.7	16.7	0.0	0.0	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

ウ 相談することが自己肯定感、孤独感等に与える影響

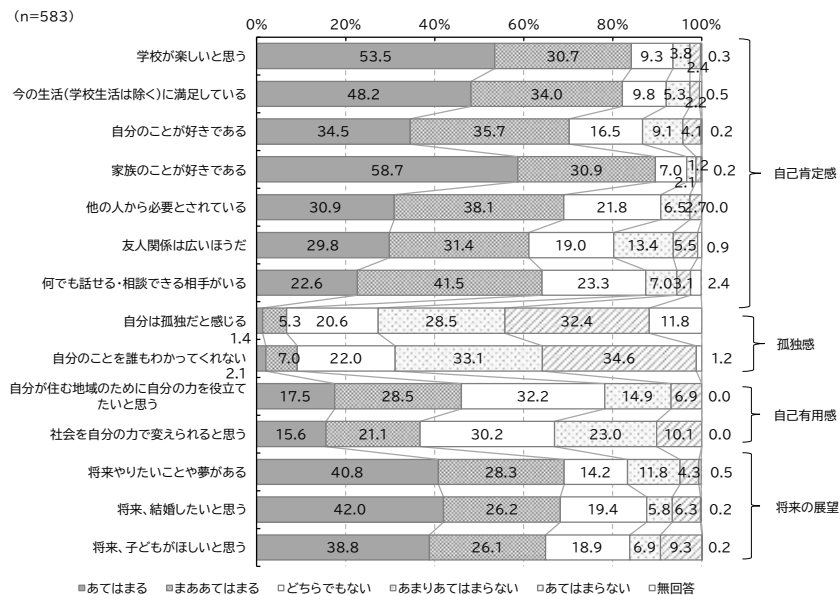
POINT | 相談することが自己肯定感、孤独感等に与える影響

- 悩みを相談する人は、悩みを相談しない人よりも、自己肯定感等が高く、孤独感が低くなる傾向が見られる。

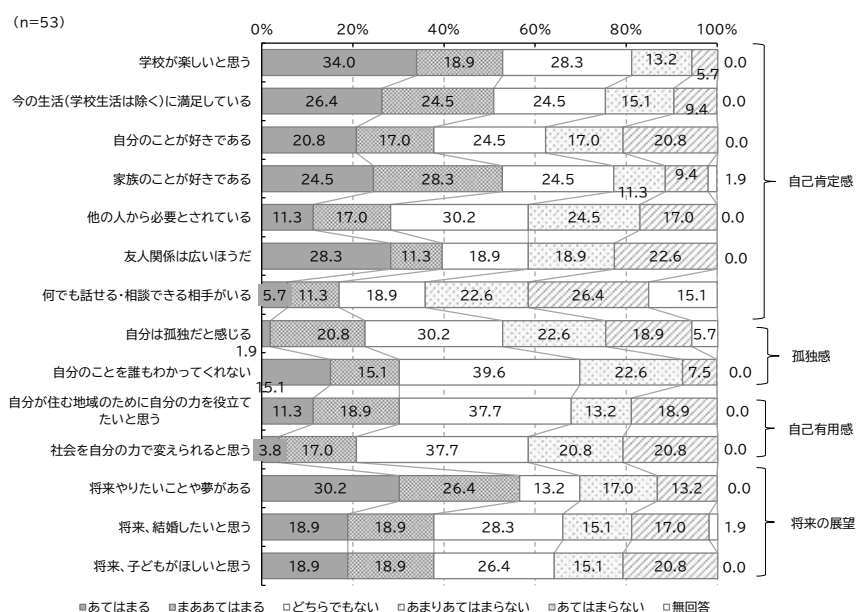
(ア) 階層別集計 (自己評価 (問 10) × 悩みの有無別 (問 15) ・ 相談するかどうか別 (問 16))

自己肯定感、自己有用感、将来の展望 (以下「自己肯定感等」という) は、「悩みがある・相談する」が「悩みがある・相談しない」よりも高くなっている。一方、孤独感は、「悩みがある・相談しない」が「悩みがある・相談する」よりも高くなっている。

【自己評価 (問 10) × 「悩みがある・相談する」】



【自己評価 (問 10) × 「悩みがある・相談しない」】



(2) 居心地がよい場所

ア 居心地がよいと感じる場所の有無

POINT | 居心地がよいと感じる場所の有無

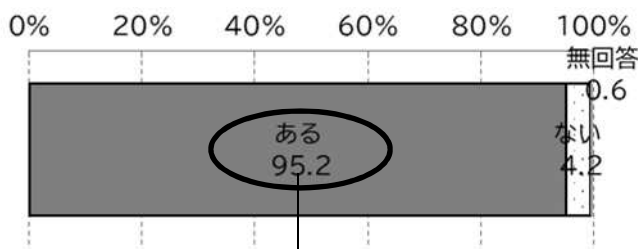
- 高校生世代は、約9割が居心地がよいと感じる場所を持っており、そのうちの約7割は自宅以外にもそのような場所を持っている。

(ア) 単純集計 (居心地がよいと感じる場所の有無 (問 19) と具体的場所 (問 19 (1)))

回答のうち、居心地がよいと感じる場所があるのは、95.2%、ないのは、4.2%となっており、高校生世代の約9割が居心地がよいと感じる場所がある。居心地がよいと感じる場所は、「自宅」が90.8%と群を抜いて多く、次いで多い「学校」の32.8%と大きく差がある。

また、居心地の良い場所があると回答した中で、自宅以外にも居心地の良い場所があると回答したのは66.6%、居心地の良い場所は自宅のみと回答したのは33.4%であり、全国調査と比較すると、自宅以外に居心地の良い場所があると回答した割合は、同程度であった。

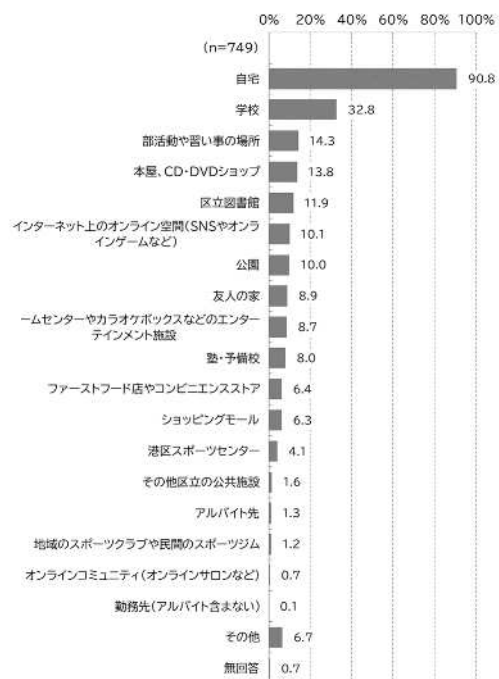
【居心地がよいと感じる場所の有無 (問 19)】



【自宅以外に居心地の良い居場所がある割合】

		件数	割合
ある (n=749)	自宅以外にもある	499	66.6%
	自宅のみ	250	33.4%

【具体的場所 (問 19 (1))】



参考：内閣官房「こどもの居場所づくりに関する調査研究」(令和5年3月)

・年齢別、自宅以外の居心地の良い居場所の有無 (16~18歳、n=486)

自宅以外に居心地の良い居場所がある	61.5%
自宅以外に居心地の良い居場所がない	38.5%

(イ) クロス集計 (居心地がよいと感じる場所の有無 (問 19) × 学年別 (問 1 (2))、性別 (問 2))
 学年別、性別にみると、全体と比べて目立った差はみとめられない。

【居心地がよいと感じる場所の有無 (問 19) × 学年別 (問 1 (2))】

[単位：%]

	n	あ る	な い	無 回 答
学年別				
全体	749	95.3	4.3	0.4
1年	246	96.3	3.3	0.4
2年	224	94.6	4.9	0.4
3年	219	95.0	4.6	0.5
無回答	60	95.0	5.0	0.0

【居心地がよいと感じる場所の有無 (問 19) × 性別 (問 2)】

[単位：%]

	n	あ る	な い	無 回 答
性別				
全体	787	95.2	4.2	0.6
男性	326	95.4	3.4	1.2
女性	436	94.7	5.0	0.2
答えたくない	19	100.0	0.0	0.0

イ 居心地がよい場所が自己肯定感、孤独感に与える影響

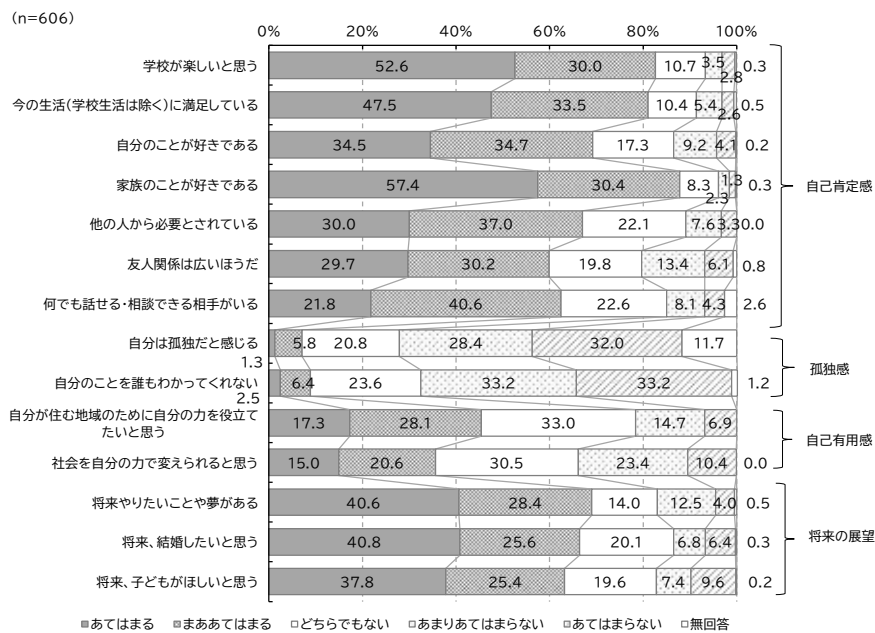
POINT | 居心地がよい場所が自己肯定感、孤独感に与える影響

- 居心地がよい場所がある人は、居心地がよい場所がない人よりも、自己肯定感等が高く、孤独感が低くなる傾向が見られる。

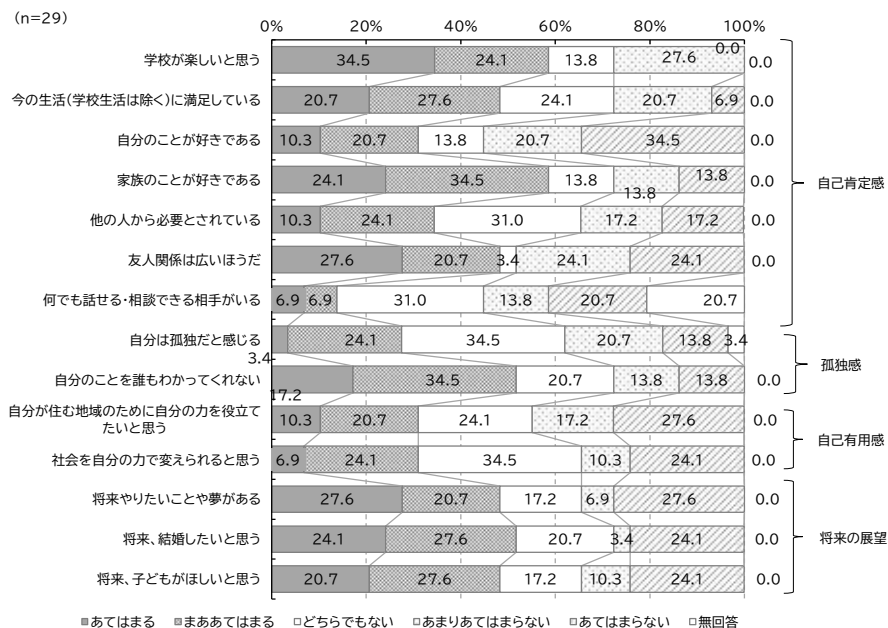
(ア) 階層別集計 (自己評価 (問 10) × 悩みの有無別 (問 15) ・居心地がよい場所の有無別 (問 19))

自己肯定感等は、「悩みがある・居心地がよい場所がある」が「悩みがある・居心地がよい場所がない」よりも高くなっている。一方、孤独感は、「悩みがある・居心地がよい場所がない」が「悩みがある・居心地がよい場所がある」よりも高くなっている。

【自己評価 (問 10) × 「悩みがある・居心地がよい場所がある」】



【自己評価 (問 10) × 「悩みがある・居心地がよい場所がない」】



(3) 行ってみたい場所

ア 区が新しく作るとしたら行ってみたい場所

POINT | 区が新しく作るとしたら行ってみたい場所

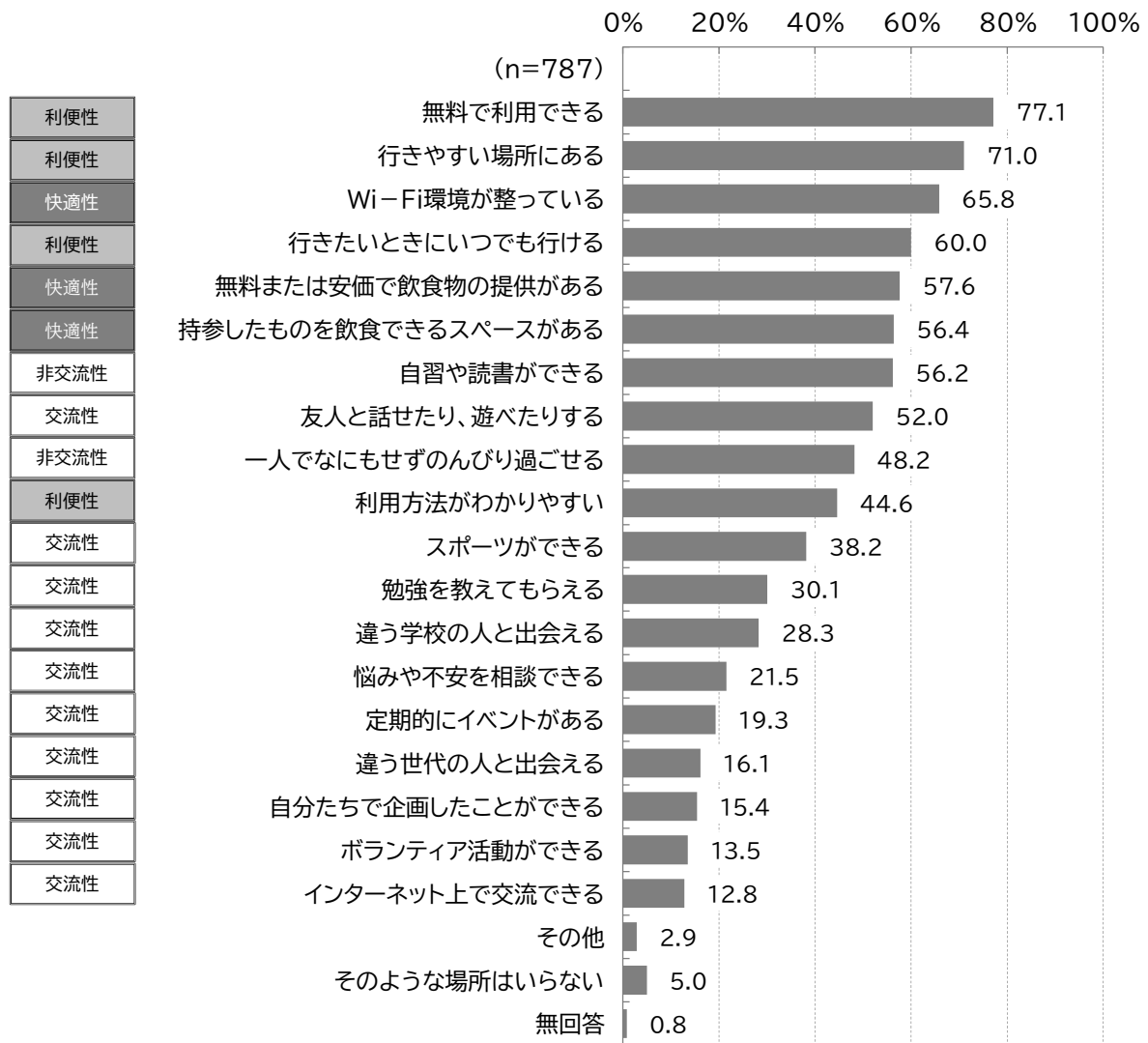
- 高校生世代が行ってみたい場所については、いつでも行ける、無料で行けるなど利便性に加え、W i - F i 環境、飲食物の提供など、その場所の快適性についての要望が多い。
- 行ってみたい場所では、一人で過ごせる、自習や読書ができるなど他人と交流せずに過ごしたいという声がある一方、相談できる、違う世代の人と出会えるなど、他人との交流を望む声もある。

(ア) 単純集計（区が新しく作るとしたら行ってみたい場所（問23））

「無料で利用できる（77.1%）」、「行きやすい場所にある（71.0%）」、「行きたいときにいつでも行ける（60.0%）」のようなその場所の利便性、「W i - F i 環境が整っている（65.8%）」、「無料または安価で飲食物の提供がある（57.6%）」、「持参したものを飲食できるスペースがある（56.4%）」といった快適性が多く挙げられている。

また、「自習や読書ができる（56.2%）」、「一人でなにもせずのんびり過ごせる（48.2%）」といった非交流の活動を望む声がある一方で、「友人と話せたり、遊べたりする（52.0%）」、「違う学校の人と出会える（28.3%）」といった他人と交流して活動する場所の希望も一定数見られた。

【区が新しく作るとしたら行ってみたい場所（問23）】



(イ) 回答分類（区が新しく作るとしたら行ってみたい場所（問23））

区が新しく作るとしたら行ってみたい場所について得られたその要件について、その性質に基づき、利便性、快適性、交流性、非交流性の4種類に分類し、それに関連する自由回答（問24）の主な意見を整理した。

【行ってみたい場所の4要件】

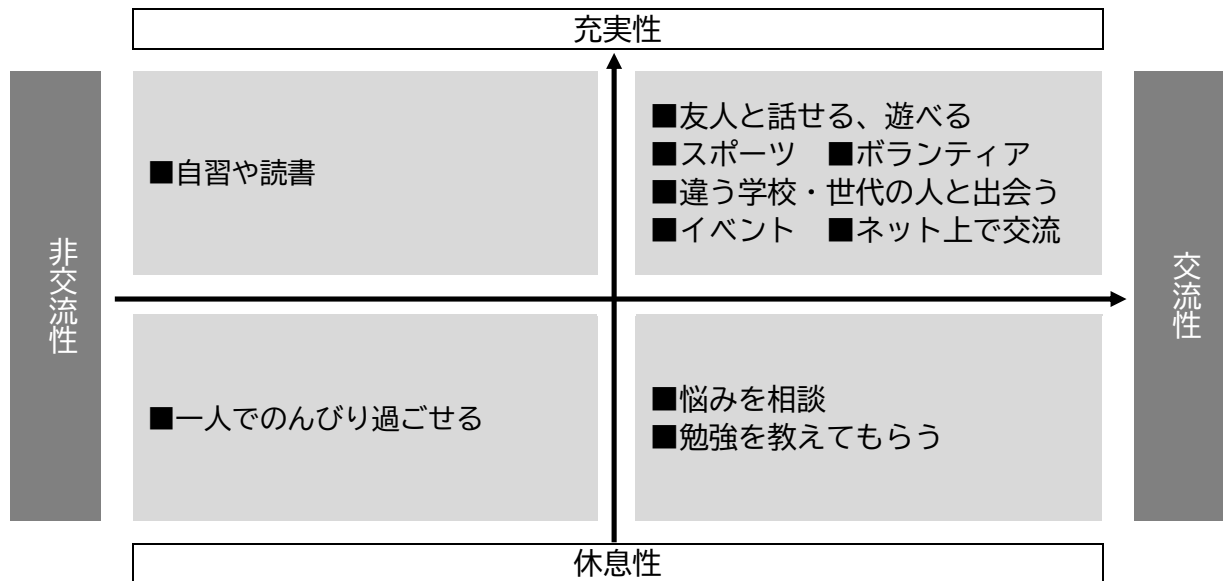
利便性	快適性	交流性
<ul style="list-style-type: none"> ■無料で利用できる ■行きやすい場所 ■いつでも行ける ■利用方法わかりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ■Wi-Fi 環境 ■無料・安価で飲食物提供 ■飲食できるスペース 	<ul style="list-style-type: none"> ■友人と話せる、遊べる ■スポーツができる ■勉強を教えてもらえる ■違う学校の人と出会える ■悩みを相談できる ■イベントがある ■違う世代の人と出会える ■自分たちで企画できる ■ボランティアができる ■ネット上で交流できる
		⇕
		非交流性
		<ul style="list-style-type: none"> ■自習や読書ができる ■一人のんびり過ごせる

【4要件に関連する自由回答（問23・問24）】

	項目(問23 選択肢)	対応する主な自由回答(問24)
利便性	無料で利用できる(77.1%)	高校生はお金が無いので無料で気軽に利用できる場所を作ってほしいです
	行きやすい場所にある(71.0%)	行きやすい環境がいい
	行きたいときにいつでも行ける(60.0%)	部活の後の6時以降でも使えるような場所があればよいと思います
	利用方法がわかりやすい(44.6%)	—
快適性	Wi-Fi環境が整っている(65.8%)	Wi-Fiがある勉強や遊びができる場所を作ってほしい
	無料または安価で飲食物の提供がある(57.6%)	コーヒーなどの提供もある自習室が欲しい
	持参したものを飲食できるスペースがある(56.4%)	長時間学習のための飲食スペース又は飲食OKな学習スペース
交流性	友人と話せたり、遊べたりする(52.0%)	憩いの場、遊び場がほしい。広めの場所で、運動、ゲーム、飲食などができる場所が適当だ。自分が望む施設は遊び場であって、別に相談してくれる人だとかはいなくても問題ない
	スポーツができる(38.2%)	バスケや野球など球技ができる広い遊び場がほしい/テニスコートをふやしてほしい/無料でダンスができるダンススタジオなどの場所が欲しい
	勉強を教えてもらえる(30.1%)	勉強を教えてくれる人を望みます

	違う学校の人と出会える (28.3%)	自分は、小中高と港区外の学校へ通っていて、生まれてから港区にいるのに友人が地元にはいません。やはり個人的には地元の友人がほしいので、新しい友人をつくれる場があれば良いのかなと思います／閉塞的な男子校に通っているため、このような場所を作って頂けることを強く期待しております
	悩みや不安を相談できる (21.5%)	自分の進みたい方向に向かうためのサポートをしてくれるような場所であつたら良いなと思います。批判や否定ではなく、サポートや寄り添いのある場所であることを期待します／進路のことを話せ、様々なアドバイスができる人がいてほしい
	定期的にイベントがある (19.3%)	自由に大会やイベントが開けるような場所がほしい
	違う世代の人と出会える (16.1%)	居場所となる場所に幅広い年代のスタッフの方がいること
	自分たちで企画したことができる (15.4%)	自分たちで考えて作るイベントとかあれば本当に楽しそう
	ボランティア活動ができる (13.5%)	今までボランティア活動やイベントは、どこから情報収集したらいいか全くわからなかった。もし1か所で全てわかるところができれば、とってもありがたい
	インターネット上で交流できる (12.8%)	Z世代である私たちにとって、インターネットの活用は日常的なものであるから、外出するメリットを与えてくれる場所がある、またはインターネットを活用した区のコミュニティスペースを作りたいことを希望します
非 交 流 性	自習や読書ができる (56.2%)	家には小さい弟と妹がいてうるさいし、図書館の自習スペースはいつも埋まっているので、学生がいつでも使える自習室が欲しい
	一人でなにもせずのんびり過ごせる (48.2%)	なんでもかんでも人を交流させたりするだけでなく、一人になってリラックスできる場所があると最高です。例えば作業のできる個人ブースだったり、仕切りのある自習室でも良いです

【交流性と非交流性】



第3章 保護者アンケート調査結果

1 あなた（調査対象のお子さんの保護者）について

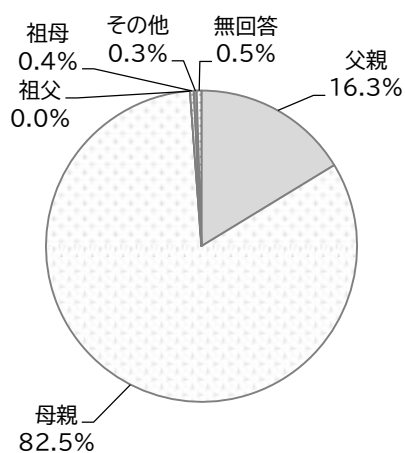
POINT | あなた（調査対象のお子さんの保護者）について

- 調査に回答した保護者は、母親が約8割、父親が約2割。
- 保護者の年齢は、50歳以上55歳未満が約4割
- 世帯年収1,000万円以上が過半数。

問1 回答者の、調査対象のお子さんとの続柄を教えてください。(○は1つ)

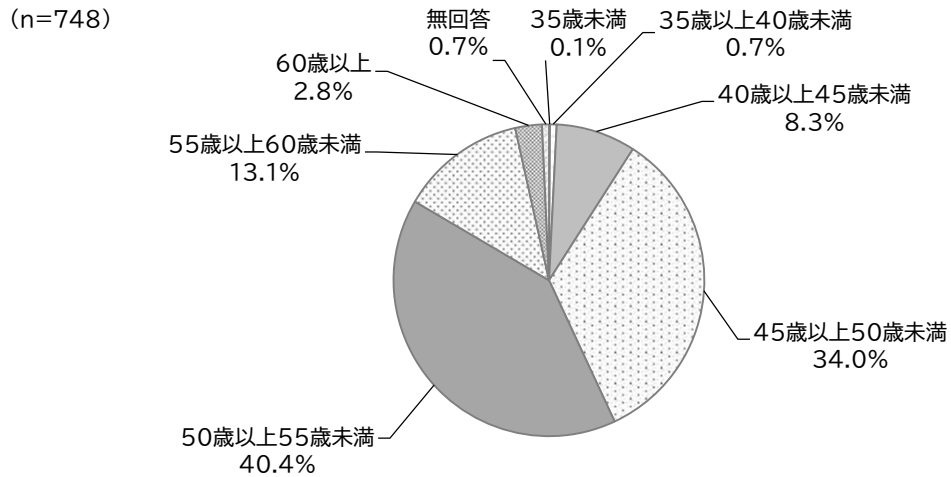
「母親」が82.5%と最も多く、次いで「父親」が16.3%、「祖母」が0.4%となっている。

(n=748)



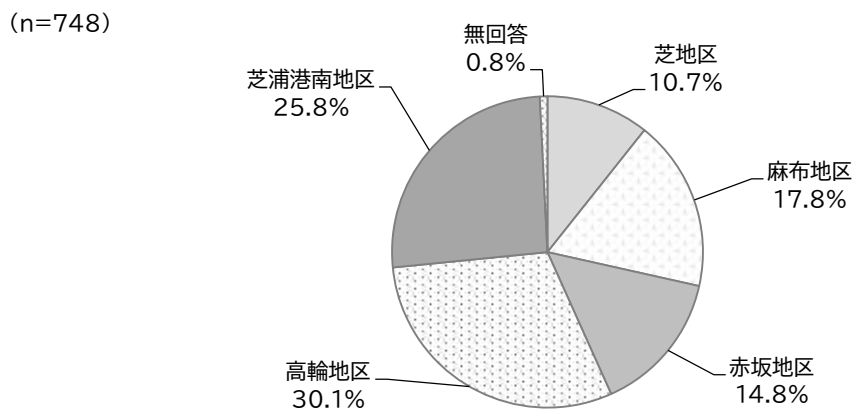
問2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

「50歳以上55歳未満」が40.4%と最も多く、次いで「45歳以上50歳未満」が34.0%、「55歳以上60歳未満」が13.1%となっている。



問3 あなたのお住まいはどの地区ですか。(○は1つ)

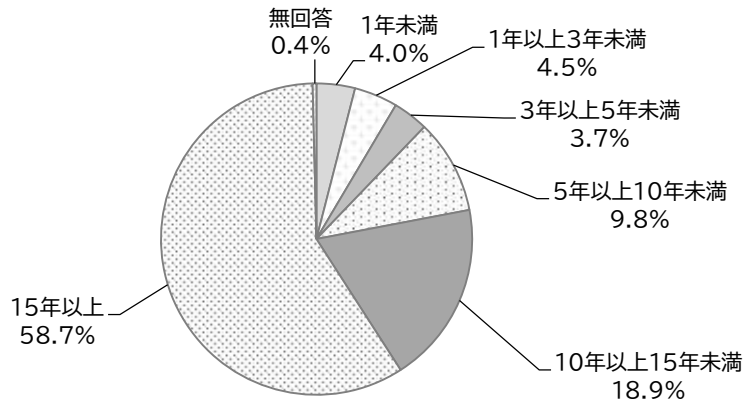
「高輪地区」が30.1%と最も多く、次いで「芝浦港南地区」が25.8%、「麻布地区」が17.8%、「赤坂地区」が14.8%、「芝地区」が10.7%となっている。



問4 港区での通算の居住年数を教えてください。(○は1つ)

「15年以上」が58.7%と最も多く、次いで「10年以上15年未満」が18.9%、「5年以上10年未満」が9.8%となっている。

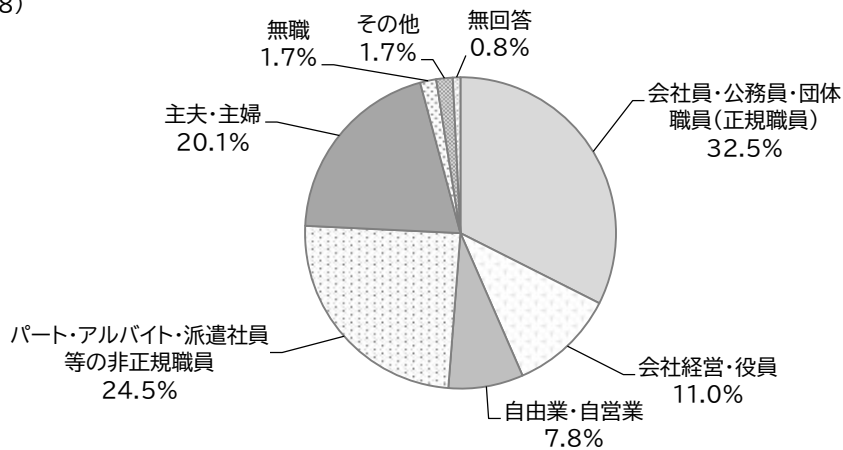
(n=748)



問5 あなたの就労状況を教えてください。(○は1つ)

「会社員・公務員・団体職員（正規職員）」が32.5%と最も多く、次いで「パート・アルバイト・派遣社員等の非正規職員」が24.5%、「主夫・主婦」が20.1%となっている。

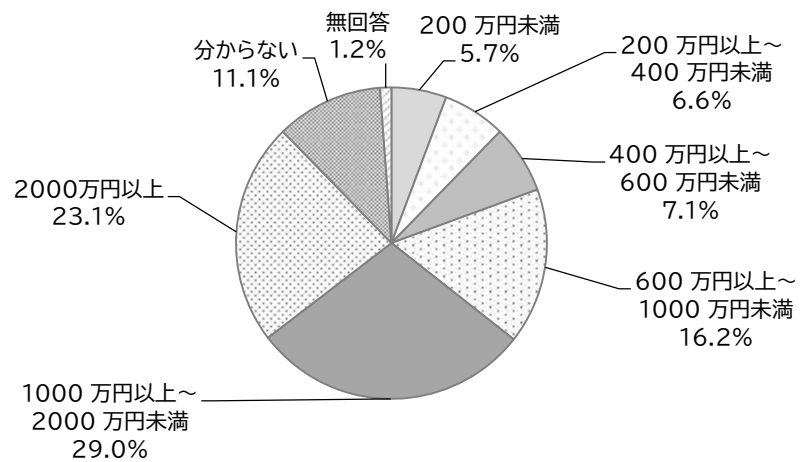
(n=748)



問6 2022 年中の世帯年収（一緒にお住いの方全員の合計）を教えてください。（もっとも近いもの1つに○）

「1000 万円以上～2000 万円未満」が 29.0%と最も多く、次いで「2000 万円以上」が 23.1%、「600 万円以上～1000 万円未満」が 16.2%となっている。

(n=748)



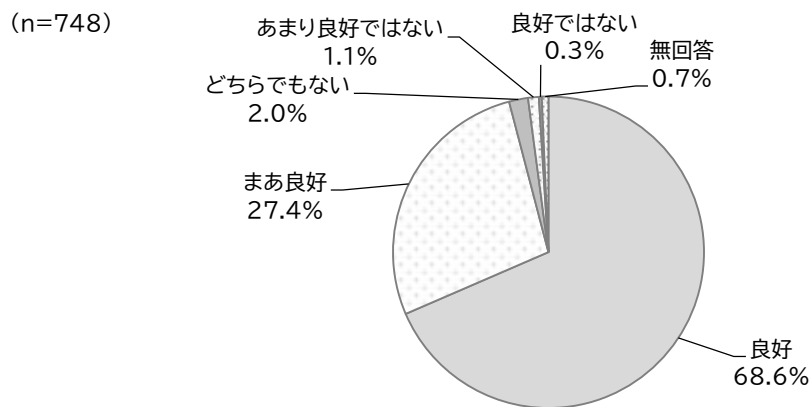
2 調査対象のお子さんとのかかわり方について

POINT | 調査対象のお子さんとのかかわり方について

- 保護者の9割以上が子どもとの関係を良好と考えている。
- 保護者が子どもとかかわる時間は、平日は「1時間以上2時間未満」が最も多く、休日は「4時間以上」がもっとも多い。

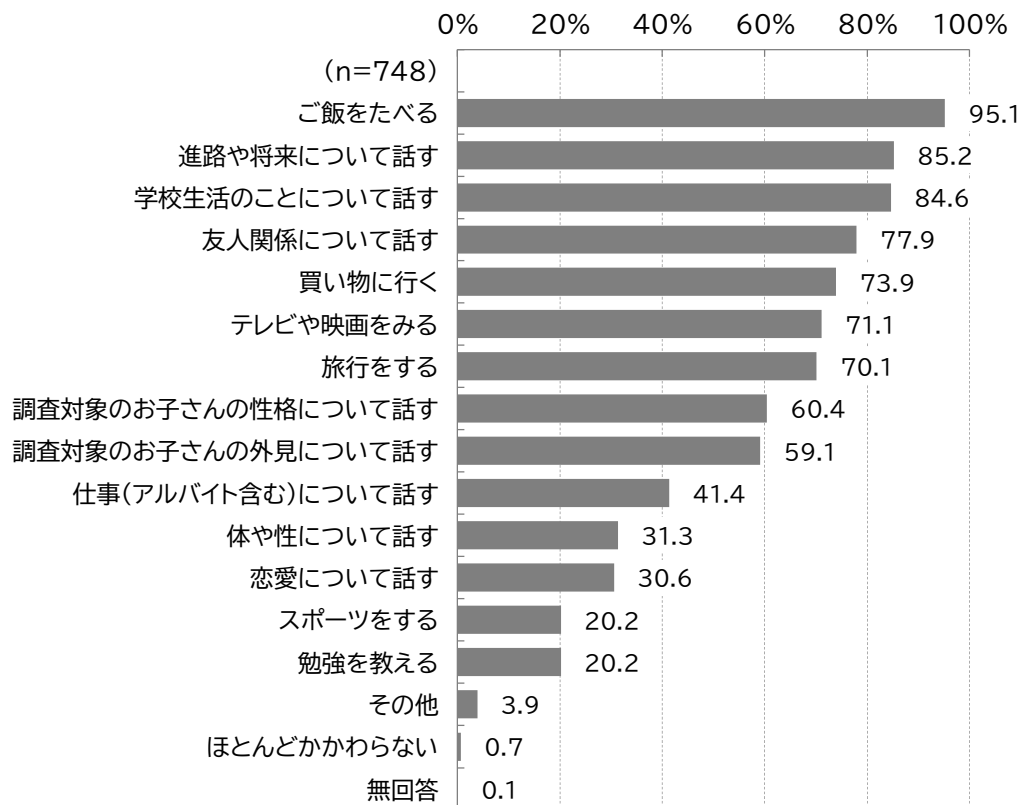
問7 あなたと調査対象のお子さんの関係性を教えてください。(○は1つ)

「良好」が68.6%と最も多く、次いで「まあ良好」が27.4%、「どちらでもない」が2.0%となっている。



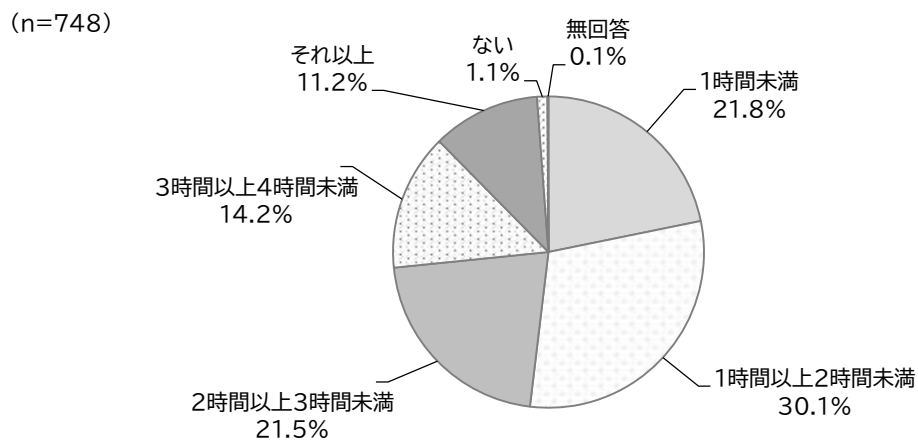
問8 あなたは、普段調査対象のお子さんとどのようにかかわっていますか。(あてはまるものすべてに○)

「ご飯をたべる」が 95.1%と最も多く、次いで「進路や将来について話す」が 85.2%、「学校生活のことについて話す」が 84.6%となっており、「ほとんどかかわらない」は 0.7%にとどまっている。



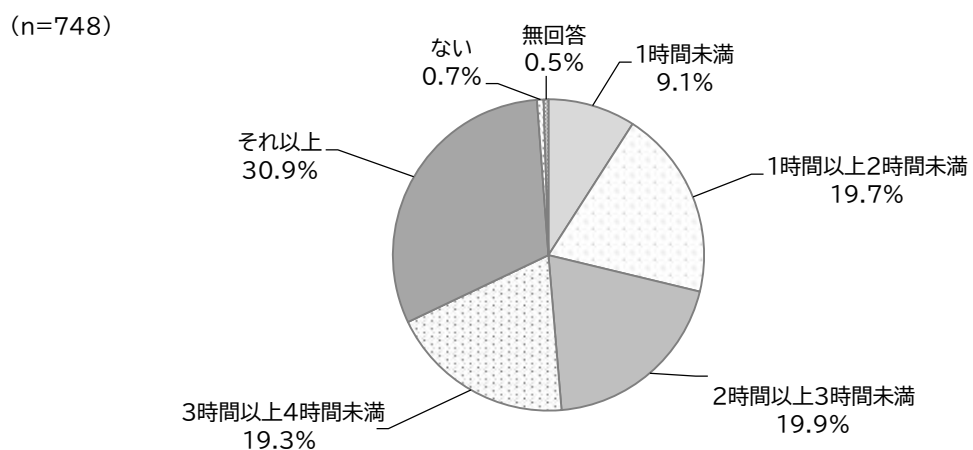
問9 (1) あなたは、平日に調査対象のお子さんとかかわる時間が1日あたりにどれくらいありますか。(〇は1つ)

「1時間以上2時間未満」が30.1%と最も多く、次いで「1時間未満」が21.8%、「2時間以上3時間未満」が21.5%となっている。



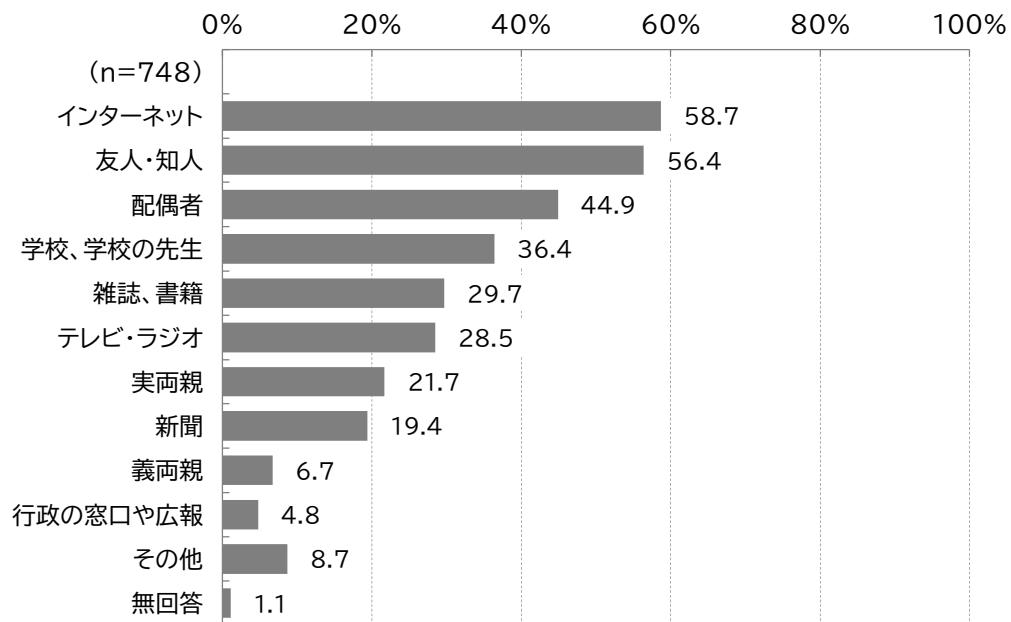
問9 (2) あなたは、休日に調査対象のお子さんとかかわる時間が1日あたりにどれくらいありますか。(〇は1つ)

「それ以上」が30.9%と最も多く、次いで「2時間以上3時間未満」が19.9%、「1時間以上2時間未満」が19.7%となっている。



問10 あなたは、教育や子どもへの接し方に関する情報を、主に誰またはどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

「インターネット」が58.7%と最も多く、次いで「友人・知人」が56.4%、「配偶者」が44.9%となっている。



3 子どもの悩みやあなたの悩みについて

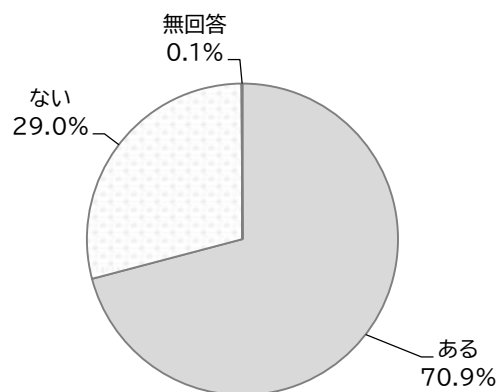
POINT | 子どもの悩みやあなたの悩みについて

- 子どもが高校生世代になってから悩みを相談された保護者は約7割。相談内容は、進路や将来、学校、勉強に関することが多い。
- 子どもとのかかわり方で悩んでいる保護者は約6割。悩みの内容は、子どもの将来や進路、うまく助言できるかわからない、子どもと過ごす時間の少なさなどが多い。

問 11 あなたは、調査対象のお子さんが高校生世代になってから悩みを相談されたことはありますか。(○は1つ)

「ある」が70.9%と最も多く、次いで「ない」が29.0%となっている。

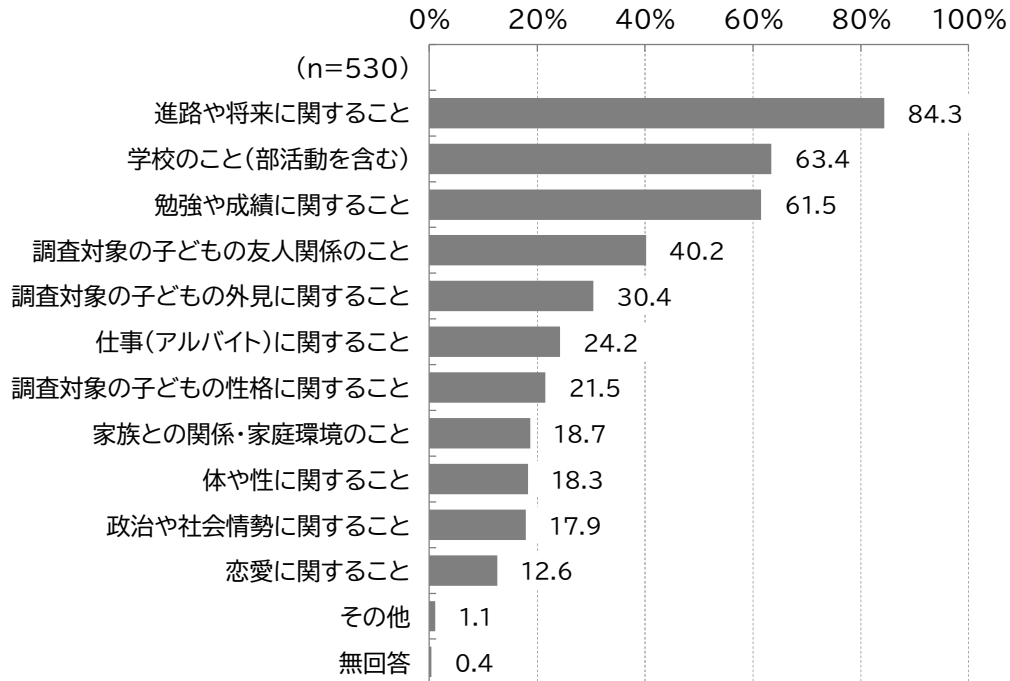
(n=748)



問 11 で「1 ある」を選択した人のみ回答

問 11 (1) あなたは、調査対象のお子さんからどのような内容について相談されましたか。(あてはまるものすべてに○)

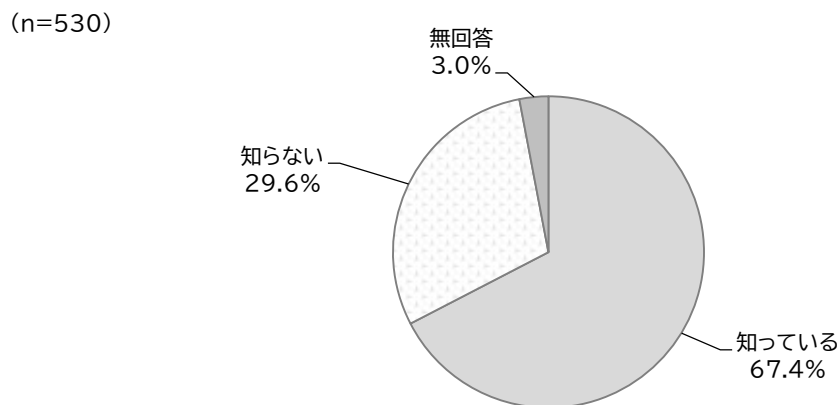
「進路や将来に関すること」が 84.3%と最も多く、次いで「学校のこと（部活動を含む）」が 63.4%、「勉強や成績に関すること」が 61.5%となっている。



問 11 で「1 ある」を選択した人のみ回答

問 11 (2) あなたは、調査対象のお子さんが悩みをどこに（誰に）相談しているか知っていますか。

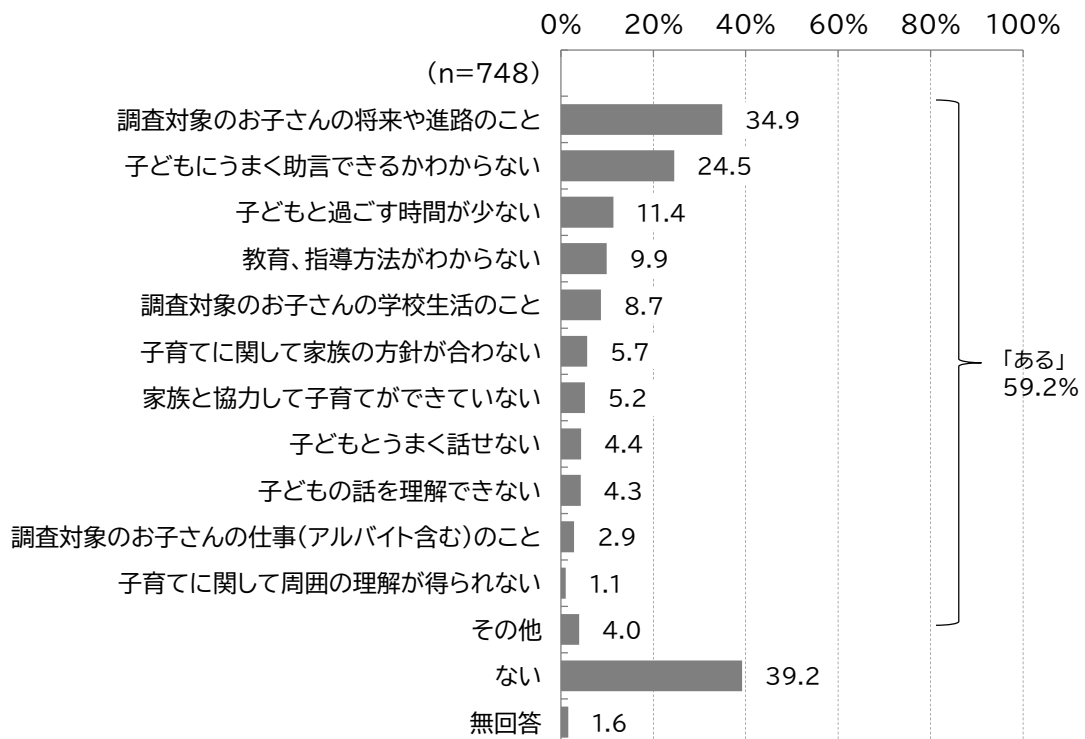
「知っている」が 67.4%、「知らない」が 29.6%となっている。



問12 あなたは、調査対象のお子さんとのかかわり方で悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

調査対象のお子さんとのかかわり方で悩んでいることは「ある」(100%から「ない」と「無回答」を除く)が59.2%、「ない」が39.2%となっている。

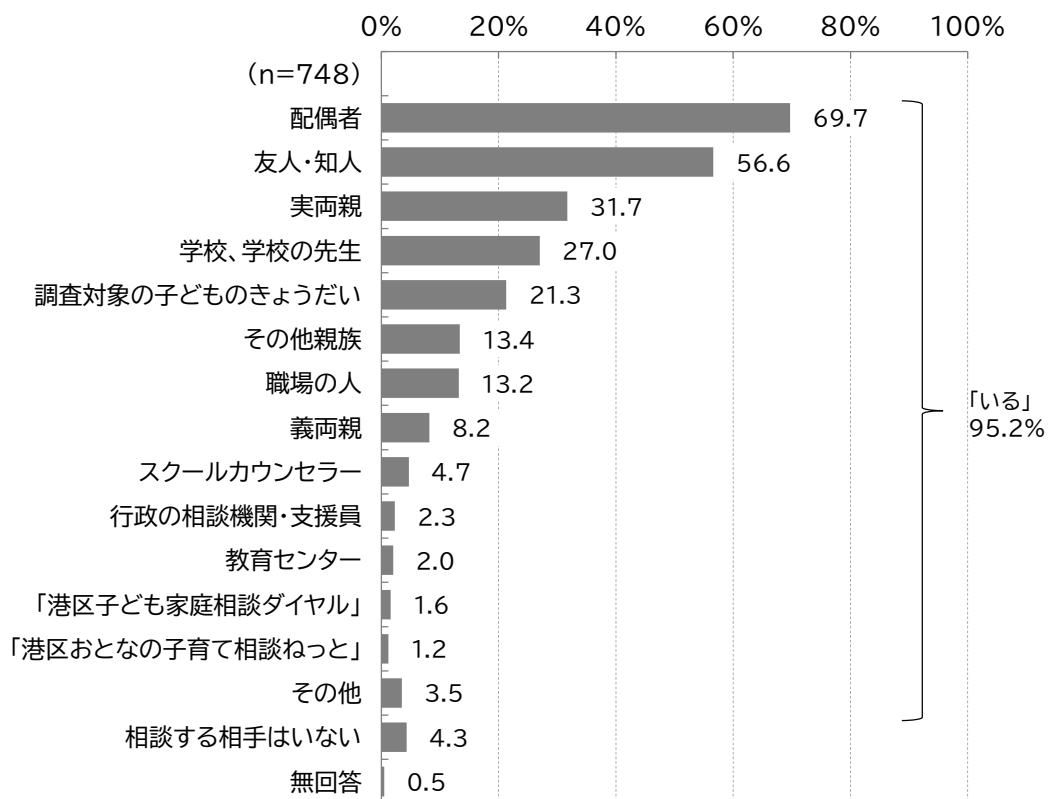
また、「ある」の中では、「調査対象のお子さんの将来や進路のこと」が34.9%、「子どもにうまく助言できるかわからない」が24.5%となっている。



問 13 あなたには、調査対象のお子さんから相談をされた時や、調査対象のお子さんとの
 かかわり方について悩みを抱えた時、相談する相手はいますか。(あてはまるもの
 すべてに○)

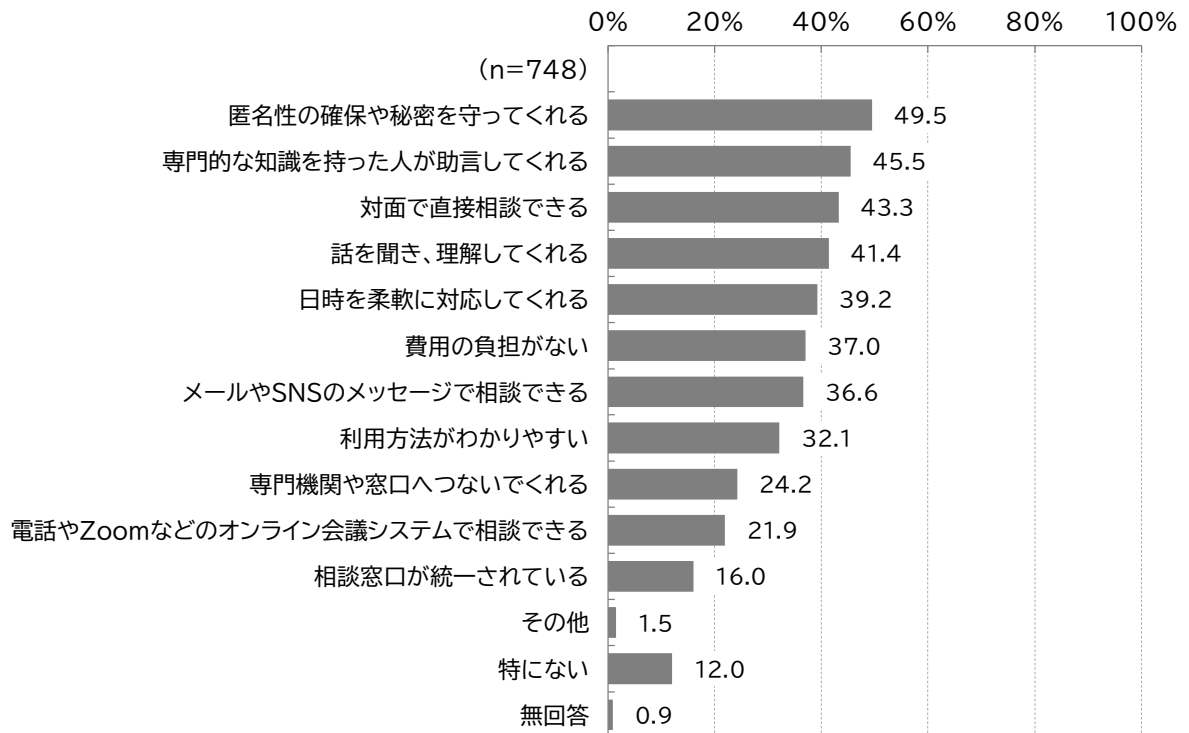
相談する相手が「いる」(100%から「相談する相手はいない」と「無回答」を除く)が
 95.2%となっている。

また、「配偶者」が69.7%と最も多く、次いで「友人・知人」が56.6%、「実両親」が
 31.7%となっており、「相談する相手はいない」は4.3%にとどまっている。



問 14 あなたが、調査対象のお子さんの悩みのことや、調査対象のお子さんとのかかわり方について相談窓口にご相談するときに利用しやすいと思うことについて教えてください。（あてはまるものすべてに○）。

「匿名性の確保や秘密を守ってくれる」が49.5%と最も多く、次いで「専門的な知識を持った人が助言してくれる」が45.5%、「対面で直接相談できる」が43.3%となっている。



4 区の施設について

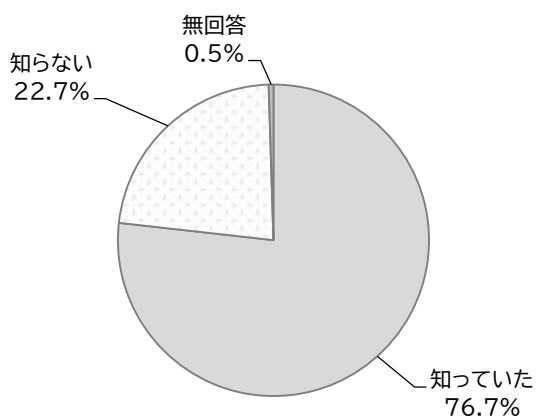
POINT | 区の施設について

- 保護者の約8割が、港区内の子ども中高生プラザを認知している。
- 高校生の居場所や仕組みを作るために区が取り組むこととして、保護者からは、「気軽に立ち寄れる場所をつくる」、「相談に柔軟に対応する仕組みをつくる」などが挙げられている。

問15 あなたは、港区にある「子ども中高生プラザ」のことを知っていましたか。(〇は1つ)

「知っていた」が76.7%、「知らない」が22.7%になっている。

(n=748)



問 16 港区内に新しく高校生世代の居場所をつくるとしたら、高校生世代の子どもたちは、どのような場所であれば利用すると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「行きやすい場所にある」が74.1%と最も多く、次いで「無料で利用できる」が72.7%、「行きたいときにいつでも行ける」が65.4%となっている。



「その他」を選択し記述された回答を以下のように分類した。
 回答者が複数の分類にわたる内容について記載している場合は、各分野に計上している。

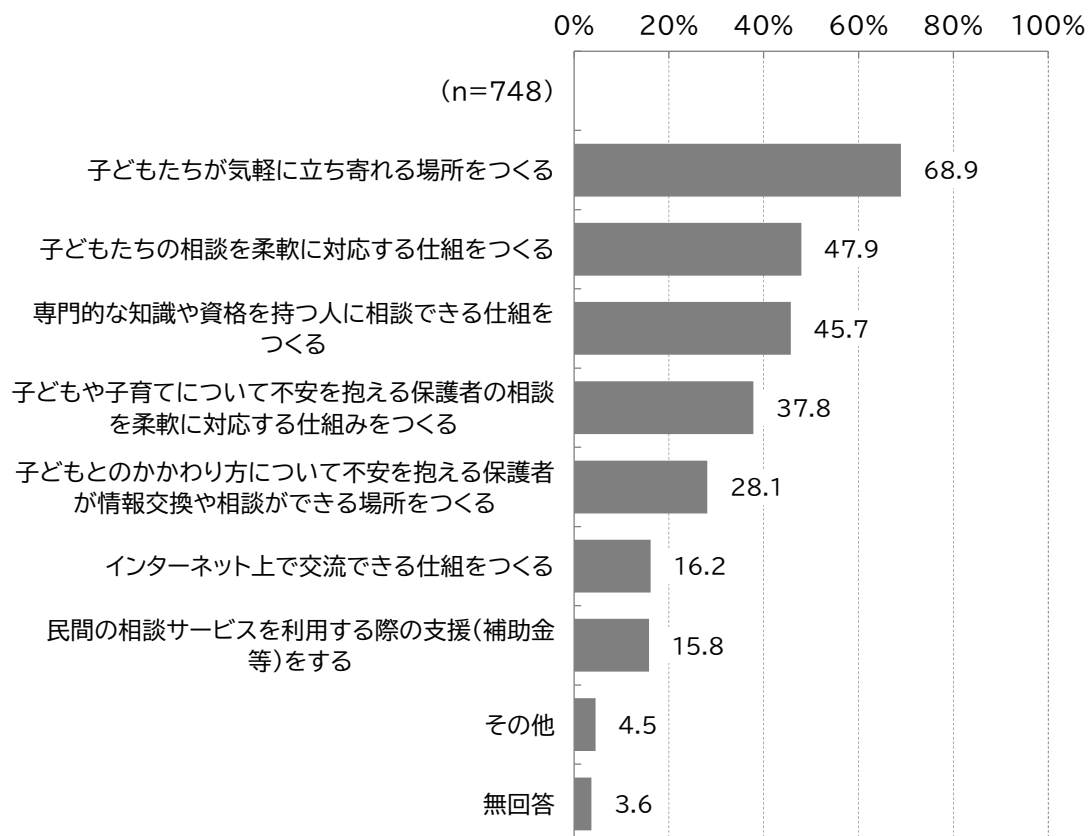
分類	件数
好きなことができる	4
利用しない	4
安全で安心できる	4
イベントがある	3
施設の設備等	3
勉強・自習ができる	2
スポーツができる	2
人と交流できる	2
宿泊できる	1
行きやすい（距離）	1
行きやすい（雰囲気）	1
静かで落ち着きのある	2
その他	5

分類「その他」の回答

- ・知り合いがいない。
- ・大人のサポートがある。
- ・中高生だけの居場所。
- ・SNSで利用情報の発信をして、こどもが情報を自分で収集できるようになっている。
- ・図書館でボランティアなど何か役割があることをする。（居場所を感じるのではないか。働いている人と話が出来るのは、将来の仕事など考えるきっかけになる。）

問 17 高校生世代の子どもたちの育ちや権利が保障される居場所や仕組みをつくるために、区はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもたちが気軽に立ち寄れる場所をつくる」が68.9%と最も多く、次いで「子どもたちの相談を柔軟に対応する仕組みをつくる」が47.9%、「専門的な知識や資格を持つ人に相談できる仕組みをつくる」が45.7%となっている。



「その他」を選択し記述された回答を以下のように分類した。

回答者が複数の分類にわたる内容について記載している場合は、各分野に計上している。

分類	件数
学習支援	3
交流促進	3
社会貢献や将来につながる支援、取組	3
金銭的な支援	2
相談人員の育成	2
その他	17

分類「その他」の主な回答

- ・ 高校生、保護者、教育の専門家、子育てを経験している心理相談の専門家や保健師、経験豊富な地域の高齢者の方々など、港区独自のネットワークを作っただけでよかったらよいと思います。
- ・ 食事のできるスペースがコロナ禍でなくなり逃げて、ながくいられる場所がなくなったように感じます。大人の目があり、遅い時間まで開いている場所があればと思います。
- ・ 区側から、子供たちの権利が守られているかを確認する仕組みが必要だと思う。
- ・ まずは顔見知りになる。
- ・ SNSを利用した情報発信、収集。直接子供の意見を集めるから。(親、学校などの大人を通さない) 子供主体の意見団体をつくる。
- ・ 包容力のある祖父母世代の子育ての大先輩と話がしたい。
- ・ 迅速な対応してください。気づくのが遅い。
- ・ よくやってくれていると思っています。
- ・ 相談窓口はあるものの、その先へつなぐ力が不足している専門者が多い。「きくだけ」になってないか。
- ・ 上からの立場で対応するのではなく、変に対等な話し方などではなく、同じ目線で話せる場所。
- ・ 自分の見ている世界は狭く、世界は広いから、もっとチャレンジできるということがわかる情報を伝える仕組みを作る。世界にかかわり、つながりを持てる仕組みを作ってほしい。
- ・ 信頼できるスタッフを選ぶこと。

問18 最後に、高校生世代の子どもたちの居場所づくりについてや、高校生世代の子を持つ保護者に対する支援について、区に期待することや求めることがありましたら、ご自由にご記入ください。

回答を以下のように分類した。

回答者が複数の分類にわたる内容について記載している場合は、各分野に計上している。

分類	件数
居場所について	96
区の実施について	62
金銭的な支援	28
企画・イベント	10
アンケートについて	2
その他	21

以下、分類ごとに一部抜粋して掲載。

分類「居場所について」の回答

- ・保健室の様な心が疲れても安心出来る場所にしてほしい。
- ・SNSで利用情報の発信をして、こどもが情報を自分で収集できるようになっている。
- ・あまり細かい規程、ルールを作らず、LINE等で気軽にオンライン予約など取れば良いと思う。
- ・大人になりかけているけれど、まだ子供、という微妙な年齢なので、親の言うことはなかなか響かないところがあるがもどかしいです。子供も保護者も、それぞれ信頼する第三者に気軽に相談できる場があると心強いです。子供にとって、学校以外のサードプレイスとなるような居場所があると、世界が広がると思うので、ふらっと立ち寄りやすい場があるといいな、と思います。
- ・子ども以上大人未満の子どもたちに、学校でもなく家庭でもない居場所は必要だと感じています。バーチャルの世界ではない、リアルな経験をすることができる環境が、親の収入に関係なく全ての子どもたちの手の届く所にあることが望ましいと思います。子ども一人一人の良いところ、優れたところを活かせる社会の仕組みがあれば、子ども達の自己肯定感も高まると思います。
- ・進学含め、将来のことで色々なひとの話を聞いて悩み、自分で決めることをサポートしてくれるような、信頼できる大人の人がいる場を作るとは大切だと思います。
- ・普段は何も無くても気軽に立ち寄れて、勉強したり、Wi-Fi使ったりさせてくれて、いざ何か困った時、つらい時に、親にはなかなか言えないことを気軽に聞ける、受け入れてくれる場所、人がいるだけで充分だと思うので、そういう環境があるといいと思います。
- ・一人で過ごしたい時に、危険がなく静かで、お金がかからない場所、趣味に没頭できる場所等、あるといいなと思う高校生は多いのではないかと思います。

分類「区の実組について」の回答

- ・子供にしても保護者にしても、行政からの支援について知らない人が多いと思います。能動的にインターネットで自分から検索するような人は見つけることができますが、そこまで辿り付かない人が多い気がします。高校生がよく見る媒体で、興味を引くように告知するなどの工夫が必要かと思います。
- ・公金を無駄にするような、たんなる遊び場を作るのはやめてほしい。本当に待っている人に届く仕組みを作ってほしい。物理的な居場所ではなく情報を繋いで救い上げる仕組みを作ってほしい。
- ・悩みを抱える人の力になってあげてください。よろしくお願いします。
港区に相談する場所がある事を今回知った。周知されていないと思うので、周知活動をした方が良かったと思います。

分類「金銭的な支援」の回答

- ・幼児、小学生を対象とした施設や手当は充実していると思うが、中学生や高校生に対しては非常に少ないと感じています。思春期で子との関わりが難しく、塾代や学費のかかる中学生、高校生、大学生への支援について、今一度見直し、片寄った今の状況を変えてほしいと思います。
- ・幼少期より高校生世代の方が金銭的負担が増えるため、この時期の支援があると大変ありがたいです。医療費無料になるのは、とても良かったと思います。ちいばす乗車券の配布などが、高校生世代の家庭に配布があるなどあれば助かります。交通費補助や、食費も増える年頃などの事から、お米券など、年代が上がる家庭にも目を向けて頂けるとありがたいです。
- ・進学に際して、返済不要な奨学金の拡充。

分類「企画・イベント」の回答

- ・コロナで失われた中学時代のイベントの変わりになるような企画を用意して欲しい。
- ・高校生世代の子供たちが中心となり活動できるような機会を作ってあげたいと思います。
- ・インターンを経験できる場所を増やしてほしい。

分類「アンケートについて」の回答

- ・区が何をしたいのかわからないです。何のアンケートですか？子ども中高生プラザとか作っても、行っているヒマがある子供は、大学の付属校か進学を考えていない学校の「帰宅部」の生徒位ではないでしょうか。当家的子は塾と学校の学習で手一杯です。遊んでいるヒマはありません。
- ・夫婦仲が良ければ家庭は円満であると考えます。夫婦揃って相談できる場所があると良いと思います。このアンケートの取り方は、あまり良いとは言えないと思います。本当に悩みを抱えるお子さんは、親に見られることを考えて記入しないでしょうし、封筒が一枚しかないことから、親の書いたアンケートとは同封しにくいと思います。

分類「その他」の回答

- ・令和5年度より子ども医療費助成の対象が高校生等まで拡大されるとのことで、大変ありがたく思っています。いろいろとありがとうございます。
- ・SNSで利用情報の発信をして、こどもが情報を自分で収集できるようになっている。
- ・アンケートの案内内容にもあった通り、悩みが多い高校生の時期は、「それでいいんだよ、間違っていないよ、応援してるよ」と受け入れてくれる環境が大切だと思っています。しかし現実はなかなか上手く行きません。結果を最速で求めてしまう世の中に私もどっぷりと浸かっているな、と今回のアンケートで省みることができました。アンケートに答える機会も支援の一つかも知れません。ありがとうございました。

5 考察

(1) 高校生世代の保護者と子どもの回答比較

ア 子ども中高生プラザについて

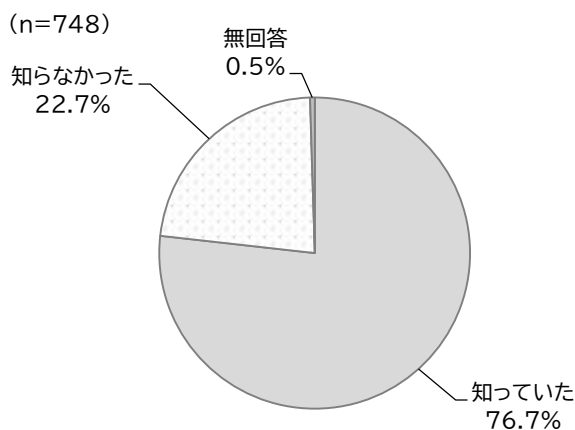
POINT | 子ども中高生プラザについて

- 高校生世代の保護者の約8割、子どもの約6割が、子ども中高生プラザを認知している。
- 子ども中高生プラザに対する具体的意見・要望については、高校生世代の保護者からは、子ども中高生プラザの周知、対象年齢、開館時間に関する要望などが見られた。子どもからは、利用する子どもや職員、施設の新たな機能に関する意見などが挙げられている。

(ア) 単純集計（子ども中高生プラザの認知度（保問15・高問22））

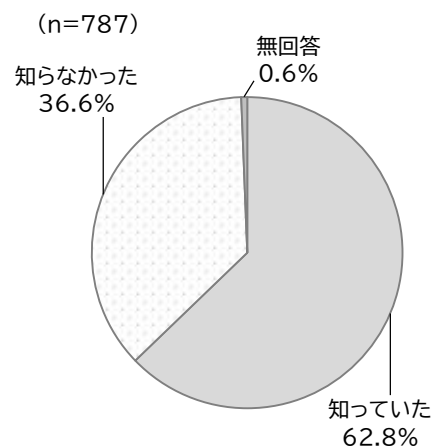
「子ども中高生プラザ」について、高校生世代の保護者は「知っていた」が76.7%、「知らなかった」が22.7%であったのに対し、子どもは「知っていた」が62.8%、「知らなかった」が36.6%と、保護者のほうが子ども中高生プラザの認知度が高かった。

【保護者（保問15）】



保護者	件数	割合
知っていた	574	76.7%
知らなかった	170	22.7%
無回答	4	0.5%
合計	748	100.0%

【高校生世代（高問22）】



高校生世代	件数	割合
知っていた	494	62.8%
知らなかった	288	36.6%
無回答	5	0.6%
合計	787	100.0%

(イ) 自由回答（問 24「高校生世代の居場所づくりについて、区に求めることや期待すること」から子ども中高生プラザに関連する内容を抜粋）

子ども中高生プラザに関する自由回答をみると、高校生世代の保護者からは、子ども中高生プラザの周知、対象年齢、開館時間に関する要望などが見られた。子どもからは、中高生プラザの利用する子どもや職員に関する意見、子ども中高生プラザの新たな機能に関する要望が挙げられている。

保護者	高校生世代
<p>周知に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生プラザについては、私は人づてに知りました。良いサービスやセンターがあっても知らない人がいると思うので、区からの情報発信を効果的に行い、周知することを期待します。 ・中高生プラザは小学生の時期は利用していましたが、高校生になるとどのように利用すべきかわかりません。高校生への利用方法がわかるよう、メールやインターネット、ポスター等で教えてもらいたいです。 <p>対象年齢に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生プラザは 18 歳未満しか利用できませんが、素晴らしい施設とスタッフの方々が揃っていて、悩みごとなど子供の精神面を補助いただき、生活の一部になっているので、18 歳の年齢制限も柔軟に対応いただきたいです。 <p>開館時間に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生プラザが 24 時間オープンであるといいなと思います。息子は友達と色々な悩みなどを話すうちに夜遅くなり、何度か補導されました（公園でキャッチボールなどして）。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども中高生プラザは、スポーツもできるので、週に何日かは子供が利用させて頂いています。小さい子向けの公園では、高校生がスポーツをすることもできないので、中高生向けの施設はとてめありがたいです。 ・中高生プラザの企画がもう少しあるとずっと続けて遊びに行きたくなるのでは思いました。保護者としてはスタッフの方々がいらっしゃり安心して送りだせる遊び場と思っています。 ・高校生プラザとか作っても、行っているヒマがある子供は、大学の付属校か進学を考えていない学校の「帰宅部」の生徒位ではないでしょうか。当家的子は塾と学校の学習で手一杯です。遊んでいるヒマはありません。 	<p>利用する子どもに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生プラザはきれいで安心できますが…。小学生の作品をロッカーに置くと中学生とか勝手に取っていき壊されたり、無くなったりして困る。子供たちのスタッフに対する態度が悪すぎる。暴言、暴力など大人に対する接し方がひどい。スタッフもそれに対してきちんと叱るなりしないと子供達はいつまでも大人をなめてかかって悪いと思う。 <p>職員に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんで～もでは、子供にあわせたような職員が多いため、気軽に話しかけづらい。もう少し高校生も居やすいような職員が居てほしいと思った。 ・中高生プラザの職員は、利用する子供（児童）と恋愛関係にならないように気を付けてほしい。強く要望します。 <p>新たな機能に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生プラザに高校生専用の静かなフロアを作ってくれて、大学受験の勉強ができる環境と、息抜きのために友達とおしゃべりできるカフェスペースができたら利用すると思います。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラリバは最高の居場所だと思う。スタッフも明るく優しくいつでも行ってもいい雰囲気があり、変な人に逢ってしまったら逃げ込める、助けてもらえる安心感もある。

イ 新たな高校生世代の居場所づくりについて

POINT | 新たな高校生世代の居場所づくりについて

- 高校生世代の保護者と子どものいずれも、「利用すると思う（行ってみたい）高校生世代の新たな居場所」の要件として、無料で利用できるなどの利便性、Wi-Fi 環境などの快適性が多く挙げられている。
- 「犯罪などに巻き込まれることなく健全に過ごせる」など保護者目線での要望も見られる。

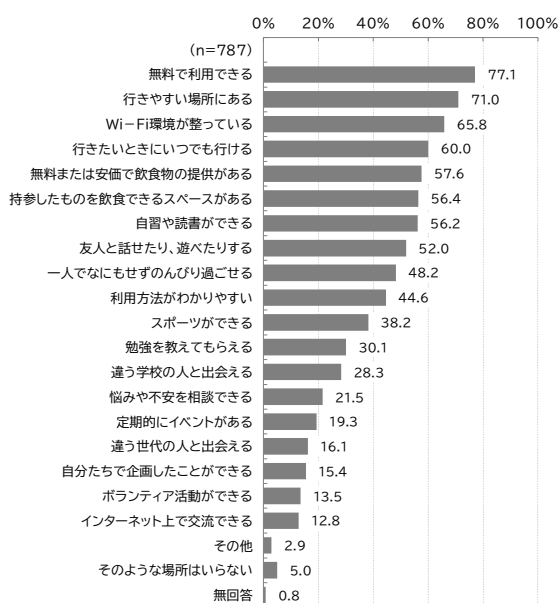
(ア) 単純集計（利用すると思う（行ってみたい）高校生世代の新たな居場所（保問 16・高問 23））

「利用すると思う（行ってみたい）高校生世代の新たな居場所」の要件については、高校生世代の保護者、子どものいずれも「無料で利用できる（保護者 72.7%、子ども 62.8%）」や、「行きやすい場所にある（保護者 74.1%、子ども 71.0%）」など利便性に関するものが多く挙げられている。また「Wi-Fi 環境が整っている（保護者 62.2%、子ども 65.8%）」など快適性を要件とする声も多い。

【保護者（保問 16）】



【高校生世代（高問 23）】



	保護者	割合
1	行きやすい場所	74.1%
2	無料で利用できる	72.7%
3	いつでも行ける	65.4%
4	Wi-Fi 環境	62.2%
5	自習や読書ができる	57.6%

	高校生世代	割合
1	無料で利用できる	77.1%
2	行きやすい場所	71.0%
3	Wi-Fi 環境	65.8%
4	いつでも行ける	60.0%
5	無料・安価の飲食物提供	57.6%

(イ) 自由回答（問 24「高校生世代の居場所づくりについて、区に求めることや期待すること」から新たな高校生世代の居場所づくりに関連する内容を抜粋）

新たな高校生世代の居場所づくりに関する自由回答をみると、利便性や快適性を求める意見・要望の具体的内容は、高校生世代の保護者と子どもで類似しているが、「犯罪などに巻き込まれることなく健全に過ごせる」など保護者目線での要望も見られた。

保護者	高校生世代
<p>無料で利用できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間無料で集まれて、身体も動かせるところがあると良いと思いました。 	<p>無料で利用できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生はお金が無いので無料で気軽に利用できる場所を作ってほしいです。
<p>行きやすい場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生だけが集まれて、強制力はなく自由で、騒いでもいいし、勉強してもいいし、そんな広くて行きやすい場所が学校から自宅までの間や近所にあるととても良いと思う。 	<p>行きやすい場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅から近ければ利用しやすくいい。 ・気軽に行けて、Wi-Fi環境がある場所カフェとかが欲しい。家の近くにあまりそういう場所がない。
<p>Wi-Fi環境</p> <p>Wi-Fi環境が整い冷暖房完備なら高校生は集まるでしょうが、ずっと会話せずゲームやSNS、動画再生に興じることと思います。アクセス設定する際に、何か工夫して頂けたらと思います。</p>	<p>Wi-Fi環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi環境の整っている自習室があるといいなと思います。 ・Wi-Fiが整ってる遊べる場所が欲しい。
<p>いつでも行ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校に行けているこどもたちの居場所として考えるのであれば、学校が終わってから行ける時間に開いていることが大前提で、夕方から夜まで開館できる場所が必要。 ・自習できる安心な環境が近くにあると良いと思いました。夜10時くらいまで開いていたら、塾の自習室よりも移動時間がかからなくてすみます。 	<p>いつでも行ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家には小さい弟と妹がいてうるさいし、図書館の自習スペースはいつも埋まっているので、学生がいつでも使える自習室が欲しい。 ・塾に自習室がなかったり、塾自体がない日に使いたい。塾同様に21時、22時と遅い時間帯までやっている。 ・家に帰りたくない時に、夜遅くまでもしくは泊まれる場所があったら良い。
<p>保護者目線の意見・要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生は、学校、部活、塾、自宅学習、趣味、と毎日忙しすぎて、居場所を求めるとい時間すらないのではないかと思います。ですので、国や自治体で集まれる場所を作って与えられたとしても、そこに集まれるのは、ほんの一部の高校生だけになるのではないのでしょうか。 ・子ども以上大人未満の子どもたちに、学校でもなく家庭でもない居場所が必要だと感じています。バーチャルの世界ではない、リアルな経験ができる環境が、親の収入に関係なく全ての子どもたちの手の届く所にあることが望ましい。 ・犯罪などに巻き込まれることなく健全に過ごせる場所があると助かります。自習できるスペースなど自宅ではなかなか勉強に集中できないようなので。 ・ネットやアニメ、ゲームセンターの様なゲームができる環境があると自ら行くかもしれませんが、高校生は難しいです。 ・親の声のかけ方やアドバイス方法、接し方や困った事が起きた時にすぐ相談できる（数日後ではなく）所を設けて欲しい。 	<p>高校生世代（当事者）目線の意見・要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悩みを持っていたり、家庭環境に問題があったりする子向けに作るのも大切だが、それと同時にいわゆる“普通の子”と“普通の子っぽく振る舞ってる子”が一緒に行けるような気軽な場所であってほしい。 ・料金が安い高いという理由だけで公共施設を利用し、そこで騒ぐ迷惑な集団などがいると、せっかくの和んでいてほんわかしているそういう施設が台無しになるので、絶対に万人受けする施設だからといって利用するとは限らないと思う。 ・活発に遊ぶ人が溜まり場とするようなところは、居場所を必要としている人たちが居づらすぎる空間になる。運動ができて安価な飲食の提供があったら、本当に嫌な高校生の溜まり場になりかねないので、遊べるとしても個々がゆったりとできる空間とはしっかり分けてほしい。利用するための壁が低ければ低いほどそういう人たちが集まりやすくなってしまおうと思うので、一定の金額がかかっても良いから、元気な人たちの溜まり場にはして欲しくない、見てるだけで辛い。

第4章 ヒアリング調査結果

1 調査目的

高校生世代に対するアンケート調査では、高校生世代の子どもたちが抱える悩みや居場所の有無、居場所に求める機能や要望などについて全体的な傾向を把握した。

日頃から高校生世代の子どもたちと関わっている施設の職員や学校の教育現場から、高校生世代の子どもたちとの関わり方や居場所をつくるために必要な要素などについて把握することが、高校生世代の子どもたちの居場所づくりを検討するために必要であった。

以上のことを踏まえ、今後区が子どもたちの居場所づくりに関する取組を検討するにあたっての基礎資料を得ることを目的として、区立児童館と子ども中高生プラザ、高校に対するヒアリング調査を実施した。

2 実施概要

調査対象	①区立児童館4施設、子ども中高生プラザ6施設及び児童高齢者交流プラザ1施設 ②区内の高等学校5校	
調査方法	対面による聞き取り調査	
調査期間	令和5年6月19日（月）～令和5年8月8日（火）	
調査内容	【児童館・子ども中高生プラザ】 1 施設における高校生世代の利用状況 2 施設における高校生世代にとっての居場所となるための取組や工夫 3 施設における課題 4 高校生世代アンケート調査結果を踏まえて 5 その他	【区内の高校】 1 学校の現状 2 高校生世代の居場所づくり 3 その他

3 調査結果

(1) 児童館・子ども中高生プラザ・児童高齢者交流プラザ

①施設における高校生世代の利用状況

○A施設

①高校生世代の利用人数（コロナの影響など）、利用時間、利用目的

- ・常時6～7名ほどの利用がある。土日は特に多く、20人を超えていても珍しくない。
- ・利用時間は、部活終わりの18時前後の時間帯が多い。
- ・テスト期間中で部活がない日は早く来館する。
- ・ボードゲームやスポーツをしに来る子が多い。

②どのような属性（性格）の子が利用しているか

- ・中学生だった子が高校生になっても継続して利用している。
- ・利用者のほとんどは港区在住だが、なかには区外在住もいる。高校別にみると、区内の高校は特定の1校のみで、ほとんどが区外の学校に通っている。
- ・以前は学校に馴染めない子や通っている高校が遠いため土日にでかけるならA施設、という子もいたが、現在はそのような子はほとんどいない。

○B施設

①高校生世代の利用人数（コロナの影響など）、利用時間、利用目的

- ・令和5年度は、高校生の利用が少なくなっていると感じている。
- ・令和4年度までは、高校3年生の子たちがゲームやローラースケート、勉強など様々な目的で利用していた。
- ・ほとんどがバンド目的での利用となっている。
- ・コロナ禍に新しく開設した施設で、施設の認知がされていないのではないかと感じる。

②どのような属性（性格）の子が利用しているか

- ・地元の子には「居場所」として、区外の子はバンド等目的があって来館している印象。
- ・女子高生が施設の女性スタッフに友人関係や家庭環境について話をすることもある。
- ・悩みの話があった場合は、寄り添い傾聴することを心がけている。

○C施設

①高校生世代の利用人数（コロナの影響など）、利用時間、利用目的

- ・コロナ前は中高生の利用率は、全体の14%だったが、現在は19%となっている。
- ・利用目的は、スポーツ、音楽、ボードゲーム、テレビゲームが多い。
- ・高校生は、平均して15人ほどの利用がある。
- ・スタッフに会いに来たり、子ども中高生プラザに来れば誰かと話せるから来る子もいる。
- ・利用者のほとんどは男子で、これは全国的にみても同様の傾向。女子はコミュニティを形成するのが上手で、男子はスポーツ等を通してコミュニティを形成するからではないか。

②どのような属性（性格）の子が利用しているか

- ・学習室はあるが、そこで勉強している子は少なく、ラウンジで勉強している子が多い。
- ・勉強したい子は、別の区の施設や図書館に行っている。地域に勉強できる環境があるため、利用目的ごとにすみ分けができていないのではないか。
- ・施設創設当時に小学生だった子が高校生になってからも継続して利用する流れができてきた。
- ・口コミや友達に連れられて来館する子が多い。
- ・中高生から、幼児や小学生がいて使いづらいという意見は聞いたことがなく、逆に中高生が小学生の輪に入っていくことがある。
- ・子どもたちと触れ合うなかで相談を受けることも多く、女子からがほとんどである。友人関係や恋愛関係、家庭環境について話を聞く。

○D施設

①高校生世代の利用人数（コロナの影響など）、利用時間、利用目的

- ・平日は、18～20時に、平均して5名程度が利用しており、ほぼ常連の子どもたちである。常連の子たちの他に、先輩が来ていたからという理由で先輩が来てくれたり、部活がなかったから来館してくれたりする子がいる。土日は午後から10～15名くらい利用している。
- ・バスケットボールをするために来館する子が多く、現在も利用目的の大半はバスケットボールをするため。
- ・コロナもあり、現在は利用者数が減っているが、多い時には、20人くらい来ていた。以前、メインで来ていてくれた子たちが大学生になり、ボランティアで来てくれることもある。性別でみると、男の子が多い。

②どのような属性（性格）の子が利用しているか

- ・常連の子は男の子が多いが、何らかのプログラムへの参加やその参加をきっかけに来館するようになるのは女の子の方が多い。
- ・基本、地元の子が多いが、高校になり引っ越し現在は区外に住んでいるが、今でもここに来てくれている子もいる。また、自宅は区外で遠いが、通っている学校が近い子もいる。無料で体育館を使うことができるというメリット感から、多少、遠くからでも来る子もいる。

- ・高校生でいうと、殆どの子が小学生や中学生の頃に来ていたことがある子、またはその友人で、全くの新規でふらっと入ってくる子は殆どいない。小学1年生の時に学童で来ていた子が、高校1年生になり「無料でダンスができる場所がある」という理由で来るようなケースが多い。

○E 施設

①高校生世代の利用人数（コロナの影響など）、利用時間、利用目的

- ・日中の高校生の利用はほとんどない。
- ・施設に訪れた高校生が小中学生と遊んでいる姿が時折みられる。
- ・女子は、日常的な利用はないが、たまに同窓会のような感じで、半年に1回程度複数人で施設スタッフに会いに来ることがある。
- ・毎日中高生専用の時間帯を設けているが、門限などにより早めに帰宅している。
- ・男子は、スポーツやゲームをしに来館している。

②どのような属性（性格）の子が利用しているか

- ・来館する高校生は、施設や学童クラブに通っていて施設に馴染みのある子で、高校生になって初めて施設を利用する子はほとんどいない。
- ・地方の学校に通っている子が、東京に戻ってきたときに遊びに来ることがある。
- ・以前は、もともと施設に通っている子が学校の友人を連れてくることはあった。
- ・高校生の利用者は、施設周辺に住む子がほとんどで、区内の他の地区や区外から来る子はほぼいない。
- ・男子が数名利用する程度で、女子の利用がほとんどない。

○F 施設

①高校生世代の利用人数（コロナの影響など）、利用時間、利用目的

- ・元々、高校生世代の利用は非常に少ない。
- ・高校生世代の利用者がいた当時は、スポーツをしたりしていた。
- ・何名かの中学生は利用しているが、遊ぶことがメイン。普段使っている部屋が使えない時間帯は別の部屋でスマホやゲームを見ている。遊びに来ている子たちから、相談を受けることは殆どない。利用の頻度は、まちまち。コンスタントに来ている訳ではなく、来たいときにふらっと来ている。

②どのような属性（性格）の子が利用しているか

- ・中学受験をする子が多いので、小学生でも5年くらいになると来なくなり、受験が終わって小学校卒業まではワツときて、中学生になって忙しくなって来なくなることが多い。
- ・以前、遊びに来ていた子が、中高生になってふらっと来館することはたまにある。これまで一度も来館がなく、初めて来る子というのはほとんどいない。

○G施設

①高校生世代の利用人数（コロナの影響など）、利用時間、利用目的

- ・ コロナ禍で音楽活動の利用も制限していたが、コロナが緩和してきて利用制限を解除したこともあり、音楽活動の利用者も回復し、体育館の利用者も増えてきている。平日の多いときで20人くらい。休日の利用者は少ない。ただし、時期により、増減はある。文化祭の前や、三年生を送る会等、学校のイベントが近くなると、休日でも利用が増え、そうしたイベントの準備をする子が増える。平日の学校帰りに来る子が多い。男女比は半々くらい。
- ・ スポーツや音楽活動を目的に来館する子もいるが、一人で来て勉強している子もいる。
- ・ 無料で各部屋を利用できたり、コンビニ等でちょっとしたお菓子や飲み物を買ってきて、気ままにおしゃべりができるスペースを利用できる点で、マック等ではなく、本施設が選ばれているのだと思う。お金をかけずに長時間過ごすことができる点が貴重なようだ。
- ・ 区内の子だけではなく、区外からの子もいる。

②どのような属性（性格）の子が利用しているか

- ・ 不登校の子も来ている。家庭環境も理解しているので、きめ細かく対応している。

○H施設

①高校生世代の利用人数（コロナの影響など）、利用時間、利用目的

- ・ 高校生世代の利用にコロナの影響は特段なく、3～5人（男女半々くらい）が利用しており、たまに学校の友人を連れてくることがある。
- ・ 放課後から閉館まで利用しており、目的があって来館するわけではなく、ふらっと立ち寄り雑談などしている。
- ・ 高校生世代になってから新たに利用を始める子はいない。
- ・ 近所同士の仲がよく、子どもたちも学年の垣根無く仲良くしている。同窓会のような気持ちで施設に来館するのではないか。また、大学生になってから立ち寄ってくれる子もいる。

②どのような属性（性格）の子が利用しているか

- ・ 高校生や大学生になり新しいコミュニティに馴染めなかった子たちが訪れるなど、心よりどころになっている。

○I 施設

①高校生世代の利用人数（コロナの影響など）、利用時間、利用目的

- ・平日は20～30名来ている。休日は部活や家族でのお出かけ等で利用者数が減るので10～15名程度となる。コロナで一時利用者数は減少したが、令和4年くらいから戻り始めている。
- ・周辺には公園やスポーツができるところもあるが、室内で安全で無料で遊ぶことができ、飲み物もあり、時間管理の中、交代で必ず使うことができる、空調がきいているという点に惹かれて来館する子が多い。
- ・圧倒的に男の子が多い。男の子と女の子の比率はおおよそ7：3くらい。
- ・基本、スポーツやダンス、遊び等で来館する子が多いが、スタッフが相談を受けることもある。

②どのような属性（性格）の子が利用しているか

- ・学校帰り、部活帰りに寄ることが多い。区内在住と区外在住の割合は半々くらいとなっている。定期券内で、アクセスが良いという理由で来館する子もいる。
- ・スポーツやゲームをしにきている。また、ダンスや音楽活動の練習をしにきている。
- ・先輩からの紹介で来ている子が多い。友達が友達を呼ぶ広がりが多い。ただし、ポツと来る子もいる。コロナが緩和し、色々なところに出る人が増えたことによる影響ではないかと思う。昔、学童でここに来ていて、何年後かに来館する子もいる。
- ・グループで来る子が多いが、一人で来る子もいる。また、外国にルーツがある子どもが来ることも多い。身振り手振りでコミュニケーションをとり、一緒にスポーツをしたりしている。一人で来ていても、例えば、他にいる子と一緒にスポーツをしたりするので、一人で来たからずっと一人でいるということではない。

○J 施設

①高校生世代の利用人数（コロナの影響など）、利用時間、利用目的

- ・中学生向けのイベントを開催することはあるが、高校生の利用は殆どない。高校生と接するのは、各職員の個人的なつながりから、時折、お祭りのボランティアをお願いする程度。ボランティアできてくれる子ども達をみると、男の子の方が多い。
- ・区内に限らず、区外からの利用も結構ある。

②どのような属性（性格）の子が利用しているか

- ・小学生の時に本施設を利用していた子ども達が、中学生になって来館することはたまにある程度で、利用者の多くは乳幼児、その保護者、学童クラブの小学生等である。

○K施設

①高校生世代の利用人数（コロナの影響など）、利用時間、利用目的

- ・高校生世代が定期的に利用することはない。月に1回程度、高校生の男の子2～3名がスポーツをしに来ているくらいである。
- ・スポーツをしにくる高校生が、ボランティアで小学生にスポーツを教えに来ることもたまにある。

②どのような属性（性格）の子が利用しているか

- ・高校生がここに来る場合、ここで何かをしたいというのではなく、自分の育ってきた場所で、スタッフともつながりがあり、利用しているという面が大きい。小さい頃から自分を見てくれているスタッフとの個人的なつながりで来ている子が多い。昔からの関係性で、話を聞いてほしいということに来る子もいる。

②施設における高校生世代にとっての居場所となるための取組や工夫

A施設

- ・高校生と話したときに、その子の趣味の話がでたらそれについて調べ、共通の話題となるようにしている。職員の持つ情報を常に更新していくことが大切と考えている。
- ・職員個人が子どもにとっての居場所とならないよう、近すぎず、遠すぎずという距離感を大切にしている。
- ・“児童館はこうあるべき”という固定観念から脱却して、高校生の子たちのニーズを把握していくことが大切である。主役は子どもたちであり、子どもたちがなにを求めているかをしっかり追求することが居心地がよいと感じる場所につながると考え、日々子どもたちと接している。
- ・家や学校以外の「第3の居場所」でしかできないことを叶えていくことに児童館の存在意義があると考えている。
- ・大人目線からの子どもにとっての居心地がよい場所ではなく、子どもたちの意見に寄り添うことが重要である。
- ・子どもたちの意見をなるべく実現できるようにしており、達成感を味わってもらうよう工夫している。
- ・全員で同じスポーツに取り組む日を設けており、ふだんとは違うスポーツに取り組むことで、新たなコミュニティ形成の一助になっている。違うスポーツの団体同士が繋がると、場所取りなどの小さな争いもなくなり、建設的な関係性が生まれている。
- ・子どもたち同士を繋げて、子どもたちにとってより居心地がよい場所となることを目指している。

B施設

- ・中高生専用の時間を設けている。
- ・中高生を対象としたプログラム（軽食の提供、ゲームやスポーツの実施）を毎月いくつか用意しており、職員も積極的に参加している。
- ・中高生専用の部屋があり、バンド活動やゲーム、勉強など多目的に利用できる。
- ・近隣の高校に協力してもらい、毎月チラシを配布してもらっている。
- ・Facebookを開設し、イベントなどの情報発信をしている。
- ・子どもたちの興味関心に常にアンテナを張ること、ゲームを一緒にできるようになること、高校生が知らない遊びを教えてあげられるようにすることを心がけている。
- ・一番大事なのは、雑談力で、子どもたちとコミュニケーションをとれることが大切だと思う。
- ・職員と一緒にゲームしたい子、自分たちだけでしたい子など様々な子がいるため、距離感を大切にしている。

C施設

- ・来館する子を重層的・構造的に考えている（逆三角形）。一番上の層は、大多数でスポーツなどの目的がある子と目的がなく自由に来る子。次に、施設が企画するプログラムに参加する子で、一番上の層の子に比べて施設への参画度が高い子。次に、高校生たち自身で企画するなど、さらに施設への参画度が高くなる子。一番下は、さらに参画度が高くなり、地域との連携をしたいと思う子。
- ・イベントを実施し、そこで集まった子たちに別のイベントの告知をしたり、子どもたち

の興味を聞いたりするなどしている。

- ・自分たちの企画を通して実現することで、児童館は自分たちがやりたいことができる場所だと実感してもらう。
- ・子どもたちがやりたいことができるということが重要であると考え、スポーツや音楽など、様々なコンテンツを用意できるよう取り組んでいる。
- ・日頃職員が子どもたちと一緒に遊んだり会話をしたりするなかで、子どもたちのやりたいことなどを把握するようにしている。
- ・利用登録をしている子にLINEでイベント情報などを配信している。二次元コードを載せた名刺サイズのカードを配布することも検討している。
- ・高校生の子たちの過ごし方と施設のルールとのマッチングしていくよう、時間をかけて付き合うようにしている。高校生にルールを理解してもらえよう丁寧に対応しているところに職員が一番エネルギーを使っている。
- ・子どもたちから相談を受けた際には、個人では背負わず組織で共有し、相談内容の度合いによって、様子を見るのか、適切な機関につなぐのかを判断している。

D 施設

- ・18時以降は、中学生、高校生のみ利用になるので、来ている子たちがやりたいように使える。
- ・友人同士で来ていても、一人で来ていても、スタッフが必ず声掛けをして、一緒に遊ぶようにしている。一人ひとりがやりたいことを理解して、対応するようにしている。
- ・一人で来る子もいる。個人の時間も大切だと思うが、皆で遊ぶ楽しさにも触れてもらいたいと思う。ただし、読書が好きな子にバスケットボールを誘ってもやらないし、やりたいとも思わない。そういうときは、別の角度から、例えば、卓球であったり、ボードゲームであったり等、その子、その子に合わせて、一緒にできるものを考え接している。ただし、本を読みたい子に、無理やり別のことをやらせたりはせず、例えば「今、何巻読んでいるの？」等と、その子に合わせて話をしている。
- ・多様な子どもたちのニーズに丁寧にスタッフが対応していくことが大切。
- ・日頃から、来館してくれる子たちが自然と心を開けるようと思いながら接している。それこそが、スタッフの存在意義だと思うし、子どもたちが安心できる場を提供することが子ども中高生プラザの使命だと考えている。
- ・中高生向けのプログラムを作ろうとしたきっかけは、高校生たちが、次のステージに行く際の進路相談に対応しようという趣旨から。
- ・子どもたちの「やりたい」を実現してあげることが重要視している。大学のサークルや部活等に連絡しても、意外と協力してもらえる。

E 施設

- ・施設のスタッフは、保護者でも学校の教員でもない第3の大人として、高校生に寄り添った対応を心がけている。
- ・来館してくれた子には感謝の気持ちを伝えて、いろいろな話をするようにしている。いろいろな話をする中で、その子が何ができるようになったかなど変化に気づくようにしている。
- ・昔からの関係性ということもあるが、子どもたちから煙たがられてもこまめに継続して話しかけることが大切。その結果子どもたちは心を開いてくれる。
- ・子どもが疎遠になって一時的に来なくなっても、その後来た時にはしっかり話をするなどして、子どもたちの居場所として受け入れる姿勢をみせている。

- ・信頼関係を構築しているからこそ、勉強や進路、恋愛に関する相談を気軽にしてくれている。
- ・日常声掛けをしてコミュニケーションをとることで、高校生たちがなにを求めているのかニーズを把握している。
- ・首都圏中高生ネットワーク会議に参加し、情報を収集している。

F 施設

- ・スマホや携帯が使える場所を設けている。

G 施設

- ・一度帰宅してからではなく、制服のまま学校帰りに寄れるよう、学校側と調整した。
- ・中高生向けのイベントのチラシを毎月作成している。週1回「個人プログラム」という企画を設けており、1人でふらっと来館できるようなきっかけづくりをしている。
- ・民生委員さんたちの協力も得ながら、高校生とスタッフが簡単な料理をして、作ったものを食べながら団欒するプログラムを実施する。
- ・食べながらのおしゃべりは非常に大事な機会だと思う。子どもたちが一番しゃべりたい時間帯は、学校が終わった後のちょっとお腹が空いた頃。そのときに合わせて、食べながらおしゃべりができるプログラムを行っている。これまでも、デパート、チョコレート専門店、コンビニのチョコを買ってきて、目隠しで食べてもらいながら当ててもらうようなゲームのようなことをしながら、高校生とスタッフが一緒に食べておしゃべりしてきた。そうした中で、学校の話や学校の話、悩んでいること等を話してくれるようになる。
- ・スポーツやダンス等、目的を持ってグループで来る高校生のことはあまり心配していない。それよりも、一人でふらっと来る子が、第二の家のような気持ちで寛いでもらえるようにすることが大切だと思う。

H 施設

- ・毎週金曜日18時から19時に中高生タイムを実施しており、軽食の提供（有料）を行い、スポーツを楽しむことができるイベントとなっている。
- ・年に1度開催する施設のイベントでは、実行委員会を立ち上げ、自ら企画立案する経験ができるよう工夫している。このような経験が、子どもたちの自己肯定感の向上に寄与すると考えている。

I 施設

- ・定期的に、軽食を無料で提供するイベントを開催している。そこでは、学校の話を書いたり、別の学校の子同士で一緒にご飯を食べて仲良くなる等している。
- ・月に1回、18時以降に施設のスタッフと来館した中高生と一緒にスポーツをする「中高生タイム」を設けており、大人とスポーツで勝負できる機会は、子どもたちに喜ばれる。これからも継続していく予定。

J 施設

- ・ 高校生が来館することは少ないが、以前からのつながりでボランティアにきてもらったり、気軽に話しをする中で、親でもなく、教員でもなく、第三者の立場で悩みや話を聴く機会はある。その時の会話の内容としては、好きな子の話しなど。何気ない雑談から相談を受けることもある。
- ・ 子ども達との関係性を築くために、事務的ではなく、ざっくばらんに、想いや感情をしっかり表現することを心掛けている。小さな頃から見ても関係を築いているので、その子の親や先生たちが言えないことでも入っていけると思う。上から目線ではなく、同じ目線で接することが大切だと思う。

K 施設

- ・ 毎週金曜日に 18～19 時に中高生タイムを設けている。

③施設における課題

A施設

- ・高校生世代の子の利用促進を図るため、ニーズに対応するために、高校生世代の子が利用しているツールやアプリに合わせて、SNSを活用するなどスピーディーに対応していくことが求められるが、現状はおたより（紙媒体）とホームページのみでの情報発信となっており、対応できていない。
- ・イベントの計画を立てて周知することも必要だが、その日に子どもたちが来るとは限らないため、子どもたちが来たいと思うときに情報を早く展開できるとよい。
- ・高校生のパーソナルスペース（空間）を確保することがハード面での課題となっている。来館する高校生たちは小学生たちと仲良くしているが、自分だけの時間も欲しいと思う。
- ・いろいろな世代との交流というのは大人目線での考えではないか。実際に小さい子との交流が好きな子もいるが、小さい子たちの雰囲気に合わせていくことが難しい高校生も多いと思う。高校生世代は多感な時期であることから、静かに過ごせる場所も必要だと感じている。
- ・一人になれる場所と交流できる場所の空間を分けられるとよい。
- ・区立の小中学校とは月に1度情報交換を行っているが、高校となるとそれが難しい。学校と子ども中高生プラザでの様子をそれぞれ情報交換できればよいが、できないのが現状。
- ・乳幼児、児童の時間帯に職員の対応が厚くなり、中高生の時間帯には人手が薄くなってしまうため、子どもたち一人ひとりに寄り添うことが難しい。子どもたちのニーズに対応したきめ細かな対応をするための人材の配置も課題となっている。

B施設

- ・他の施設と比べて室内の運動スペースが狭く天井が低いことから、本格的に試合をすることは難しい。子どもたちから広い場所を要望する声もあったことから、屋外運動場にバスケットボールのゴールを設置できるよう工事要求をしている。
- ・区内の子ども中高生プラザの中で一番小さく、高校生が思いっきり遊べて自由に過ごせる場所の確保が課題となっている。
- ・インスタグラムなどのSNSを活用したタイムリーな情報発信を検討しているが、できていない。
- ・0歳から18歳までの幅広い年齢を対象としていることから、高校生が利用しづらいのではないかと。
- ・SNSによりリアルタイムで、高校生より下の世代の子たちの利用状況がわかれば、高校生が来やすくなるのではないかと。
- ・施設の名称も高校生にとっては重要。たとえば児童館だと高校生が周囲の目を気にしたりして利用しづらい。
- ・世代や子どもたちの目的別に施設内の空間を分けられるのが理想。現在はタイムシェアとなっている。
- ・区立の小中学校とは定期的に情報交換をしているが、高校とはそれが難しい。
- ・地元の子でよく来館する子とは関係を構築して親しくなっていくが、バンド目的でふらっと来た区外在住の子たちにどのように対応していくかが課題となっている。
- ・バンドなどの目的を持って来る子がほとんどのため、企業や地域と連携したイベントを企画しても、高校生が来館するタイミングと合わないこともある。
- ・中高生の時間には職員の人員が不足する。

C 施設

- ・高校生世代が利用できる時間をもっと融通を聞かせてほしいという意見が多くある。
- ・施設を利用できる対象年齢より上の年齢になってしまった場合に、通っていた子どもたちの自立を支援することができないこと。高校卒業後の自立を支援することが重要だが、現状港区にはない。サポートしたり、適切な機関を紹介したりするなどの取組が必要と考えている。
- ・子どもの居場所の保障（子どもたちからの信頼の獲得）と学校との信頼関係の構築も課題である。学校からは、施設で起きたことを報告するよう言われているが、学校に連絡してしまうと子どもたちは学校で怒られ、施設への信頼を失うことにもなる。
- ・職員の専門性の向上も課題となっている。高校生と向き合うには、かなり高度な知識や経験が求められる。

D 施設

- ・この場所に高校生が遊ぶことができる場所があることを知らない人が多いと思う。コート一面の広さの体育館があり、スタジオがあり、割と若いスタッフが多く、比較的入りやすい施設だと思うが、ここに子ども中高生プラザがあること知らず、学童しかないと思っている人も多い。乳幼児の親御さんでも、子ども中高生プラザがあることを知らない人もいる。
- ・バスケットボールをするということでも、周辺に結構、バスケットボールができる場所はあるが、「無料で」となるとなかなかないので、ここに来る子もいる。そういうことを考えると、単に知られていない部分も大きいのではないか。
- ・駅から遠いという点が難点で、もう少し駅に近ければ、「バンドをやりたい」という子たちがもっと来ると思う。周辺に住んでいる子たち以外は、駅から歩いてくる。ちいばすはあるが、高校生たちが往復で200円払って来るかという、来ないと思う。

E 施設

- ・地域の人もどのような施設かわかっていないため、高校生になるとその傾向は顕著になるのではないか。
- ・利用者が限定的であるため、新規開拓が課題となっている。
- ・特に女子の利用促進を図りたいが、現状施設を利用する女子高生がいないため、なにをしたいのか、なにを求めているのかわからない。
- ・高校生世代に対する情報発信も課題となっており、SNSの運用に向けて準備をしているが、まだ実現には至っていない。
- ・高校生世代の情報収集源は、SNSがほとんどだと思うので、利用促進を図るために活用したい。
- ・高校生専用のスペースがないことも課題である。
- ・利用者から専用スペースが欲しいと直接言われたわけではないが、静かに勉強できる場所はないかと尋ねられたこともあるため、現場スタッフの感覚的に、他の空間と区切られた空間は求められていると思う。
- ・高校生世代が利用できる現在の区の施設は、0歳から18歳まで幅広く様々な人を受け入れている反面、高校生にとって何ができるのかわかりづらいのではないか。
- ・施設の利用対象者と施設でできることは明確にした方が、高校生にとっては使いやすい

のではないか。

- ・施設では、スマホ等の充電ができない。充電している間にもスタッフなどとのコミュニケーションも生まれると考えるため、充電できるようになることも今の高校生にとっては大切な要素ではないか。

F 施設

- ・遊戯室にバスケットボールができるスペースはあるが、バスケットボールゴールは低いので、高校生世代が楽しめる設備とは言い難い。
- ・児童館は、通常、18 時閉館なので、時間帯という点でも、高校生世代は使いづらいと思う。
- ・「児童館」という名称なので、高校生世代が自分たちでは遊べない施設と捉えていると思う。高校生世代が自分たちでも使える施設だと知らないと思う。
- ・子ども中高生プラザとは違うので、児童館には体育館や音楽室はない。

G 施設

- ・体育館でもなく、スタジオでもなく、高校生がふらっと立ち寄れる場があると良い。
- ・以前は、高校生世代の子たちが寛げるスペースがあったが、併設する学童のスペースが拡充されるに伴い、そのようなスペースがなくなってきている。
- ・施設に併設するカフェは、高校生が施設に訪れる時間には閉店している。高校生が来る時間で軽食を提供できたり、持参したものを飲食できるスペースがあるとよい。

H 施設

- ・児童館や子ども中高生プラザは、高校生世代までの幅広い子どもを対象としているため、高校生世代が利用しづらいのではないか。高校生世代の子どもたちが、個人のスペースを確保でき、かつ交流したい子が交流できる施設があるとよい。
- ・現在は、児童館はコミュニティ形成の場として、子ども中高生プラザではスポーツや音楽などに取り組める場所として機能しているが、さらにその先に子どもたちが新しいことに挑戦できるような場所があるとよいのではないか。
- ・児童館や子ども中高生プラザは 18 歳までを利用対象としており、対象年齢ではなくなったときに利用していた子たちの居場所が急になくなってしまうため、子どもたちのその後が気がかりである。その後も継続的に居場所を提供することができるとよい。

I 施設

- ・中高生が思いっきりスポーツをするには、小学生がいなくなる 18 時以降になる。
- ・もう少しスペースがあれば、子どもたちももっと自由に利用できる。

J 施設

- ・港区内の児童館の中で規模が小さいほうで、雰囲気・スペースからいっても高校生が利用することは、なかなか難しいのが現状である。
- ・高校生世代の専有のスペースはない。

K施設

- ・現状の施設で高校生を受け入れていくことが、現実的には難しい。高校生は、自転車を利用して活動範囲も広域になるので、利用する高校生の方が各施設を使い分けていると思う。近隣には他の児童館や、中高生プラザもあるので、高校生が必要を感じるのであれば、そちらに行くのではないかと思う。
- ・本児童館は非常に古いので、もう少しきれいに大きくなれば良いと思う。特に、トイレがきれいになると良い。トイレは、子どもや保護者が重要視する設備だと思う。

④高校生世代アンケート調査結果を踏まえて

A施設

- ・現在は、基本的に一時利用として緊急連絡先を書いてもらうのみとしている。
- ・以前までは、住所など詳細を把握するようにしていたが、情報の必要性などを考慮し、令和5年2月から手続きを簡略化した。簡略化したことで、個人情報漏洩のリスクや利用者の負担減につながっており、不満などの意見はない。
- ・あまりないが、区内在住者優先のイベントをする際には、区内在住か区外在住かのみを記入してもらっている。
- ・高価な楽器等を置いているスタジオを利用する際には、メンバー登録をしてから利用をしてもらうようにしている。

B施設

- ・継続利用の確認をしたうえで、メンバー登録をしてもらうか一時利用とするか判断している。
- ・メンバー登録の際には、氏名、住所、緊急連絡先を聞いている。
- ・メンバー登録に対して意見は特にないが、住所や電話番号が書けない子が多く、登録するにあたってのハードルになっている。

C施設

- ・利用者には、全員利用登録をしてもらっている。
- ・登録の際は、氏名、学校、学年、住所、緊急連絡先を書いてもらっている。
- ・手続きに対する不満は聞かないが、カードを持つことについて嫌がる声があり、スマホで写真をとっておいてもらうなどしている。
- ・悩み相談について、高校生世代のスマホ利用率が高いことは確かだが、対面の方が話しやすいのではないかと。

D施設

- ・「D施設」は知らなくても、施設の愛称なら知っている子もいる。来館している子たちには愛称の方が浸透している。児童館、子ども中高生プラザの認知度は総じて低いと思う。
- ・保護者でもなく、学校の先生でもない、「第三の大人」の立場で接することを大切にしている。
- ・「友達感覚の大人がいる場」であることが重要だと思う。
- ・普段の高校生の生活の中では出会えない大人と接することができる場になってもらえるのが嬉しい。人とのつながりという視点でも、第三の居場所になることが必要だと思う。

E施設

- ・利用登録制については、利用者からは特段不満の声などはない。
- ・中には住所を書けない子もおり、手間となっていることも考えられるが、万が一なにかあった際の緊急連絡先として把握する必要がある。
- ・利用登録の手続きをしている合間にも、どのようなことがしたいかなど話すきっかけに

なり、子どもと施設スタッフのコミュニケーションの一助になっているメリットもある。

F 施設

- ・高校生世代であれば、スマホ等のデジタル機器を使える場所は、必須だと思う。
- ・専有できる場所と共同で使う場所（混在しても良い場所）を分ける必要がある。

G 施設

- ・子どもたちが、本当につらい時にふらっと来て、本音で話せるような場であることが非常に大切だと思う。

H 施設

- ・ほとんどの子にとっては、自宅が居場所になっているという結果ではあるが、必ずしもそうではない子どもたちもいるので、自宅や学校以外に自習ができるパーソナルスペースなどがあるとよい。
- ・無料で利用でき、軽食を提供できる場所があるとよい。
- ・高校生世代になると行動範囲が広まるため、特定の場所（地域）にこだわる必要はないのではないか。

I 施設

- ・子どもが自発的に発信して、子どもとスタッフが新しいものを創っていかれるようにしていきたい。
- ・「自分で考えたものを子ども中高生プラザで実現できる」場であることが、非常に重要だと思う。
- ・自分たちで自分たちの居場所をカスタマイズして欲しい。
- ・保護者でもなく、学校の先生でもなく、近くにいる仲良しな大人の存在は非常に重要。児童館や子ども中高生プラザの意義もそこにあると思う。保護者や先生には言えないことでも話すことができる場。

J 施設

- ・高校生になると行動範囲が広がるので、それほど地域ということにこだわる必要はないと思う。
- ・また、高校生になると、これから受験、大学、社会人を迎えるにあたり、「一人になれる場所」を保証してあげることが大切だと思う。親の収入等によるが、全ての高校生が一人になれる場所を持っている訳ではないと思うので、家庭、学校とは違う場所が確保されると良いのではないかと。

K 施設

- ・K施設を高校生の居場所とするのは難しいかもしれないが、小さい頃からここに通って

いて成長した子が、スタッフとの関係でここに来たときには、居心地よく寛げる場でありたいと思う。

⑤その他

A施設

- ・ふらっと立ち寄れて、気分転換ができる雰囲気づくりが大切だと考えている。
- ・子どもを観察して、その時に最善の声掛け対応をすることが大切である。
- ・子どもたちが好きなことを把握したうえで、それを実現することが大切である。
- ・静（一人で静かに過ごせる）と動（やりたいことができる）の両方の観点から、居場所づくりを考えることが重要だと思う。
- ・子どもの個性に合わせた職員の柔軟性やフットワーク軽さは重要で、それは民間の指定管理事業者の強みでもあるのではないかと。たとえば万人受けするような企画ではないことを実施することも重要で、そのようなプログラムを実施した職員と参加した子のつながりもできている。

B施設

- ・子ども食堂のようなことをしても、地域の特性柄裕福な家庭が多く、そうではない家庭でもプライドが高く、利用に至らない。
- ・他自治体の施設の好事例として、文京区のb-l a b、調布市のCAPS、杉並区のゆう杉並、渋谷区の施設（児童青少年センターフレンズ本町、代官山ティーンズ・クリエイティブ）が挙げられる。
- ・大人目線で子どもに必要なものを考えるのではなく、子どもが欲しいものを検討することが大切である。

C施設

- ・子どもたちにとっての居場所を提供することは重要だが、子どもたちが自分たちで居場所をみつける、つくれるようにすることが大切である。
- ・一般的にボランティアをすることがよいとされているが、それを子どもたちに押し付けてしまうと、子どもたちのステージを狭めてしまうこともある。やりたい子ができて、やりたくない子はやらなくてよいとするなど、様々な子がいるということを念頭に置き、居場所づくりに取り組むことが大切である。
- ・すべての子ども中高生プラザで同じ機能を持つ必要はなく、地域の環境などの特徴を考慮したうえで整備するのがよいのではないかと。
- ・大人の考える子どもの居場所ではなく、子どもたちが考える子どもの居場所づくりが求められるのではないかと。
- ・家や学校ではできない、第3の居場所だからこそできることが重要。
- ・家や学校では自分らしくいられないが、児童館のような施設では、ありのままの自分でいられるという子がいる。
- ・ありのままの自分でいられて、仲間ができて、一緒になにかをやり遂げるという経験が、自己肯定感の向上につながるし、社会にでたときにも役立つと思う。
- ・保護者や学校の先生とは異なる大人でありながら、友達のような存在でいられることが大切ではないかと。

D施設

- ・中高生に関わりながら、来てくれている中高生たちが居心地良く過ごすことができることがゴールなので、そこはスタッフ全員が意識をして対応している。
- ・来ている子たちが特定のスタッフがいなければ帰ってしまうということが仮にあれば、中高生プラザとして機能していないと思う。ここに来れば、安全で、安心できるということが非常に重要だと思う。特定のスタッフがいるから居心地が良いのではなく、この子ども中高生プラザだからこそ居心地が良いと感じてもらえるようになることが重要だと思う。
- ・地域連携という点では、定期的に近隣の中学校の生活指導の先生と情報共有をする機会を設けている。内容が重い話もするし、D施設での過ごし方等について、情報共有している。また、不登校の子が毎日来館することもあるので、「D施設の居心地が良ければ、それで良い」という話をしたりしている。学校側は、登校していない時間帯をどう過ごしているのかが気になると思うので、そうした子たちの受け入れもしている。最近は、港南中だけではなく、三田中、御成門中、私立の中学校に行っている子がふらっと来ることもある。
- ・0～18歳という長いスパンの中でつながりを持てるということが子ども中高生プラザの特徴であり、利点でもあると思う。その子の成長の過程に関わることができることにやりがいを感じる。

E施設

- ・悩み相談は、信頼関係が前提となるため、行政の相談窓口に話をしに行くのはハードルが高いのではないかな。
- ・施設名称は、馴染みのあるものがよい。
- ・施設の館長は、小学校の校長会のような集まりに参加し情報交換を行っているが、中学校、高校は情報交換会はない。
- ・特に高校は、公立は都立となるため、より連携が難しいと感じている。

F施設

- ・令和6年度に施設の改修工事を予定しており、それにより子どもたちの世代のすみ分けが可能になり、中高生の利用が増える可能性がある。
- ・以前児童館を利用していた子が、企画した講座をF施設で実施した。児童館には、地域で育ててもらったことの恩返しができる場としての機能があることを再認識した。

G施設

- ・大人に話をきいてほしいという高校生は多い。話したいと思う高校生の気持ちを汲み取り対応することを心掛けている。
- ・おしゃべりをして、ストレスを発散できる場でありたいと思う。
- ・この場所が、高校生たちの故郷に感じてもらえるようになってもらいたいと思う。

H施設

- ・子どもたちは、場所ではなく、人に寄り付く。20代後半から30代前半でフレンドリーなスタッフは子どもたちから特に慕われている。
- ・高校生世代の子どもたちは、傷つきやすく、人からどう思われているか等に敏感であることから、中高生の対応方法を学ぶ講座（心理学など）を現場のスタッフに対して行い、人材を育成することも必要だと思う。
- ・高校生世代の子どもたちにとっての、その時における居場所をつくることも大切だが、自分たちで居場所をみつけられるように後押ししていく支援も重要だと思う。

I施設

- ・一緒に遊ぶ友達により、遊ぶ館を使い分けている子もいる。それぞれの館のスタッフを目的に来館する子もいる。

J施設

- ・区直営施設では指定管理事業者が運営する施設と異なり、職員の移動があっても、他の児童館への移動になるので、利用者とのつながりが保てるのが良いところなのではないか。子どもたちと長い期間つきあっていく中で、信頼感や安心感がうまれると思う。
- ・いまの子どもたちは、ITやSNSが当たり前の社会で育ってきているため、情報を届けるためにも、施設側でIT、SNSをうまく活用できると良いと思う。
- ・ふらっと立ち寄るフリースペースと、登録して利用するスペースを分けられるのであれば、フリースペースで登録制がなくても良い。フリースペースを利用した後にまた行きたいと思うこともあると思う。
- ・区民、区外の隔てなく、高校生世代を育てていくという視点で居場所づくりを考えてみても良いと思う。港区は、多くの人が集まってくる区なので、区の特性から考えても、その方が良いと思う。
- ・スタッフへの教育については、毎年、研修に参加して、全職員が情報を共有している。

K施設

- ・登録に関しては、一度登録すると1年ごとの更新・確認になるので、面倒ということはないと思う。
- ・施設として高校生の受け入れは難しいが、小さい頃からのスタッフとの関わりの中で、高校生になっても、たまに顔を見せてくれる子は、しっかりと受け入れることができる気持ちを持って対応したいと思う。
- ・昔からここに来ていた中学生や高校生は、低学年の面倒見が非常に良く、優しく接してくれる。また、低学年の子たちも、ここで育った中学生や高校生には憧れを抱いているし、大人の言うことよりも、中高生のお兄さん、お姉さんの言うことをきくことが多い。小学生、中学生、高校生と、世代を超えて交流できる点は、児童館の良さだと思う。
- ・親でもない、教師でもないという立場で、子どもたちの話し聞くことができる点が、児童館の強みだと思うので、その強みを活かして、人と人として付き合っていくことが非常に大切だと思う。

(2) 高校

①学校の現状

A 高校
<ul style="list-style-type: none">・以前は、教員が相談係を担っていたが、病状等が個人情報として取扱われることになり教員での対応が困難になったため、現在は、外部にスクールカウンセラーの派遣を発注している。・スクールカウンセラーは、10時から16時の間に、毎日1人いる体制となっている。・生徒が悩みを抱えた時には、担任の教員が第一の窓口となるようにしている。その内容によりスクールカウンセラーに繋いでいく。スクールカウンセラーに直接生徒が行くことはほとんどない。・専任の養護教諭が教育相談のコーディネーターを兼ねており、保護者からスクールカウンセラーに予約を取りたいという連絡があったり、一時的に相談をしたいという要望があった場合は養護教諭が采配している。保健室も相談機能のコアメンバーの一端を担っている。・担任の教員が生徒や保護者に対してスクールカウンセラーを紹介したり、保護者が直接養護教諭に連絡することもある。・ふだん生徒と接する機会の多い教員が、日頃から生徒のちょっとした変化に気が付くようにしたいという共通認識を持っている。・毎週職員会議のある日などに学年ごとに教員が集まり、生徒の様子に関する情報共有をしている。そのうえで、担任の教員や教科担任、部活動の顧問の教員など様々なアプローチから生徒に対して声掛けを実施している。・日頃からこまめに教員間で情報共有、生徒に対する声掛けを行っているため、問題が大きくなる前に生徒と話をすることができている。・生徒とは授業以外でも話をするなど、生徒との距離を近づけられるよう意識している。・校外学習などの企画が多い学校となっており、教員がサポートしながら生徒たちが実行委員となり活動する中で、相談を受けることもある。・生徒が困ったら気軽に教員に声を掛けてきたり、他の生徒が困っているようだという話を聞くこともある。・網目を細かくして、もれてしまう子どもを少なくする教員全体意識づくりはできている。・保護者面談を実施すると、子どもが話してくれないという話を聞くことはあるが、生徒が学校にいる時はよく話しており、自宅と学校での様子に違いがあるようである。
B 高校
<ul style="list-style-type: none">・これまでスクールカウンセラーは女性一人だったが、令和5年度から男性を一人追加でお願いすることにした。保健室を中心に、生徒たちの悩みを聞いているが、保健室経由でカウンセラーにつなげることが多い。相談は結構多い。意外と男の子の相談件数も多い。・スクールカウンセラーは週1回なので、生徒がカウンセリングしたこと、相談内容については、後日、養護教諭、教員やチューターにもフィードバックして共有して対応している。・コロナ禍で学校に行けないときに、家にお父さんが在宅勤務で家にいるという悩みを聞くことはあったが、今は友人のこと、家庭のことについての悩みが多い。それは、以前からも変わらず、コロナの前後での違いはない。心の悩みを抱えている子は多い。・コロナで対面の授業が一時期できなかったが、それを機に子どもたちがオンラインに慣

れるようになった。それまでは、教員も子どもも対面の授業がベストだと思っていたが、コロナで授業を録画してそれを見てもらいながら学習するスタイルが確立された。コロナのおかげで、自学習で力をつけていくやり方が確立された。

C 高校

- ・ スクールカウンセラーを利用している生徒は少なく、スクールカウンセラーへの依存度は低い。教員には話せないこともあるため、スクールカウンセラーの存在は重要。
- ・ スクールカウンセラーは、生徒と教員をつなぐにとどまらず、保護者と教員をつなぐ役割を果たしている。
- ・ スクールカウンセラーは週 1 でしか来校していないため、生徒が悩みを抱えた際には、まずは担任が対応している。
- ・ 中学で優秀だった子たちが、同じ試験を通過したうえで集まっているため、中学生の時の成績とのギャップに衝撃を受ける子が 1 年生に多いため、そのフォローが課題となっている。
- ・ 1 年生はクラスや学校の雰囲気馴染めないという悩みが多く、学年が上がるにつれて、勉強や進学、部活動での人間関係に関する悩みに移っている印象。
- ・ 生徒からの相談を待つのではなく、教員から積極的に声をかけていくことが重要。
- ・ 授業以外に生徒が授業に関する質問などをし、教員がそれに答える取組を行っている。この取組により、授業以外で生徒と教員の接点を設ける機会の創出につながっている。
- ・ コロナの影響もあり、人前で発表することが苦手である生徒が増えたり、人との関わり方が下手な生徒が増えている。
- ・ コロナ前後による生徒の様子の変化により、より丁寧に話を聞いたり、受容することを心がけて生徒に対して接している。
- ・ コロナ前はスクールカウンセラーに頼ることが少なかった比較的活発に活動する子が、コロナ禍に相談することが増えた印象。比較的活発な子は、コロナによる外出制限等により、やりたいことができずフラストレーションが溜まったからではないか。

D 高校

- ・ スクールカウンセラーは、女性が 2 名おり、どちらか 1 名が毎日必ずいるような体制としている。
- ・ 生徒が悩み相談等をするときは、保健室または担任を通じてスクールカウンセラーに相談する流れとなっている。
- ・ 医療機関に繋いだ方がよい場合など学校で対応できない内容は、スクールカウンセラーが適切な医療機関に繋ぐなど判断している。
- ・ 親子関係に関する悩みが多い印象である。子どもと保護者それぞれで関係性についての認識の齟齬がある。
- ・ 勉強が思うようにできないという悩み相談も多い印象がある。
- ・ 切り口は勉強に関する悩みではあるが、話を聞いていくと、根本的には親子関係の問題であったり、別の問題が潜んでいることがある。
- ・ 同じ試験を合格して集まった子たちの集団であるため、それまでは勉強ができる方だった子が埋もれてしまい、プレッシャーを感じているのではないか。
- ・ 家庭での悩みを抱えていたとしても、家にいたいと思う子が多い印象がある。自室を持っており、公立の子たちとは状況が違うと思う。
- ・ 悩み相談では信頼関係があることが前提になると思う。そのため、行政の相談窓口で対面というのはハードルが高いのではないか。まずはとっかかりとしてスマホ等のインタ

ーネットを介しての方が高校生にとってはよいのではないか。

- ・話すことが苦手で、電話に抵抗感を持つ子が多い印象がある。
- ・家族や友達とも普段LINEでやりとりをしており、電話で話すことが難しいのではないか。
- ・子どもたちは、厚い信頼関係がないと電話をしない。
- ・学校は、社会性を身に着けるための場所であるから、保護者以外の大人である教員からの声掛けを大切にしている。
- ・学習面や生活面など声掛けにもいくつか種類があるため、その時に応じた適切な声掛けをできるように日頃から意識して取り組んでいる。

E 高校

- ・中には、特別な配慮や支援が必要な生徒もいる。
- ・学校に配置されているスクールカウンセラー（SC）とユースソーシャルワーカー（YSW）がかなり機能している。
- ・スクールカウンセラーは、日頃の悩みを、ユースソーシャルワーカーは、福祉系の機関に繋ぐような内容の相談を受け持つ。
- ・スクールカウンセラーとユースソーシャルワーカーは、来校する日が重複しないよういずれも週に2日ずつ配置されており、他の都立高校と比べると、相談体制は充実している。
- ・スクールカウンセラーにまずは相談し、その後ユースソーシャルワーカーに相談することを高校としては想定しているが、相談する生徒は、話しやすいほうに相談している。
- ・相談する上で、相談相手の人柄、話しやすさ、信頼関係は重要となる。
- ・生徒は、必ずしも同性のカウンセラーに相談するわけではない。
- ・在籍生徒数が女子生徒が多いこともあり、女子生徒が悩み相談をすることが多い印象。
- ・悩みの内容は、思春期特有のものを中心に多岐に渡る。
- ・小中学校で不登校等でコミュニケーションに難がある子が、高校でやり直すために何かなんでも友達を作るんだと気を張りすぎ、コミュニティに入ろうと頑張りすぎて疲れてしまい、うまく入れない子もいる。
- ・生徒同士でトラブルが生じた場合も、本当に教員の仲裁が必要な場合以外は、なるべく当人同士で解決できるようサポートすることを心がけている。
- ・生徒同士の関係性については、少し距離をとってあまり干渉しないようにしている。
- ・それぞれの生徒の抱えている問題などの状況を把握し、どのようなケアが必要なのかを教員間で学期の初めに確認している。
- ・教科担任が気づいたことを担任に共有するなどし、学校全体として生徒を支援する体制が整っている。

②高校生の居場所づくり

A 高校

- ・多様な子がいるため、どのような子を対象とした居場所をつくるのかということを検討することが大切と考えている。
- ・生活上の悩みなど、学校では相談しづらい悩みを抱えた時に利用できる場所があるとよい。
- ・学校では生徒たちに対する取組としては十分にできていると考える一方、不登校の子がいるのも事実で、そのような子たちのための居場所が求められるのではないか。
- ・行政や団体等、それぞれの主体が完璧な居場所づくりを目指すことは困難であるため、区の居場所づくりに関する取組がセーフティネットとして機能することが求められるのではないか。
- ・学校全体が生徒の居場所となることに加え、生徒が自身で居場所を見つけられるようになることよい。
- ・子ども中高生プラザの存在は認知しているが、どのような取組を行っているかまでは把握していない。
- ・現在の子ども中高生プラザ等の公共施設での取組を高校生たちに知ってもらうだけでも居場所づくりにつながるのではないか。知られていないことが多くてもったいないように感じる。
- ・学校や地域の場所だからこそ集まれる場所を残しておくことも意味があると思う。
- ・オンライン空間は、自身で簡単に繋がりを切ることができてしまう。
- ・東京都のLINE相談の利用者数が電話相談よりも多いと話を聞く。これにより救われる子もいるため、相談の手段としてSNS等を活用することは一定の意味を持つと思う。
- ・信頼関係を構築している学校の教員だからこそ対面で話せる。いきなり行政の相談窓口に対面で相談することは高校生にとっては難しいと思う。
- ・SNS等を活用した相談窓口は、相談の入り口としてはすごくよい。高校生にとっては電話よりは圧倒的に使いやすいと思う。
- ・施設の名称にも関わるが、区立の施設であることから区外在住の子どもも利用できることがわかりづらい。

B 高校

- ・近年、保護者の状況や家庭環境がかなり変わってきている。今は、殆どの生徒の家庭が共働き世帯となっている。例えば、試験前で16時帰宅しても、誰もいない子が多い。そうであれば、16時以降でも、学校で過ごすことができれば良いかなと思う。
- ・大学生世代のチューターさんが、教育と子どもたちの間において、子どもたちの色々な相談を受けている。「子どもたちのお兄さん、お姉さんの存在」は非常に大事だと思う。
- ・子どもたちが好きなものでつながり、自分達で居場所を見つけていくことが重要だと思う。
- ・校内でも、地元でも、自分たちで居心地の良い場所、コミュニティを作れるひとになって欲しい。
- ・子どもも、保護者も、教員も、子どもにとって安全で安心な場所が求められる。
- ・学校ではない場所で勉強したい子もいるので、そうした子が、子ども中高生プラザのような、安全・安心な場所で勉強できるのは大事なことだと思う。遠い予備校や塾に比べたら、地元の安全・安心な場所の方が良い。
- ・みなと子ども相談ねっとは知っているが、子どもたちが利用したという話はきいたこと

がない。養護教員やカウンセラー等に相談できない場合に相談できる場所として、そうした情報を伝えることはしている。

- ・子ども中高生プラザのこと、どうやって知ってもらうのか。保護者にも、子ども中高生プラザのことを知ってもらい、理解してもらうことが非常に重要。子どもだけに知ってもらうだけでは足りない。子ども向けと保護者向け、両方の情報提供が必要だと思う。何をやるにしても、保護者を巻き込むことが大切。

C 高校

- ・誰でも利用できる場所が理想ではあるが、活発な層と静かな層など、層別に利用できる施設もある程度必要と考えている。
- ・層別に抱える悩みの内容も異なるため、何かあった時に頼ることができる学校以外の場所があるとよい。
- ・やりたいことができる場所も大切だが、何もしなくてもふらっと立ち寄ることができる場所も重要。
- ・C高校は、駅までのアクセスがよく、区外から通学する生徒が多いことから、学校と駅までの間に高校生の居場所となる施設がないと、わざわざ行こうとはならないため、新しく施設を作ったとしても高校生は利用しないのではないか。
- ・個別ブースとまではいかないが、個別で机があったり、簡易的な仕切りがある程度の自習スペースは高校生にとっては必須。
- ・大規模である必要はなく、高校生がやりたいことができたり、相談できるなど、選択肢を多く提供できるとよい。
- ・高校生の授業や部活の終わる時間を考慮し、たとえば 21 時まで空いていると高校生は利用しやすい。
- ・子ども中高生プラザの存在は認知しており、生徒に紹介もしているが、生徒が利用している様子はあまりみられない。
- ・区立施設のため、区外在住者は利用できないと考えている生徒は多いのではないか。
- ・子ども中高生プラザがどのような施設かは詳しく知らないため、施設の周知は課題となる。
- ・施設の職員が高校に来校し、施設における受入れ定員やどのようなことができる場所なのかを具体的に説明する機会を設け、施設のPRをするのがよいのではないか。
- ・チラシを配布することも大切だが、駅などの日頃多く目にする場所に大きなポスターを掲示することも効果があるのではないか。
- ・生徒が気軽に区の施設を利用できるようになると、高校側として非常に助かる。
- ・みなと子ども相談ねっとは知っており、生徒に相談先の1つとして紹介している。
- ・オンラインで相談したい子、対面で相談したい子がそれぞれしやすい方法で相談できるとよい。

D 高校

- ・教室に常に教員がいるように巡回するようにしている。
- ・日頃から生徒の様子を観察し、声掛けを行っている。
- ・生徒から話かけてきて、助けを求めてきたら話を細かく聞いていく。
- ・短時間で1対1の面談を頻繁に実施している。
- ・1対1だと、ふだんなかなか話してくれない子も話しやすいのではないか。
- ・面談ではなくても、日直等の当番のときに積極的に声掛けをしている。
- ・毎日の清掃の時には、必ず教室で教員が監督するようにしており、生徒の様子を観察し

ている。

- ・みなと子ども相談ねっとは知っており、実際に生徒が利用したという話を聞いたことがある。みなと子ども相談ねっとの相談員から学校に連絡があり、適切な対応をしてくれた。
- ・相談窓口から学校に情報共有があると、問題解決につながっていくこともあるため、ありがたい。
- ・学校だけでは対応しきれないこともあるため、生徒から悩み相談を受けた際には、みなと子ども相談ねっとなどの相談窓口を紹介している。
- ・子ども中高生プラザの存在は認知しているが、どのようなことができるかまでは把握していない。

E 高校

- ・コミュニティにうまく入れない子たちにとっての居場所も必要だと思うが、子どもたちそれぞれの考え方が異なるため、一律にどのような場所ということ言うのは難しい。
- ・高校生世代の子どもたちが傷つかないようにするのではなく、傷つきそうな時や傷ついた時に行ける場所があるとよい。さらにその場所に相談窓口があるとよい。
- ・ある種自由に失敗し、やり直すという経験ができる場所があるとよい。
- ・高校生世代にとっての居場所を検討するにあたっては、人間関係の構築（配置する人材）が最も重要になると思う。
- ・施設の大人から積極的に子どもに声をかけに行くことも大切ではあるが、あまり言いすぎると関係が壊れることもあるため、関わり方には細心の注意を払うべきだと思う。
- ・子どもから何かを相談された時は、他の施設職員等と共有していいかを確認することが大切である。
- ・居場所へのアクセスは重要で、学校から駅に行くまでの間にあるのが理想。
- ・大人が見守っている環境から離れたと思う子もいる。
- ・日本社会全体でみると、学校に行かず自宅にも帰らないような子もおり、そのような子どもたちに対応するためには、社会支援等の専門的な知識と経験を持つ人材が求められる。
- ・居場所づくりのNPO等と連携して取り組むのがよいのではないか。
- ・医者やカウンセラー、職業能力開発センターなど、様々な角度から子どもたちをケアできるのが理想ではある。
- ・子どもたちの視野が広がるような選択肢を教えられたり、将来に不安を抱えるような子が少しずつ前に進んでいくことをサポートできるような人がいるとよい。
- ・学校にも自宅にも行かない子どもたちが社会問題として取り上げられるが、行政がそのような子たちのための場所を提供すれば解決するという単純な話ではない。
- ・学校にも自宅にも行かない子どもたちを支援する団体等を行政が継続的に支援することが必要で、自治体が単独でどうにかできるかといわれると難しい。
- ・近隣自治体や都道府県と連携して、地域でその問題を解決していくことが求められるのではないか。

③その他

A高校
<ul style="list-style-type: none">・求人サイトのようなイメージで、各児童館や子ども中高生プラザや団体等のボランティア募集情報等が一括で掲載されたポータルサイトのようなものがあればよいと思う。それにより地域との繋がりを構築する一助となり、また募集のあった活動に参加することで高校生たちの自己肯定感を高めることにつながるのではないか。・行政からの情報発信も、柔和な表現でタイムリーに行われると、高校生に情報が届きやすくなるのではないか。・行政で情報発信に取り組んでいることは認識しているが、情報が現場に届いておらず、また現場も情報を取得できていないのが現状となっている。・区や公共施設の職員が来校して施設や取組について説明する機会等、情報を受け取れる機会があるとよい。・行政が現場に入り込んで情報を発信していくような取組が重要になると思う。
B高校
<ul style="list-style-type: none">・子どもは、「話をきいてくれる人」を求めていると思う。子どもは、話をきいてくれる人を選ぶ。そういう話をきいてくれる場所が、学校だけでは足りていないと思う。電話相談のように、まずは子どもたちの話を肯定してくれる、共感してくれることが、子どもたちにとっては心地良いようだ。子どもたちは、一度否定されると心を閉ざしてしまう。そういう機会、場所をもっと作ってもらえれば良いと思う。
C高校
<ul style="list-style-type: none">・学校は、児童相談所等との機関とも連携がとりやすいこともあり、生徒が家庭内でなにか問題を抱えた際にはすぐに学校に相談するよう促している。・生徒のフォローをするためにも、教員間での情報共有が重要。
D高校
<ul style="list-style-type: none">・私立学校は、公立学校とは異なり地域と距離感があるように思う。・行政や近隣の学校との連携により、地域との繋がりが深まるとよい。・通っている子たちの地元の最後の繋がりが小学校の友達で、その繋がりが切れてしまうと、地元との繋がりがなくなってしまう。そこが私立に通う怖さだと思う。私立に通う子たちは、家や学校以外の地元での居場所を見つけにくいと思う。・地域に入っていくための、ワンクッションが必要になる。
E高校
<ul style="list-style-type: none">・子ども中高生プラザについては認識しておらず、生徒が利用しているかどうかもわからない。・コロナ禍にSNSを通じて知り合った人と繋がり、繁華街に集まり、自宅にも学校にも行かなくなる子がいた。・子どもたちに対するケアも、行政と学校が連携することにより家庭の負担を軽減できるのではないか。・中には連絡がまったく取れない子もおり、その時に行政と学校がそれぞれ別にアプローチしてしまうと本人や保護者が不信感を抱きかねないため、連携することが求められる。

第5章 国や都の政策動向

本章では、第6章で政策課題の分析を行うため、国や都の政策動向を整理した。

1 国の動向

(1) こども政策の新たな推進体制に関する基本方針とこども家庭庁の創設

国は、令和3年12月21日に、6つの基本理念（「こどもの視点、子育て当事者の視点に立った政策立案」「全てのこどもの健やかな成長、Well-beingの向上」「誰一人取り残さず、抜け落ちることのない支援」「こどもや家庭が抱える様々な複合する課題に対し、制度や組織による縦割りの壁、年齢の壁を克服した切れ目ない包括的な支援」「待ちの支援から、予防的な関わりを強化するとともに、必要なこども・家庭に支援が確実に届くようプッシュ型支援、アウトリーチ型支援に転換」「データ・統計を活用したエビデンスに基づく政策立案、PDCAサイクル（評価・改善）」）を掲げる「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針」を閣議決定した。この基本方針では、常にこどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取組・政策を日本社会の真ん中に据えて（「こどもまんなか社会」）、こどもの視点で、こどもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、子どもの権利を保障し、こどもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しするとしている。

また、こどもまんなか社会を目指すための新たな司令塔として、こども家庭庁設置法（令和4年6月22日公布）に基づき、こども家庭庁を創設し、こども基本法に基づく「こども大綱」や「こどもの居場所づくりに関する指針」をもとに、こども施策を推進していくとしている。

出典：こども家庭庁、「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針」

(2) こどもの居場所づくりに関する調査

こども政策の新たな推進体制に関する基本方針の基本理念を踏まえ、国は今後「こどもの居場所づくりに関する指針（仮称）」を閣議決定し、子ども政策を推進することとしており、その指針の策定に資するよう、こども・若者の居場所についての実態把握や論点整理、こども・若者の居場所づくりの理念・視点のとりまとめを行うことを目的とした調査を実施した。

出典：こども家庭庁、「こどもの居場所づくりに関する調査研究報告書」

(3) こども基本法（令和5年4月1日施行）

国は、令和5年4月1日に、全てのこどもの権利を保障し、将来にわたり幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指すため、こども基本法を施行した。こども基本法では、6つの基本理念（「全てのこどもについて、個人として尊重されること・基本的人権が保障されること・差別的取扱いを受けないようにすること」「全てのこどもについて、適切に養育されること・生活を保障されること・愛され保護されること等の福祉に係る権利が等しく保障されるとともに、教育基本法の精神にのっとり教育を受ける機会が等しく与えられること」「全てのこどもについて、年齢及び発達に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会・多様な社会的活動に参画する機会が確保されること」「全てのこどもについて、年齢及び発達に応じて、意見の尊重、最善の利益が優先して考慮されること」「こどもの養育は家庭を基本として行われ、父母その他の保護者が第一義的責任を有するとの認識の下、十分な養育の支援・家庭での養育が困難なこどもの養育環境の確保」「家庭や子育てに夢を持ち、子育てに伴う喜びを実感できる社会環境の整備」）を掲げ、こども施策を総合的に推進することを目的としている。

出典：こども家庭庁、「こども基本法の概要」

(4) こども大綱（令和5年末閣議決定予定）

こども基本法でこども大綱を策定することとされていることを踏まえ、国は、令和5年末の閣議決定をめざし、こども大綱の検討を進めている。

令和5年9月25日に開催されたこども家庭審議会（第2回）の「今後5年程度を見据えたこども施策の基本的な方針と重要事項等～こども大綱の策定に向けて～（中間整理）（案）」では、こども施策に関する6つの基本方針（「こども・若者を権利の主体として認識し、その多様な人格・個性を尊重し、権利を保障し、こども・若者の今とこれからの最善の利益を図る」「こどもや若者、子育て当事者の視点を尊重し、その意見を聴き、対話しながら、ともに考えていく」「こどもや若者、子育て当事者のライフステージに応じて切れ目なく対応し、十分に支援する」「良好な成育環境を確保し、貧困と格差の解消を図り、全てのこども・若者が幸せな状態で成長できるようにする」「若い世代の生活の基盤の安定を図るとともに、多様な価値観・考え方を大前提として若い世代の視点に立って結婚、子育てに関する希望の形成と実現を阻む隘路の打破に取り組む」「施策の総合性を確保するとともに、関係省庁、地方自治体、民間団体等との連携を重視する」）が示された。

出典：こども家庭庁、「今後5年程度を見据えたこども施策の基本的な方針と重要事項等～こども大綱の策定に向けて～（中間整理）（案）」

(5) こどもの居場所づくりに関する指針（仮称）

令和5年9月25日のこども家庭審議会（第2回）では、「こどもの居場所づくりに関する指針（答申素案）」が示された。

「こどもの居場所づくりに関する指針（答申素案）」では、「こどもまんなか」の居場所づくりを実現するという理念やこどもの居場所づくりにおける4つの基本的な視点（「ふやす」「つなぐ」「みがく」「ふりかえる」）、こどもの居場所づくりに関係する者の責務等について明記している。

国は、今後こども・若者、子育て当事者等から意見を聴取し検討を進め、答申をまとめていくとしている。

出典：こども家庭庁、「こどもの居場所づくりに関する指針（答申素案）」

2 都の動向

(1) 子供の居場所創設事業

子供やその保護者が気軽に立ち寄れる地域の「居場所」を創設し、子供に対する学習支援や保護者に対する養育支援、食事提供をはじめとした生活支援を行うことで、様々な事情を有する子供と保護者に対して包括的な支援を行い、生活の質の向上と地域全体で子供や家庭を支援する環境を整備することを目的として、「子供の居場所創設事業」を実施し、事業を実施する区市町村へ補助金を交付している。

(2) 子供食堂推進事業

子供食堂の安定的な実施環境を整備し、地域に根ざした活動を支援するとともに、子供食堂の開催に加え、配食や宅食を通じて家庭の生活状況を把握し、必要な支援につなげる子供食堂の取組を支援する区市町村に対し、補助を実施している。

(3) 都立高校の魅力向上に向けた実行プログラム

都立高校を取り巻く環境が変化する中、新たな課題等の解決とともに、都立高校の魅力向上を図ることを目的とし、令和5年3月に「都立高校の魅力向上に向けた実行プログラム」を策定した。このプログラムでは、仮想空間上の学習環境の活用等デジタル等を活用した支援体制を充実するとしている。また、令和6年度には都立高校にサードプレイス（第3の居場所）として「校内居場所カフェ」を設置し、生徒に対する個に応じた支援を通じて、不登校や中途退学を防止する取組を実施するとしている。

出典：東京都、「都立高校の魅力向上に向けた実行プログラム」

第6章 調査結果のまとめ

本章では、第1章から第5章までの調査を踏まえ、区の現状と今後の政策課題について、調査結果をまとめる。

1 アンケート調査の主な結果

(1) 高校生世代の悩み、居場所、居心地がよいと感じる人について

高校生世代を対象としたアンケート調査（以下「高校生調査」という）によると、現在抱えている悩みが「ある」が81.0%となっている（問15）。悩みの内訳をみると、全体では「進路や将来に関すること」「勉強や成績に関すること」が特に多くなっているが、それらの悩みは学年があがるにつれて回答割合が少なくなっている。（問15）。

悩みの相談相手は、全体では「友人」が最も多く、次いで「母親」「父親」となっている一方、悩みを抱えても相談しない人も存在する。（問16）。

居場所について、ほとんどの高校生が「ある」と回答しており、その内訳をみると、「自宅」が最も多く、次いで「学校」となっているが、自宅や学校以外のいわゆる「サードプレイス（第3の居場所）」は少なくなっている（問19）。居場所が「ない」と回答する人もおり、居場所がないと感じる理由は、「住んでいる地域にそのような場所がないから」が最も多くなっている（問19、問19（4））。

居心地がよいと感じる人について、ほとんどの高校生が「いる」と回答しており、「信頼できる・なんでも話せる」人が居心地がよいと感じている（問21、問21（2））。

高校生調査では、数は多くはないものの、悩みがあっても相談しない、居心地がよいと感じる場所や人がない人もいることが明らかとなり、そのような人に対する支援を検討する必要がある。

(2) 悩み・居場所・居心地がよいと感じる人の有無と自己肯定感等の関係について

高校生調査によると、悩みがあるが、「相談する」人、「居場所がある」人は、「相談しない」人、「居場所がない」人と比べて自己肯定感等（「自己肯定感」「自己有用感」「将来の展望」）が高くなっている（第2章 5 考察問10）。

このことから、相談する相手がいたり、居心地がよいと感じる場所があることが、高校生世代の自己肯定感等を高めることに寄与していると考えられる。

(3) 子ども中高生プラザについて

子ども中高生プラザの認知度は、高校生調査では「知らなかった」が約4割、高校生世代の保護者を対象としたアンケート調査（以下、「保護者調査」という）では「知らなかった」が約2割となっている（高校生調査：問22、保護者調査：問16）。

子ども中高生プラザの利用経験をみると、「小学生まで利用していた」が最も多く、次いで「これまで利用したことはない」となっている（問22（1））。子ども中高生プラザの利用

をやめた理由は、「勉強や部活が忙しいから」「一緒に行く人（友人など）がいなくなったから」が特に多くなっているが、「高校生がいないから」や「自分よりも年下の子たちが元気な姿を見ると辛く、疎外感を感じるから」といった意見がみられた（問 22（2））。

子ども中高生プラザを利用したことがない理由は、「行きたいと思わないから」「何ができるのかがわからないから」が多くなっている（問 22（3））。

（4）高校生世代の居場所づくりについて

高校生調査及び保護者調査によると、いずれも「無料で利用できる」「行きやすい場所にある」が特に多く、おおむね同様の傾向となっている。しかし、「無料または安価で飲食物の提供がある」「悩みや不安を相談できる」「一人でなにもせずのんびり過ごせる」は高校生世代と保護者の回答では乖離が大きくなっており、高校生世代にとっての居場所に求めることに差があることがうかがえる（高校生調査：問 23、保護者調査：問 16）。自由意見では、勉強やスポーツ、人と交流できるなど、誰かとなにかができる場所に関する意見が多く見られた。

2 ヒアリング調査の主な結果

(1) 児童館・子ども中高生プラザの現状

高校生世代が利用する区内学校・施設へのヒアリング調査（以下「ヒアリング調査」という）によると、区内にあるそれぞれの子ども中高生プラザでは、来館する子どもたちからのニーズを把握し、それを踏まえ創意工夫しながら中高生を対象とした事業やイベントを積極的に実施している。また、子ども中高生プラザの職員は、来館する子どもたちとの距離感に留意しながら声かけを行い、保護者でも教員でもない「第3の大人」として関わることを心がけている。また、ある子ども中高生プラザでは、来館する目的の有無別などの階層に子どもたちを分けて捉え、それぞれに対するアプローチ方法を変えるなどし、子ども中高生プラザは居場所としての機能を提供しているといえる。

一方で、子ども中高生プラザの利用を促進するための周知に課題がある。この点、子ども中高生プラザの取組やリアルタイムの利用状況の情報を広く発信するために、SNS を活用した情報発信を検討する必要があるとの意見がみられた。さらに高校へのヒアリング調査では、子ども中高生プラザの存在や取組を高校生世代が知るだけでも居場所づくりにつながるため、各施設が情報発信することはもちろん、高校生世代が利用できる施設の情報が一括で入手できるようなポータルサイトがあるとよいという意見があった。

また、それぞれの子ども中高生プラザでは、18時から20時まで中高生のみが利用できる専用の時間帯を設けているが、高校生世代の専用スペースがない。来館する子どもたちのなかには、他の世代との交流を好まず、同世代もしくは一人で過ごせる場所が必要ではないかという意見が複数みられた。

(2) 高校生世代の居場所づくりについて

子ども中高生プラザに来館する子どもの中には、家や学校では自分らしくいられないが、子ども中高生プラザではありのままの自分でいられるという子もおり、そのような子どもたちを含めて「第3の居場所」だからこそできることを実現してあげることが施設の存在意義であるという意見があった。そのような取組を実施する際は、大人目線ではなく、子どもたちがなにを求めているのかニーズをしっかりと把握することが重要という意見がどの施設においても共通していた。また、子どもたちが自分で居場所をみつけられるよう成長をサポートしていくことができるような取組や場の提供があるとよいという意見も多くみられた。

高校生世代の居場所づくりを検討するにあたっては、先述したように子どもたちのニーズを踏まえたうえで個性や特徴に応じた居場所を提供することが求められる。高校生世代は多感な時期であり、様々な人と交流し、好きなことができる場所も大事だが、コミュニティにうまく溶け込むことができない子もいるため、一人で静かに過ごせる場所も検討する必要がある。

大人との信頼関係は、高校生世代にとっては非常に重要となるため、高校生世代と適切な関係性を構築できるような人材を居場所（施設）に配置することが求められる。

3 こどもの居場所づくりに関する調査（内閣官房）の結果の概要

（1）有識者や関係団体等へのヒアリング

有識者や関係団体等へのヒアリングによると、「こども・若者が安心かつ安全に過ごせること」「こども・若者がありのままでいられること、こども・若者を受容する場であること」「味方になってくれる大人がいること」などが居場所に求められる要素として挙げられた。

（2）こども・若者への個別ヒアリング

こども・若者への個別ヒアリングによると、「くつろげる環境がある」「自分のタイミングで、いろんなことができる」「居場所の運営スタッフが好き、信頼関係がある」などが居場所に求められる要素として挙げられた。

（3）こども・若者へのアンケート調査

こども・若者へのアンケート調査によると、年齢層があがるにつれて「居場所がある」の割合は少なくなり、「16～18歳」のこども・若者では「居場所がある」は61.5%となっている。機能的にどのような場を居場所と感じているかについてみると、「好きなことをして自由に過ごせる」「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」「いつでも行きたい時に行ける」が特に多くなっており、区の調査結果とおおむね同様の傾向となっている。

居場所がないと回答したこども・若者における居場所がない理由をみると、「住んでいる地域に、そのような場所がないため」「家（普段寝起きをしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に必要と感じないため」が特に多くなっている。

4 今後の取組の方向性

(1) 子ども中高生プラザの利活用の促進

①子ども中高生プラザの認知度の向上（情報発信）

子ども中高生プラザは、それぞれが創意工夫を凝らした魅力ある取組やイベントを実施しており、高校生世代の子どもたちを受け入れる基盤は十分に整っている。

しかし、居場所がないと感じる理由は、「住んでいる地域にそのような場所がないから」が最も多くなっていることや子ども中高生プラザを知らない人が一定数いることから、施設の周知に課題があることが認められるため、子ども中高生プラザの認知度を向上することが求められる。そのため、高校生世代や高校が容易に情報を収集できるよう、SNSを活用した情報発信や各施設の情報が一括で閲覧できる情報サイトを構築するなど積極的な情報発信を行うことが重要となる。

②高校生世代の関心を惹きつける居場所づくり

ヒアリング調査では、子ども中高生プラザには高校生世代専用のスペースがないという物理的な課題も認められた。現状、タイムシェアにより中高生専用の時間帯を設けるなど工夫をしているが、利用時間が限定されてしまうため、利用のしづらさにつながっていると思われる。したがって、物理的な課題があるものの、高校生専用スペースの設置を検討することが求められる。

子ども中高生プラザを知っているが利用したことがない理由は、「行きたいと思わないから」「何ができるのかがわからないから」が多くなっていることから、積極的な情報発信のほか、高校生世代の関心を惹きつける居場所づくりにより一層取り組んでいくことが求められる。

(2) 非交流型施設の検討

各種調査の結果から、高校生世代の居場所として、誰かと何かができる「交流型施設」を求める意見が多くなっている一方で、目的がなくとも一人でふらっと立ち寄ることができるような「非交流型施設」も必要とされていることが明らかになった。

区は、児童館や子ども中高生プラザを設置し、0歳から18歳までの子どもたちが利用でき、施設の活動やイベントを通じて、来館する他の子どもたちや施設の職員などの様々な人と接することができる交流型施設を提供している。

しかし、区には一人で静かに過ごしたいと思う高校生世代が利用できる非交流型施設は、図書館等のオープンスペースであることが多く、家庭や他に居場所の無い子どもが過ごせる非交流型の安全で安心な居場所がないことが課題である。

非交流型の施設は、高校生調査において、悩みがあるが相談しない、居心地がよいと感じる場所や人がないと答えた人たちにとっての居場所となることが考えられる。

非交流型施設の設置を検討するにあたっては、相談相手となる大人との信頼関係が重要となることから、プライバシーに配慮した施設職員の人材に留意することも必要である。

本調査では当事者の声を得ることができた。今後、ニーズに応じた居場所を提供するとともに、対象が少数であっても、誰も取り残されることのない支援に取り組み、子どもたちの成長を支えていくことが重要である。

参考資料

1 単純集計

高校生世代

問1(1) あなたの現在の状況についてお聞きします。※令和5年3月1日時点 就学されている方は1～8、就学されていない方は9・10のいずれかを選択してください。(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	国公立高校	134	17.0
2	私立高校	590	75.0
3	高等専門学校(国公立)	4	0.5
4	高等専門学校(私立)	10	1.3
5	特別支援学校	11	1.4
6	専修学校・各種学校	2	0.3
7	公共職業能力開発施設	0	0.0
8	フリースクールなどの民間教育施設	2	0.3
9	働いている	2	0.3
10	働いていない	6	0.8
	無回答	26	3.3
	全体	787	100.0

問1(1) 全日制・定時制・通信制のどれか(国公立高校) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	全日制	129	96.3
2	定時制	4	3.0
3	通信制	1	0.7
	無回答	0	0.0
	全体	134	100.0

問1(1) 全日制・定時制・通信制のどれか(私立高校) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	全日制	552	93.6
2	定時制	9	1.5
3	通信制	28	4.7
	無回答	1	0.2
	全体	590	100.0

問1(2) 学年を教えてください。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年	246	32.8
2	2年	224	29.9
3	3年	219	29.2
	無回答	60	8.0
	全体	749	100.0

問1(3) あなたの通っている学校または職場はどこにありますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	港区内	110	14.6
2	港区外の23区	444	58.8
3	都内	34	4.5
4	都外	77	10.2
5	その他	8	1.1
	無回答	82	10.9
	全体	755	100.0

問2 性別を教えてください。(〇は1つ)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	326	41.4
2	女性	436	55.4
3	答えたくない	19	2.4
	無回答	6	0.8
	全体	787	100.0

問3 あなたのお住まいはどの地区ですか。(〇は1つ)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	芝地区	91	11.6
2	麻布地区	136	17.3
3	赤坂地区	121	15.4
4	高輪地区	220	28.0
5	芝浦港南地区	212	26.9
	無回答	7	0.9
	全体	787	100.0

問4 港区での通算の居住年数を教えてください。(〇は1つ)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年未満	33	4.2
2	1年以上3年未満	41	5.2
3	3年以上5年未満	38	4.8
4	5年以上10年未満	90	11.4
5	10年以上15年未満	162	20.6
6	15年以上	420	53.4
	無回答	3	0.4
	全体	787	100.0

問5 あなたが現在一緒に住んでいる家族の内訳を教えてください。

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	父親	631	80.2
2	母親	764	97.1
3	祖父母	51	6.5
4	きょうだい	518	65.8
5	その他	4	0.5
	無回答	4	0.5
	全体	787	100.0

問6(1) あなたは、何人きょうだいですか。(〇は1つ)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	2人きょうだい	374	72.2
2	3人きょうだい	111	21.4
3	4人きょうだい	23	4.4
4	その他	8	1.5
	無回答	2	0.4
	全体	518	100.0

問6(2) あなたは、きょうだいの何番目ですか。(〇は1つ)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1番目	286	55.2
2	2番目	177	34.2
3	3番目	38	7.3
4	4番目	9	1.7
5	その他	4	0.8
	無回答	4	0.8
	全体	518	100.0

問7 あなたは、部活動をしていますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	している	407	54.1
2	していたが、やめた	139	18.5
3	全くしていない	79	10.5
	無回答	128	17.0
	全体	753	100.0

問8 あなたが、学校や職場以外で所属し活動しているものはありますか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ボランティア活動	68	8.6
2	文化活動(料理や美術、音楽などのサークルなど)	83	10.5
3	スポーツ活動(地域のスポーツクラブや民間のスポーツジムなど)	104	13.2
4	インターネット上のコミュニティ(SNS上のグループやオンラインサロンなど)	63	8.0
5	その他	21	2.7
6	団体に所属して活動しているものはない	461	58.6
	無回答	77	9.8
	全体	787	100.0

問9 あなたは、アルバイトをしたことはありますか。(現在している場合も含む)(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ある	169	21.5
2	ない	614	78.0
	無回答	4	0.5
	全体	787	100.0

問9(1) アルバイトの先内容を教えてください。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	スーパーマーケット	9	5.3
2	コンビニエンスストア	14	8.3
3	飲食店	90	53.3
4	その他	56	33.1
	無回答	0	0.0
	全体	169	100.0

問9(2) アルバイトを始めた理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自由に使えるお金がほしいから	120	71.0
2	社会勉強の一環として	91	53.8
3	将来の学費のため(留学を含む)	23	13.6
4	将来やりたいことのため	37	21.9
5	現在の学費(塾・予備校を含む)のため	7	4.1
6	家計を助けるため(生活費)	10	5.9
7	その他	13	7.7
	無回答	1	0.6
	全体	169	100.0

問10 (ア)学校が楽しいと思う (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あてはまる	428	54.4
2	まああてはまる	227	28.8
3	どちらでもない	75	9.5
4	あまりあてはまらない	31	3.9
5	あてはまらない	19	2.4
	無回答	7	0.9
	全体	787	100.0

問10 (イ)今の生活(学校生活は除く)に満足している

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あてはまる	398	50.6
2	まああてはまる	245	31.1
3	どちらでもない	76	9.7
4	あまりあてはまらない	40	5.1
5	あてはまらない	21	2.7
	無回答	7	0.9
	全体	787	100.0

問10 (ウ)自分のことが好きである

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あてはまる	295	37.5
2	まああてはまる	256	32.5
3	どちらでもない	131	16.6
4	あまりあてはまらない	64	8.1
5	あてはまらない	36	4.6
	無回答	5	0.6
	全体	787	100.0

問10 (エ)家族のことが好きである

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あてはまる	456	57.9
2	まああてはまる	233	29.6
3	どちらでもない	62	7.9
4	あまりあてはまらない	18	2.3
5	あてはまらない	12	1.5
	無回答	6	0.8
	全体	787	100.0

問10 (オ)他の人から必要とされている

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あてはまる	249	31.6
2	まああてはまる	287	36.5
3	どちらでもない	164	20.8
4	あまりあてはまらない	55	7.0
5	あてはまらない	28	3.6
	無回答	4	0.5
	全体	787	100.0

問10 (カ)友人関係は広いほうだ

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あてはまる	247	31.4
2	まああてはまる	236	30.0
3	どちらでもない	141	17.9
4	あまりあてはまらない	106	13.5
5	あてはまらない	48	6.1
	無回答	9	1.1
	全体	787	100.0

問10 (キ)何でも話せる・相談できる相手がいる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あてはまる	188	23.9
2	まああてはまる	301	38.2
3	どちらでもない	170	21.6
4	あまりあてはまらない	65	8.3
5	あてはまらない	37	4.7
	無回答	26	3.3
	全体	787	100.0

問10 (ク)自分は孤独だと感じる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あてはまる	12	1.5
2	まああてはまる	46	5.8
3	どちらでもない	161	20.5
4	あまりあてはまらない	206	26.2
5	あてはまらない	264	33.5
	無回答	98	12.5
	全体	787	100.0

問10 (ケ)自分のことを誰もわかってくれない

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あてはまる	24	3.0
2	まああてはまる	58	7.4
3	どちらでもない	174	22.1
4	あまりあてはまらない	241	30.6
5	あてはまらない	278	35.3
	無回答	12	1.5
	全体	787	100.0

問10 (コ)自分が住む地域のために自分の力を役立てたいと思う

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あてはまる	134	17.0
2	まああてはまる	220	28.0
3	どちらでもない	259	32.9
4	あまりあてはまらない	105	13.3
5	あてはまらない	65	8.3
	無回答	4	0.5
	全体	787	100.0

問10 (カ)社会を自分の力で変えられると思う

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あてはまる	122	15.5
2	まああてはまる	163	20.7
3	どちらでもない	240	30.5
4	あまりあてはまらない	167	21.2
5	あてはまらない	90	11.4
	無回答	5	0.6
	全体	787	100.0

問10 (キ)将来やりたいことや夢がある

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あてはまる	321	40.8
2	まああてはまる	220	28.0
3	どちらでもない	110	14.0
4	あまりあてはまらない	88	11.2
5	あてはまらない	41	5.2
	無回答	7	0.9
	全体	787	100.0

問10 (ク)将来、子どもがほしいと思う

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	あてはまる	293	37.2
2	まああてはまる	194	24.7
3	どちらでもない	154	19.6
4	あまりあてはまらない	61	7.8
5	あてはまらない	80	10.2
	無回答	5	0.6
	全体	787	100.0

問11 あなたの今後の展望について教えてください。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学に進学する(したい)	711	90.3
2	専門学校に進学する(したい)	45	5.7
3	海外に留学する(したい)	188	23.9
4	就職(自営業を含む)する(したい)	155	19.7
5	その他	10	1.3
6	わからない	22	2.8
	無回答	3	0.4
	全体	787	100.0

問12 一緒に住んでいる家族との関係性について教えてください。(ア)父親 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	良好	412	65.3
2	まあ良好	145	23.0
3	どちらでもない	36	5.7
4	あまり良好ではない	17	2.7
5	良好ではない	14	2.2
6	該当しない	0	0.0
	無回答	7	1.1
	全体	631	100.0

問12 一緒に住んでいる家族との関係性について教えてください。(イ)母親 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	良好	552	72.3
2	まあ良好	157	20.5
3	どちらでもない	28	3.7
4	あまり良好ではない	13	1.7
5	良好ではない	6	0.8
6	該当しない	0	0.0
	無回答	8	1.0
	全体	764	100.0

問12 一緒に住んでいる家族との関係性について教えてください。(ウ)祖父母 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	良好	31	60.8
2	まあ良好	13	25.5
3	どちらでもない	3	5.9
4	あまり良好ではない	2	3.9
5	良好ではない	0	0.0
6	該当しない	0	0.0
	無回答	2	3.9
	全体	51	100.0

問12 一緒に住んでいる家族との関係性について教えてください。(エ)きょうだい (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	良好	337	65.1
2	まあ良好	114	22.0
3	どちらでもない	37	7.1
4	あまり良好ではない	13	2.5
5	良好ではない	9	1.7
6	該当しない	0	0.0
	無回答	8	1.5
	全体	518	100.0

問12 一緒に住んでいる家族との関係性について教えてください。(オ)その他 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	良好	1	25.0
2	まあ良好	0	0.0
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり良好ではない	0	0.0
5	良好ではない	0	0.0
	無回答	3	75.0
	全体	4	100.0

問13 あなたは、普段家族とどのようにかかっていますか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ご飯を食べる	747	94.9
2	テレビや映画をみる	592	75.2
3	買い物に行く	632	80.3
4	スポーツをする	169	21.5
5	旅行をする	572	72.7
6	友人関係について話す	558	70.9
7	性格についてはなす	380	48.3
8	外見について話す	392	49.8
9	学校生活のことについて話す	647	82.2
10	勉強を教えてもらう・教える	258	32.8
11	進路や将来について話す	598	76.0
12	恋愛について話す	163	20.7
13	体や性について話す	133	16.9
14	仕事(アルバイト含む)について話す	221	28.1
15	その他	20	2.5
16	ほとんどかかわらない	7	0.9
	無回答	6	0.8
	全体	787	100.0

問14 あなたは、普段何をしている時が楽しいと感じますか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	勉強をしている時	152	19.3
2	読書をしている時	227	28.8
3	テレビを見ている時	373	47.4
4	家族と一緒にいる時	333	42.3
5	部活をしている時	275	34.9
6	LINEやインスタグラム等SNSを利用している時	405	51.5
7	インターネットで動画やウェブサイトをみている時	571	72.6
8	カラオケをしているとき	339	43.1
9	友人と会っている時	604	76.7
10	恋人と会っている時	90	11.4
11	スポーツをしている時	294	37.4
12	食事をしている時	474	60.2
13	ゲームをしている時	409	52.0
14	ボランティア活動をしている時	66	8.4
15	仕事(アルバイトを含む)をしている時	43	5.5
16	その他	43	5.5
17	楽しいと感じることがない	6	0.8
	無回答	5	0.6
	全体	787	100.0

問15 現在抱えている悩みはありますか。(あてはまるものすべてに○)

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	勉強や成績に関すること	402	51.1
2	進路や将来に関すること	537	68.2
3	学校のこと(部活動を含む)	164	20.8
4	家族との関係・家庭環境のこと	89	11.3
5	友人関係のこと	122	15.5
6	恋愛に関すること	109	13.9
7	体や性に関すること	43	5.5
8	性格に関すること	112	14.2
9	外見に関すること	179	22.7
10	政治や社会情勢に関すること	118	15.0
11	仕事(アルバイト)に関すること	65	8.3
12	その他	4	0.5
13	悩んでいることはない	141	17.9
	無回答	9	1.1
	全体	787	100.0

問16 あなたは、悩みを抱えた時、誰に(どこに)相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	父親	235	29.9
2	母親	521	66.2
3	きょうだい	161	20.5
4	祖父母	40	5.1
5	その他親族	14	1.8
6	友人	538	68.4
7	恋人	43	5.5
8	学校の先生	149	18.9
9	塾や予備校の先生	59	7.5
10	部活動や習い事の仲間	69	8.8
11	職場(アルバイト含む)の上司や同僚	9	1.1
12	区役所や公共施設の窓口・職員	2	0.3
13	「みなと子ども相談ねっと」	3	0.4
14	13以外のインターネットの掲示板や相談サイト	5	0.6
15	インターネット上の友人・知人	34	4.3
16	その他	9	1.1
17	相談しない	71	9.0
	無回答	4	0.5
	全体	787	100.0

問16(1)あなたは、あなたのお父さんまたはお母さんに悩みを相談するとき、どの程度話しますか。(○は1つ)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	詳細まですべて話す	285	53.1
2	悩み事の概要のみを話す	216	40.2
3	悩みがあることだけを伝える	28	5.2
	無回答	8	1.5
	全体	537	100.0

問16(2)相談しないのはなぜですか。理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	相談するほどのことではないから	28	39.4
2	悩みを知られたくないから	21	29.6
3	相談するのが面倒だから	37	52.1
4	何を聞かれるか不安だから	9	12.7
5	うまく伝えられないから	16	22.5
6	相談していることを知られたくないから	5	7.0
7	相談しても解決しないと思うから	33	46.5
8	相談する相手がないから	10	14.1
9	その他	2	2.8
	無回答	2	2.8
	全体	71	100.0

問17 どのような方法であれば相談しやすいと思いますか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	対面で直接	404	51.3
2	電話	161	20.5
3	スマホやパソコンのメール	234	29.7
4	LINEやインスタグラムなどのSNS	421	53.5
5	インターネットの掲示板やチャット	173	22.0
6	その他	18	2.3
	無回答	10	1.3
	全体	787	100.0

問18 あなたが悩みについて誰か(どこか)に相談するとき、相談先を選ぶ基準として重視することはありますか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ただ話を聞いてくれる	324	41.2
2	アドバイスをしてくれる	407	51.7
3	秘密を守ってくれる	512	65.1
4	利用方法がわかりやすい	169	21.5
5	費用の負担がない	300	38.1
6	いつでも相談できる	317	40.3
7	その他	17	2.2
8	特にない	70	8.9
	無回答	9	1.1
	全体	787	100.0

問19 普段居心地がよいと感じる場所がありますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ある	749	95.2
2	ない	33	4.2
	無回答	5	0.6
	全体	787	100.0

問19(1)あなたが居心地がよいと感じる場所は、どこですか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自宅	680	90.8
2	友人の家	67	8.9
3	学校	246	32.8
4	塾・予備校	60	8.0
5	勤務先(アルバイト含まない)	1	0.1
6	アルバイト先	10	1.3
7	部活動や習い事場所	107	14.3
8	公園	75	10.0
9	ファーストフード店やコンビニエンスストア	48	6.4
10	ゲームセンターやカラオケボックスなどのエンターテインメント施設	65	8.7
11	本屋、CD・DVDショップ	103	13.8
12	ショッピングモール	47	6.3
13	地域のスポーツクラブや民間のスポーツジム	9	1.2
14	区立図書館	89	11.9
15	港区スポーツセンター	31	4.1
16	その他区立の公共施設	12	1.6
17	インターネット上のオンライン空間(SNSやオンラインゲームなど)	76	10.1
18	オンラインコミュニティ(オンラインサロンなど)	5	0.7
19	その他	50	6.7
	無回答	5	0.7
	全体	749	100.0

問19(2)問19(1)で選択した場所はどこにありますか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	港区内	618	82.5
2	港区外23区	193	25.8
3	都内	59	7.9
4	都外	62	8.3
5	その他	12	1.6
	無回答	82	10.9
	全体	749	100.0

問19(3)問19(1)で選択した場所が居心地がよいと感じる理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	いつでも行きたいときに行ける	287	38.3
2	一人で過ごせる	418	55.8
3	何もせずのんびりできる	486	64.9
4	ありのままにいられる、自分を否定されない	342	45.7
5	好きなことを自由にして過ごせる	516	68.9
6	新しいことややりたいことに挑戦できる	136	18.2
7	悩み事の相談ができる	113	15.1
8	違う世代の人と出会える	59	7.9
9	その他	19	2.5
	無回答	33	4.4
	全体	749	100.0

問19(4) 居心地がよいと感じる場所がないと思うのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	住んでいる地域にそのような場所がないから	17	51.5
2	行きたいが、行くのに時間がかかるから	2	6.1
3	行きたいが、行くのにお金がかかるから	5	15.2
4	行きたいときに開いていないから	1	3.0
5	必要だと感じないから	13	39.4
6	その他	4	12.1
	無回答	2	6.1
	全体	33	100.0

問20 どのような場所であれば行ってみたい、行きやすいと思いますか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	いつでも行きたいときに行ける	543	69.0
2	一人で過ごせる	432	54.9
3	なにもせずのんびりできる	492	62.5
4	ありのままでいられる、自分を否定されない	415	52.7
5	好きなことを自由にして過ごせる	538	68.4
6	新しいことややりたいことに挑戦できる	268	34.1
7	悩み事の相談ができる	166	21.1
8	違う世代の人と出会える	119	15.1
9	その他	20	2.5
10	特にない	35	4.4
	無回答	17	2.2
	全体	787	100.0

問21 あなたには、普段一緒にいて居心地がよいと感じる人はいますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	いる	728	92.5
2	いない	51	6.5
	無回答	8	1.0
	全体	787	100.0

問21(1)あなたが居心地がよいと感じる人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	父親	297	40.8
2	母親	479	65.8
3	きょうだい	297	40.8
4	祖父母	119	16.3
5	その他親族	51	7.0
6	友人	611	83.9
7	恋人	64	8.8
8	学校の先生	77	10.6
9	塾や予備校の先生	43	5.9
10	部活動や習い事の仲間	103	14.1
11	職場(アルバイト含む)の人	8	1.1
12	区役所や公共施設の窓口・職員	4	0.5
13	インターネット上で繋がっている人	27	3.7
14	その他	8	1.1
	無回答	4	0.5
	全体	728	100.0

問21(2)居心地がよいと感じる相手はどのような人ですか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	会いたい時にいつでも会える	257	35.3
2	信頼できる・なんでも話せる	573	78.7
3	お互いにも話さなくても気まずくならない	556	76.4
4	一緒にいると安心する	531	72.9
5	尊敬できる	270	37.1
6	その他	10	1.4
	無回答	3	0.4
	全体	728	100.0

問22 あなたは、港区にある「子ども中高生プラザ」のことを知っていましたか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	知っていた	494	62.8
2	知らなかった	288	36.6
	無回答	5	0.6
	全体	787	100.0

問22(1)あなたは、港区にある「子ども中高生プラザ」をいつまで利用していましたか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	小学生になるまで利用していた	18	3.6
2	小学生の頃まで利用していた	213	43.1
3	中学生の頃まで利用していた	94	19.0
4	現在も利用している	58	11.7
5	これまで利用したことはない	108	21.9
	無回答	3	0.6
	全体	494	100.0

問22(2)あなたが、子ども中高生プラザを利用することをやめたのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	勉強や部活が忙しいから	177	54.5
2	仕事(アルバイト含む)が忙しいから	8	2.5
3	一緒に行く人(友人など)がいなくなったから	130	40.0
4	仲がよかったスタッフがなくなったから	16	4.9
5	スタッフと関係がよくないから	5	1.5
6	周りに人がいるのが気になるようになったから	20	6.2
7	利用していることを周囲の人に知られたくないから	6	1.8
8	施設の名称が好みではないから	2	0.6
9	その他	42	12.9
10	特に理由はない	61	18.8
	無回答	8	2.5
	全体	325	100.0

問22(3)利用したことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	行きやすい場所がないから	21	19.4
2	何ができるのかわからないから	33	30.6
3	利用するための手続きが面倒だから	9	8.3
4	行きたいと思わないから	74	68.5
5	その他	4	3.7
	無回答	1	0.9
	全体	108	100.0

問23 港区内に新しく高校生世代の皆さんの居場所をつくるとしたら、どのような場所であれば行ってみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	行きやすい場所にある	559	71.0
2	利用方法がわかりやすい	351	44.6
3	無料で利用できる	607	77.1
4	行きたいときにいつでも行ける	472	60.0
5	自習や読書ができる	442	56.2
6	勉強を教えてもらえる	237	30.1
7	スポーツができる	301	38.2
8	友人と話せたり、遊べたりする	409	52.0
9	Wi-Fi環境が整っている	518	65.8
10	ボランティア活動ができる	106	13.5
11	違う学校の人と出会える	223	28.3
12	違う世代の人と出会える	127	16.1
13	悩みや不安を相談できる	169	21.5
14	一人でなにもせずのんびり過ごせる	379	48.2
15	持参したものを飲食できるスペースがある	444	56.4
16	無料または安価で飲食物の提供がある	453	57.6
17	定期的にイベントがある	152	19.3
18	自分たちで企画したことができる	121	15.4
19	インターネット上で交流できる	101	12.8
20	その他	23	2.9
21	そのような場所は知らない	39	5.0
	無回答	6	0.8
	全体	787	100.0

保護者

問1 回答者の、調査対象のお子さんとの続き柄を教えてください。(〇は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	父親	122	16.3
2	母親	617	82.5
3	祖父	0	0.0
4	祖母	3	0.4
5	その他	2	0.3
	無回答	4	0.5
	全体	748	100

問2 あなたの年齢を教えてください。(〇は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	35歳未満	1	0.1
2	35歳以上40歳未満	5	0.7
3	40歳以上45歳未満	62	8.3
4	45歳以上50歳未満	254	34.0
5	50歳以上55歳未満	302	40.4
6	55歳以上60歳未満	98	13.1
7	60歳以上	21	2.8
	無回答	5	0.7
	全体	748	100

問3 あなたのお住まいはどの地区ですか。(〇は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	芝地区	80	10.7
2	麻布地区	133	17.8
3	赤坂地区	111	14.8
4	高輪地区	225	30.1
5	芝浦港南地区	193	25.8
	無回答	6	0.8
	全体	748	100

問4 港区での通算の居住年数を教えてください。(〇は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年未満	30	4.0
2	1年以上3年未満	34	4.5
3	3年以上5年未満	28	3.7
4	5年以上10年未満	73	9.8
5	10年以上15年未満	141	18.9
6	15年以上	439	58.7
	無回答	3	0.4
	全体	748	100

問5 あなたの就労状況を教えてください。(〇は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	会社員・公務員・団体職員(正規職員)	243	32.5
2	会社経営・役員	82	11.0
3	自由業・自営業	58	7.8
4	パート・アルバイト・派遣社員等の非正規職員	183	24.5
5	主夫・主婦	150	20.1
6	無職	13	1.7
7	その他	13	1.7
	無回答	6	0.8
	全体	748	100

問6 2022年中の世帯年収(一緒にお住いの方全員の合計)を教えてください。(SA)
(もっとも近いもの1つに○)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	200万円未満	43	5.7
2	200万円以上~400万円未満	49	6.6
3	400万円以上~600万円未満	53	7.1
4	600万円以上~1000万円未満	121	16.2
5	1000万円以上~2000万円未満	217	29.0
6	2000万円以上	173	23.1
7	分からない	83	11.1
	無回答	9	1.2
	全体	748	100

問7 あなたと調査対象のお子さんの関係性を教えてください。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	良好	513	68.6
2	まあ良好	205	27.4
3	どちらでもない	15	2.0
4	あまり良好ではない	8	1.1
5	良好ではない	2	0.3
	無回答	5	0.7
	全体	748	100

問8 あなたは、普段調査対象のお子さんとのようにかかわっていますか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ご飯を食べる	711	95.1
2	テレビや映画をみる	532	71.1
3	買い物に行く	553	73.9
4	スポーツをする	151	20.2
5	旅行をする	524	70.1
6	友人関係について話す	583	77.9
7	調査対象のお子さんの性格について話す	452	60.4
8	調査対象のお子さんの外見について話す	442	59.1
9	学校生活のことについて話す	633	84.6
10	勉強を教える	151	20.2
11	進路や将来について話す	637	85.2
12	恋愛について話す	229	30.6
13	体や性について話す	234	31.3
14	仕事(アルバイト含む)について話す	310	41.4
15	その他()	29	3.9
16	ほとんどかかわらない	5	0.7
	無回答	1	0.1
	全体	748	100

問9(1) あなたは、平日に調査対象のお子さんとかかわる時間が1日あたりにどれくらいありますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1時間未満	163	21.8
2	1時間以上2時間未満	225	30.1
3	2時間以上3時間未満	161	21.5
4	3時間以上4時間未満	106	14.2
5	それ以上	84	11.2
6	ない	8	1.1
	無回答	1	0.1
	全体	748	100

問9(2) あなたは、休日に調査対象のお子さんとかかわる時間が1日あたりにどれくらいありますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1時間未満	68	9.1
2	1時間以上2時間未満	147	19.7
3	2時間以上3時間未満	149	19.9
4	3時間以上4時間未満	144	19.3
5	それ以上	231	30.9
6	ない	5	0.7
	無回答	4	0.5
	全体	748	100

問10 あなたは、教育や子どもへの接し方に関する情報を、主に誰またはどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	配偶者	336	44.9
2	実両親	162	21.7
3	義両親	50	6.7
4	友人・知人	422	56.4
5	学校、学校の先生	272	36.4
6	行政の窓口や広報	36	4.8
7	テレビ・ラジオ	213	28.5
8	インターネット	439	58.7
9	新聞	145	19.4
10	雑誌、書籍	222	29.7
11	その他()	65	8.7
	無回答	8	1.1
	全体	748	100

問11 あなたは、調査対象のお子さんが高校生世代になってから悩みを相談されたことはありますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ある	530	70.9
2	ない	217	29.0
	無回答	1	0.1
	全体	748	100

問11(1) あなたは、調査対象のお子さんからどのような内容について相談されましたか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	勉強や成績に関すること	326	61.5
2	進路や将来に関すること	447	84.3
3	学校のこと(部活動を含む)	336	63.4
4	家族との関係・家庭環境のこと	99	18.7
5	調査対象の子どもの友人関係のこと	213	40.2
6	恋愛に関すること	67	12.6
7	体や性に関すること	97	18.3
8	調査対象の子どもの性格に関すること	114	21.5
9	調査対象の子どもの外見に関すること	161	30.4
10	政治や社会情勢に関すること	95	17.9
11	仕事(アルバイト)に関すること	128	24.2
12	その他()	6	1.1
	無回答	2	0.4
	全体	530	100

問11(2) あなたは、調査対象のお子さんが悩みをどこに(誰に)相談しているか
知っていますか。(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	知っている	357	67.4
2	知らない	157	29.6
	無回答	16	3.0
	全体	530	100

問12 あなたは、調査対象のお子さんとのかかわり方で悩んでいることはあります
か。(あてはまるものすべてに○)”(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	子どもと過ごす時間が少ない	85	11.4
2	子どもとうまく話せない	33	4.4
3	子どもの話を理解できない	32	4.3
4	子どもにうまく助言できるかわからない	183	24.5
5	調査対象のお子さんの学校生活のこと	65	8.7
6	調査対象のお子さんの仕事(アルバイト含む)のこと	22	2.9
7	調査対象のお子さんの将来や進路のこと	261	34.9
8	教育、指導方法がわからない	74	9.9
9	子育てに関して家族の方針が合わない	43	5.7
10	子育てに関して周囲の理解が得られない	8	1.1
11	家族と協力して子育てができていない	39	5.2
12	その他()	30	4.0
13	ない	293	39.2
	無回答	12	1.6
	全体	748	100

問13 あなたには、調査対象のお子さんから相談をされた時や、調査対象のお子
さんとのかかわり方について悩みを抱えた時、相談する相手はいますか。(あてはまる
ものすべてに○)(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	配偶者	521	69.7
2	調査対象の子どものきょうだい	159	21.3
3	実両親	237	31.7
4	義両親	61	8.2
5	その他親族	100	13.4
6	友人・知人	423	56.6
7	職場の人	99	13.2
8	学校、学校の先生	202	27.0
9	スクールカウンセラー	35	4.7
10	教育センター	15	2.0
11	「港区子ども家庭相談ダイヤル」	12	1.6
12	「港区おとなの子育て相談ねっと」	9	1.2
13	行政の相談機関・支援員	17	2.3
14	その他()	26	3.5
15	相談する相手はいない	32	4.3
	無回答	4	0.5
	全体	748	100

問14 あなたが、調査対象のお子さんの悩みのことや、調査対象のお子さんとのかわり方について相談窓口で相談するとき利用しやすいと思うことについて教えてください。(MA)
 (あてはまるものすべてに○)。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	対面で直接相談できる	324	43.3
2	メールやSNSのメッセージで相談できる	274	36.6
3	電話やZoomなどのオンライン会議システムで相談できる	164	21.9
4	日時を柔軟に対応してくれる	293	39.2
5	匿名性の確保や秘密を守ってくれる	370	49.5
6	話を聞き、理解してくれる	310	41.4
7	専門機関や窓口へつないでくれる	181	24.2
8	専門的な知識を持った人が助言してくれる	340	45.5
9	相談窓口が統一されている	120	16.0
10	利用方法がわかりやすい	240	32.1
11	費用の負担がない	277	37.0
12	その他()	11	1.5
13	特になし	90	12.0
	無回答	7	0.9
	全体	748	100

問15 あなたは、港区にある「子ども中高生プラザ」のことを知っていましたか。(○ (SA)
 は1つ)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	知っていた	574	76.7
2	知らなかった	170	22.7
	無回答	4	0.5
	全体	748	100

問16 港区内に新しく高校生世代の居場所をつくらせたら、高校生世代の子どもたちは、どのような場所であれば利用すると思いますか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	行きやすい場所にある	554	74.1
2	利用方法がわかりやすい	356	47.6
3	無料で利用できる	544	72.7
4	行きたいときにいつでも行ける	489	65.4
5	自習や読書ができる	439	58.7
6	勉強を教えてもらえる	257	34.4
7	スポーツができる	309	41.3
8	友人と話せたり、遊べたりする	387	51.7
9	Wi-Fi環境が整っている	465	62.2
10	ボランティア活動ができる	169	22.6
11	違う学校の人と出会える	213	28.5
12	違う世代の人と出会える	160	21.4
13	悩みや不安を相談できる	241	32.2
14	一人でなにもせずのんびり過ごせる	291	38.9
15	持参したものを飲食できるスペースがある	392	52.4
16	無料または安価で飲食物の提供がある	298	39.8
17	定期的にイベントがある	126	16.8
18	自分たちで企画したことができる	145	19.4
19	インターネット上で交流できる	86	11.5
20	その他()	32	4.3
21	そのような場所はいらない	7	0.9
	無回答	6	0.8
	全体	748	100

問17 高校生世代の子どもたちの育ちや権利が保障される居場所や仕組みをつくるために、区はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○) (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	子どもたちの相談を柔軟に対応する仕組みをつくる	358	47.9
2	ほとんどかかわらない	515	68.9
3	子どもや子育てについて不安を抱える保護者の相談を柔軟に対応する仕組みをつく	283	37.8
4	子どものかかわり方について不安を抱える保護者が情報交換や相談ができる場所	210	28.1
5	専門的な知識や資格を持つ人に相談できる仕組みをつくる	342	45.7
6	民間の相談サービスを利用する際の支援(補助金等)をする	118	15.8
7	インターネット上で交流できる仕組みをつくる	121	16.2
8	その他()	34	4.5
	無回答	27	3.6
	全体	748	100

2 クロス集計

※クロス集計表のnの列は回答者数を示し、表頭の選択肢におけるそれぞれの数値は割合(%)を示している。

高校生世代

【問15 悩みの種類×問1 (1) 就学・就労状況別】

	n	勉強や成績に関すること	進路や将来に関すること	学校のこと(部活動を含む)	家庭環境のこと	家族との関係・家庭	友人関係のこと	恋愛に関すること	と体や性に関すること	性格に関すること	外見に関すること	政治や社会情勢に関すること	仕事(アルバイト)に関すること	その他	悩んでいることは	無回答
就学・就労状況別																
全体	787	51.1	68.2	20.8	11.3	15.5	13.9	5.5	14.2	22.7	15.0	8.3	0.5	17.9	1.1	
国公立高校	134	53.7	71.6	32.8	13.4	21.6	16.4	7.5	20.1	29.1	18.7	11.9	0.0	11.9	0.0	
私立高校	590	52.0	68.0	18.6	11.4	14.6	13.7	4.4	13.2	22.4	14.4	7.1	0.3	19.3	1.0	
高等専門学校(国公立)	4	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
高等専門学校(私立)	10	50.0	70.0	10.0	0.0	40.0	20.0	20.0	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	
特別支援学校	11	9.1	45.5	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	45.5	9.1	
専修学校・各種学校	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
公共職業能力開発施設	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
フリースクールなどの民間教育施設	2	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
働いている	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
働いていない	6	33.3	83.3	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	
無回答	26	42.3	61.5	19.2	7.7	7.7	7.7	11.5	19.2	7.7	11.5	7.7	3.8	15.4	7.7	

【問15 悩みの種類×問1 (3) 学校や職場の場所別】

	n	勉強や成績に関すること	進路や将来に関すること	学校のこと(部活動を含む)	家庭環境のこと	家族との関係・家庭	友人関係のこと	恋愛に関すること	と体や性に関すること	性格に関すること	外見に関すること	政治や社会情勢に関すること	仕事(アルバイト)に関すること	その他	悩んでいることは	無回答
学校や職場の場所別																
全体	755	51.5	68.3	20.9	11.4	15.9	14.2	5.2	14.2	23.4	15.2	8.1	0.4	18.1	0.9	
港区内	110	50.0	68.2	20.9	8.2	16.4	12.7	3.6	12.7	15.5	12.7	3.6	0.0	20.0	1.8	
港区外の23区	444	50.5	68.0	21.8	12.4	15.3	14.9	6.5	14.6	25.0	15.5	8.8	0.5	17.1	0.7	
都内	34	55.9	61.8	23.5	14.7	20.6	14.7	2.9	11.8	23.5	20.6	8.8	0.0	17.6	0.0	
都外	77	57.1	72.7	22.1	11.7	19.5	20.8	6.5	15.6	31.2	16.9	10.4	1.3	15.6	1.3	
その他	8	75.0	87.5	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	
無回答	82	50.0	67.1	14.6	9.8	13.4	6.1	0.0	13.4	18.3	13.4	7.3	0.0	25.6	1.2	

【問15 悩みの種類×問3 居住地区別】

	n	勉強や成績に関すること	進路や将来に関すること	学校のこと(部活動を含む)	家庭環境のこと	家族との関係・家庭	友人関係のこと	恋愛に関すること	と体や性に関すること	性格に関すること	外見に関すること	政治や社会情勢に関すること	仕事(アルバイト)に関すること	その他	悩んでいることは	無回答
居住地区別																
全体	787	51.1	68.2	20.8	11.3	15.5	13.9	5.5	14.2	22.7	15.0	8.3	0.5	17.9	1.1	
芝地区	91	52.7	72.5	24.2	9.9	15.4	14.3	1.1	14.3	24.2	14.3	9.9	0.0	17.6	1.1	
麻布地区	136	47.8	69.9	20.6	12.5	17.6	11.0	7.4	14.0	23.5	16.9	8.8	1.5	19.9	0.7	
赤坂地区	121	52.9	63.6	18.2	9.9	16.5	14.9	2.5	8.3	21.5	14.9	9.9	1.7	16.5	0.8	
高輪地区	220	54.5	69.1	22.3	11.4	15.0	15.5	5.9	16.8	21.8	18.2	6.4	0.0	16.4	1.8	
芝浦港南地区	212	48.1	67.0	19.8	11.8	14.2	13.2	7.1	14.6	23.6	11.3	8.0	0.0	18.9	0.9	
無回答	7	42.9	71.4	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	

【問 15 悩みの種類×問 4 居住年数別】

	n	勉強や成績に関すること	進路や将来に関すること	学校のこと（部活動を含む）	家族との関係・家庭環境のこと	友人関係のこと	恋愛に関すること	と体や性に関すること	性格に関すること	外見に関すること	政治や社会情勢に関すること	仕事（アルバイト）に関すること	その他	悩んでいることはない	無回答
居住年数別															
全体	787	51.1	68.2	20.8	11.3	15.5	13.9	5.5	14.2	22.7	15.0	8.3	0.5	17.9	1.1
1年未満	33	54.5	54.5	12.1	15.2	15.2	9.1	9.1	6.1	9.1	9.1	3.0	0.0	18.2	0.0
1年以上3年未満	41	58.5	78.0	24.4	17.1	19.5	14.6	4.9	19.5	26.8	26.8	4.9	0.0	7.3	0.0
3年以上5年未満	38	50.0	78.9	23.7	15.8	13.2	21.1	0.0	18.4	26.3	15.8	7.9	0.0	13.2	0.0
5年以上10年未満	90	44.4	53.3	15.6	10.0	14.4	10.0	4.4	14.4	22.2	10.0	7.8	1.1	26.7	1.1
10年以上15年未満	162	53.1	70.4	22.8	11.7	14.8	13.6	7.4	11.7	23.5	11.7	8.0	0.6	22.2	0.0
15年以上	420	51.0	69.8	21.2	10.2	15.7	14.3	5.2	14.8	22.9	16.7	9.0	0.5	15.7	1.9
無回答	3	33.3	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0

【問 15 悩みの種類×問 6 世帯年収別（保護者調査）】

	n	勉強や成績に関すること	進路や将来に関すること	学校のこと（部活動を含む）	家族との関係・家庭環境のこと	友人関係のこと	恋愛に関すること	と体や性に関すること	性格に関すること	外見に関すること	政治や社会情勢に関すること	仕事（アルバイト）に関すること	その他	悩んでいることはない	無回答
世帯年収別															
全体	581	48.2	66.3	17.9	9.0	13.6	11.9	4.8	13.4	20.7	13.8	7.2	0.5	21.2	1.4
200万円未満	35	42.9	57.1	5.7	5.7	5.7	8.6	0.0	8.6	2.9	11.4	5.7	0.0	28.6	2.9
200万円以上～400万円未満	42	52.4	61.9	23.8	19.0	16.7	16.7	9.5	19.0	23.8	16.7	14.3	0.0	16.7	0.0
400万円以上～600万円未満	42	50.0	71.4	16.7	9.5	16.7	7.1	2.4	16.7	21.4	16.7	9.5	0.0	11.9	2.4
600万円以上～1000万円未満	93	48.4	64.5	18.3	8.6	11.8	9.7	3.2	10.8	22.6	14.0	8.6	0.0	23.7	1.1
1000万円以上～2000万円未満	165	50.9	71.5	21.8	6.1	11.5	9.1	4.2	12.7	21.8	9.1	6.1	0.6	19.4	0.6
2000万円以上	132	47.7	63.6	16.7	12.1	15.9	17.4	6.8	15.9	20.5	18.9	6.1	0.8	23.5	3.0
分からない	64	45.3	65.6	15.6	6.3	18.8	14.1	4.7	10.9	23.4	12.5	4.7	1.6	21.9	0.0
無回答	8	12.5	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	25.0	0.0

【問 16 相談先×問 1（1）就学・就労状況別】

	n	父親	母親	きょうだい	祖父母	その他親族	友人	恋人	学校の先生	塾や予備校の先生	部活動や習い事の仲間	職場の上司や同僚	区役所や公共施設の窓口・職員	「みなと子ども相談ねっと」	「みなと子ども相談ねっと」以外のインターネットの掲示	インターネット上の友人・知人	その他	相談しない	無回答
就学・就労状況別																			
全体	787	29.9	66.2	20.5	5.1	1.8	68.4	5.5	18.9	7.5	8.8	1.1	0.3	0.4	0.6	4.3	1.1	9.0	0.5
国公立高校	134	28.4	69.4	23.1	3.7	0.0	70.1	9.7	18.7	7.5	9.7	2.2	0.0	0.7	0.7	6.0	1.5	9.0	0.0
私立高校	590	30.0	65.4	20.2	5.1	1.7	69.5	4.2	18.5	8.0	8.8	0.5	0.2	0.3	0.5	4.2	1.0	9.2	0.2
高等専門学校(国公立)	4	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高等専門学校(私立)	10	10.0	60.0	10.0	0.0	0.0	50.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
特別支援学校	11	45.5	54.5	9.1	0.0	9.1	18.2	9.1	54.5	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1
専修学校・各種学校	2	50.0	100.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
公共職業能力開発施設	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フリースクールなどの民間教育施設	2	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
働いている	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
働いていない	6	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
無回答	26	34.6	76.9	26.9	15.4	7.7	61.5	7.7	23.1	7.7	7.7	3.8	3.8	0.0	0.0	3.8	0.0	3.8	7.7

【問 16 相談先×問 1 (3) 学校や職場の場所別】

	n	父親	母親	きょうだい	祖父母	その他親族	友人	恋人	学校の先生	塾や予備校の先生	部活動や習い事の仲間	職場（アルバイト含む）の上 司や同僚	区役所や公共施設の窓口・職 員	「みなど子ども相談ねっと」	「みなど子ども相談ねっと」 以外のインターネットの揭示 板や相談サイト	インターネット上の友人・知 人	その他	相談しない	無回答
学校や職場の場所別																			
全体	755	29.7	66.1	20.3	4.8	1.6	68.9	5.4	18.9	7.5	8.9	0.9	0.1	0.4	0.7	4.4	1.1	9.1	0.3
港区内	110	35.5	67.3	19.1	3.6	1.8	60.9	5.5	24.5	7.3	10.9	1.8	0.0	0.0	0.9	5.5	0.0	7.3	0.9
港区外の23区	444	27.9	64.2	21.2	4.3	1.1	70.5	5.2	15.5	7.2	9.0	0.7	0.2	0.7	0.7	4.5	1.4	9.0	0.0
都内	34	41.2	67.6	32.4	2.9	0.0	70.6	5.9	20.6	2.9	17.6	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
都外	77	24.7	63.6	11.7	6.5	1.3	68.8	9.1	16.9	7.8	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	1.3	14.3	1.3
その他	8	25.0	100.0	37.5	37.5	12.5	62.5	0.0	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	82	31.7	73.2	18.3	4.9	3.7	70.7	3.7	28.0	11.0	3.7	1.2	0.0	0.0	1.2	2.4	1.2	9.8	0.0

【問 16 相談先×問 3 居住地区別】

	n	父親	母親	きょうだい	祖父母	その他親族	友人	恋人	学校の先生	塾や予備校の先生	部活動や習い事の仲間	職場（アルバイト含む）の上 司や同僚	区役所や公共施設の窓口・職 員	「みなど子ども相談ねっと」	「みなど子ども相談ねっと」 以外のインターネットの揭示 板や相談サイト	インターネット上の友人・知 人	その他	相談しない	無回答
居住地区別																			
全体	787	29.9	66.2	20.5	5.1	1.8	68.4	5.5	18.9	7.5	8.8	1.1	0.3	0.4	0.6	4.3	1.1	9.0	0.5
芝地区	91	19.8	64.8	14.3	4.4	1.1	67.0	4.4	15.4	7.7	8.8	2.2	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	11.0	0.0
麻布地区	136	27.9	61.8	23.5	6.6	1.5	69.1	2.9	19.1	8.8	7.4	2.2	0.0	0.0	0.7	5.9	0.7	8.8	1.5
赤坂地区	121	34.7	67.8	19.8	5.8	2.5	66.1	7.4	19.0	5.8	9.1	2.5	0.0	0.0	0.0	5.0	2.5	5.0	0.8
高輪地区	220	32.7	67.3	22.7	6.4	3.2	68.6	4.1	23.6	7.7	9.1	0.5	0.5	0.9	0.9	2.3	0.9	10.5	0.0
芝浦港南地区	212	29.7	67.9	19.3	2.8	0.5	70.3	8.0	15.6	7.5	9.4	0.0	0.5	0.5	0.5	7.1	0.9	8.5	0.5
無回答	7	28.6	57.1	14.3	0.0	0.0	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0

【問 16 相談先×問 4 居住年数別】

	n	父親	母親	きょうだい	祖父母	その他親族	友人	恋人	学校の先生	塾や予備校の先生	部活動や習い事の仲間	職場（アルバイト含む）の上 司や同僚	区役所や公共施設の窓口・職 員	「みなど子ども相談ねっと」	「みなど子ども相談ねっと」 以外のインターネットの揭示 板や相談サイト	インターネット上の友人・知 人	その他	相談しない	無回答
居住年数別																			
全体	787	29.9	66.2	20.5	5.1	1.8	68.4	5.5	18.9	7.5	8.8	1.1	0.3	0.4	0.6	4.3	1.1	9.0	0.5
1年未満	33	30.3	57.6	12.1	0.0	3.0	69.7	3.0	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	9.1	3.0
1年以上3年未満	41	39.0	58.5	24.4	2.4	2.4	61.0	17.1	12.2	4.9	12.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	0.0	9.8	0.0
3年以上5年未満	38	26.3	57.9	21.1	0.0	0.0	57.9	5.3	15.8	7.9	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	13.2	0.0
5年以上10年未満	90	32.2	67.8	21.1	5.6	1.1	57.8	2.2	21.1	4.4	6.7	2.2	1.1	0.0	1.1	7.8	1.1	8.9	1.1
10年以上15年未満	162	27.8	64.2	15.4	5.6	1.9	58.6	4.9	16.7	4.3	8.0	0.6	0.0	0.0	1.2	4.3	2.5	12.3	0.0
15年以上	420	29.8	68.8	22.6	6.0	1.9	76.0	5.5	20.2	10.2	9.5	1.4	0.2	0.7	0.5	4.3	0.5	7.1	0.5
無回答	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

【問 16 相談先×問 6 世帯年収別（保護者調査）】

	n	父親	母親	きょうだい	祖父母	その他親族	友人	恋人	学校の先生	塾や予備校の先生	部活動や習い事の仲間	職場（アルバイト含む）の上 司や同僚	区役所や公共施設の窓口・職 員	「みなと子ども相談ねっと」	「みなと子ども相談ねっと」 以外のインターネットの掲示 板や相談サイト	インターネット上の友人・知 人	その他	相談しない	無回 答
世帯年収別																			
全体	581	31.3	68.7	20.1	5.0	1.7	68.3	4.8	20.1	7.4	7.9	0.9	0.2	0.3	0.5	4.1	1.2	8.1	0.7
200万円未満	35	11.4	48.6	11.4	5.7	2.9	68.6	11.4	20.0	0.0	8.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	5.7	11.4	0.0
200万円以上～400万円未満	42	21.4	71.4	11.9	4.8	2.4	57.1	7.1	23.8	9.5	7.1	2.4	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	11.9	0.0
400万円以上～600万円未満	42	23.8	57.1	28.6	0.0	0.0	66.7	7.1	11.9	2.4	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	2.4	16.7	0.0
600万円以上～1000万円未満	93	29.0	73.1	15.1	5.4	1.1	73.1	3.2	16.1	9.7	7.5	1.1	0.0	0.0	1.1	3.2	1.1	3.2	1.1
1000万円以上～2000万円未満	165	35.8	69.1	21.8	4.2	1.8	72.1	4.8	23.0	7.3	7.9	1.2	0.0	1.2	1.2	4.2	0.6	4.8	0.0
2000万円以上	132	35.6	68.9	25.8	5.3	2.3	63.6	2.3	22.7	8.3	9.1	0.8	0.0	0.0	0.0	1.5	0.8	12.1	1.5
分からない	64	35.9	76.6	15.6	6.3	1.6	70.3	6.3	14.1	6.3	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	1.6	6.3	1.6
無回答	8	37.5	75.0	25.0	25.0	0.0	62.5	0.0	37.5	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0

【問 19 居場所の有無×問 1（1）就学・就労状況別】

	n	あ る	な い	無 回 答
就学・就労状況別				
全体	787	95.2	4.2	0.6
国公立高校	134	94.8	5.2	0.0
私立高校	590	95.6	4.1	0.3
高等専門学校(国公立)	4	100.0	0.0	0.0
高等専門学校(私立)	10	90.0	10.0	0.0
特別支援学校	11	90.9	0.0	9.1
専修学校・各種学校	2	100.0	0.0	0.0
公共職業能力開発施設	0	0.0	0.0	0.0
フリースクールなどの民間教育施設	2	100.0	0.0	0.0
働いている	2	100.0	0.0	0.0
働いていない	6	100.0	0.0	0.0
無回答	26	88.5	3.8	7.7

【問 19 居場所の有無×問 1（3）学校や職場の場所別】

	n	あ る	な い	無 回 答
学校や職場の場所別				
全体	755	95.4	4.2	0.4
港区内	110	97.3	1.8	0.9
港区外の23区	444	95.3	4.5	0.2
都内	34	100.0	0.0	0.0
都外	77	90.9	7.8	1.3
その他	8	100.0	0.0	0.0
無回答	82	95.1	4.9	0.0

【問 19 居場所の有無×問3 居住地区別】

	n	ある	ない	無回答
居住地区別				
全体	787	95.2	4.2	0.6
芝地区	91	95.6	4.4	0.0
麻布地区	136	94.1	3.7	2.2
赤坂地区	121	94.2	5.0	0.8
高輪地区	220	95.0	5.0	0.0
芝浦港南地区	212	96.7	2.8	0.5
無回答	7	85.7	14.3	0.0

【問 19 居場所の有無×問4 居住年数別】

	n	ある	ない	無回答
居住年数別				
全体	787	95.2	4.2	0.6
1年未満	33	97.0	0.0	3.0
1年以上3年未満	41	92.7	7.3	0.0
3年以上5年未満	38	92.1	7.9	0.0
5年以上10年未満	90	91.1	7.8	1.1
10年以上15年未満	162	97.5	2.5	0.0
15年以上	420	95.5	3.8	0.7
無回答	3	100.0	0.0	0.0

【問 19 居場所の有無×問6 世帯年収別（保護者調査）】

	n	ある	ない	無回答
世帯年収別				
全体	581	95.9	3.3	0.9
200万円未満	35	97.1	2.9	0.0
200万円以上～400万円未満	42	90.5	9.5	0.0
400万円以上～600万円未満	42	92.9	4.8	2.4
600万円以上～1000万円未満	93	96.8	2.2	1.1
1000万円以上～2000万円未満	165	98.2	1.8	0.0
2000万円以上	132	94.7	3.8	1.5
分からない	64	95.3	3.1	1.6
無回答	8	100.0	0.0	0.0

【問 21 居心地がよいと感じる人の有無×問 1（1）就学・就労状況別】

	n	いる	いない	無回答
就学・就労状況別				
全体	787	92.5	6.5	1.0
国公立高校	134	91.0	8.2	0.7
私立高校	590	93.1	6.6	0.3
高等専門学校(国公立)	4	100.0	0.0	0.0
高等専門学校(私立)	10	100.0	0.0	0.0
特別支援学校	11	90.9	0.0	9.1
専修学校・各種学校	2	100.0	0.0	0.0
公共職業能力開発施設	0	0.0	0.0	0.0
フリースクールなどの民間教育施設	2	50.0	50.0	0.0
働いている	2	100.0	0.0	0.0
働いていない	6	100.0	0.0	0.0
無回答	26	84.6	0.0	15.4

【問 21 居心地がよいと感じる人の有無×問 1（2）学年別】

	n	いる	いない	無回答
学年別				
全体	749	92.8	6.7	0.5
1年	246	93.1	6.1	0.8
2年	224	91.5	8.5	0.0
3年	219	91.8	7.3	0.9
無回答	60	100.0	0.0	0.0

【問 21 居心地がよいと感じる人の有無×問 1（3）学校や職場の場所別】

	n	いる	いない	無回答
学校や職場の場所別				
全体	755	92.7	6.8	0.5
港区内	110	94.5	4.5	0.9
港区外の23区	444	91.2	8.6	0.2
都内	34	97.1	2.9	0.0
都外	77	92.2	6.5	1.3
その他	8	100.0	0.0	0.0
無回答	82	96.3	2.4	1.2

【問 21 居心地がよいと感じる人の有無×問 2 性別】

	n	いる	いない	無回答
性別				
全体	787	92.5	6.5	1.0
男性	326	91.7	6.4	1.8
女性	436	92.9	6.7	0.5
答えたくない	19	94.7	5.3	0.0
無回答	6	100.0	0.0	0.0

【問 21 居心地がよいと感じる人の有無×問 3 居住地区別】

	n	いる	いない	無回答
居住地区別				
全体	787	92.5	6.5	1.0
芝地区	91	92.3	7.7	0.0
麻布地区	136	91.9	5.9	2.2
赤坂地区	121	93.4	5.8	0.8
高輪地区	220	91.8	7.3	0.9
芝浦港南地区	212	93.4	5.7	0.9
無回答	7	85.7	14.3	0.0

【問 21 居心地がよいと感じる人の有無×問 4 居住年数別】

	n	いる	いない	無回答
居住年数別				
全体	787	92.5	6.5	1.0
1年未満	33	93.9	3.0	3.0
1年以上3年未満	41	90.2	9.8	0.0
3年以上5年未満	38	94.7	5.3	0.0
5年以上10年未満	90	90.0	7.8	2.2
10年以上15年未満	162	91.4	8.0	0.6
15年以上	420	93.3	5.7	1.0
無回答	3	100.0	0.0	0.0

【問 21 居心地がよいと感じる人の有無×問 6 世帯年収別（保護者調査）】

	n	い る	い ない	無 回 答
世帯年収別				
全体	581	93.1	5.7	1.2
200 万円未満	35	91.4	8.6	0.0
200 万円以上～400 万円未満	42	95.2	4.8	0.0
400 万円以上～600 万円未満	42	90.5	9.5	0.0
600 万円以上～1000 万円未満	93	94.6	3.2	2.2
1000 万円以上～2000 万円未満	165	94.5	5.5	0.0
2000万円以上	132	91.7	5.3	3.0
分からない	64	92.2	6.3	1.6
無回答	8	87.5	12.5	0.0

【問 22 子ども中高生プラザの認知度×問 1（1）就学・就労状況別】

	n	知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答
就学・就労状況別				
全体	787	62.8	36.6	0.6
国公立高校	134	70.1	29.9	0.0
私立高校	590	61.7	38.0	0.3
高等専門学校(国公立)	4	75.0	25.0	0.0
高等専門学校(私立)	10	30.0	70.0	0.0
特別支援学校	11	81.8	9.1	9.1
専修学校・各種学校	2	50.0	50.0	0.0
公共職業能力開発施設	0	0.0	0.0	0.0
フリースクールなどの民間教育施設	2	50.0	50.0	0.0
働いている	2	50.0	50.0	0.0
働いていない	6	50.0	50.0	0.0
無回答	26	57.7	34.6	7.7

【問 22 子ども中高生プラザの認知度×問 1（2）学年別】

	n	知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答
学年別				
全体	749	63.2	36.4	0.4
1年	246	64.6	34.6	0.8
2年	224	62.1	37.9	0.0
3年	219	62.1	37.4	0.5
無回答	60	65.0	35.0	0.0

【問 22 子ども中高生プラザの認知度×問1（3）学校や職場の場所別】

	n	知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答
学校や職場の場所別				
全体	755	63.0	36.6	0.4
港区内	110	61.8	37.3	0.9
港区外の23区	444	64.2	35.6	0.2
都内	34	67.6	32.4	0.0
都外	77	61.0	37.7	1.3
その他	8	12.5	87.5	0.0
無回答	82	63.4	36.6	0.0

【問 22 子ども中高生プラザの認知度×問2性別】

	n	知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答
性別				
全体	787	62.8	36.6	0.6
男性	326	58.3	40.5	1.2
女性	436	66.1	33.7	0.2
答えたくない	19	68.4	31.6	0.0
無回答	6	50.0	50.0	0.0

【問 22 子ども中高生プラザの認知度×問3居住地区別】

	n	知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答
居住地区別				
全体	787	62.8	36.6	0.6
芝地区	91	54.9	45.1	0.0
麻布地区	136	65.4	33.1	1.5
赤坂地区	121	48.8	50.4	0.8
高輪地区	220	76.4	23.2	0.5
芝浦港南地区	212	57.5	42.0	0.5
無回答	7	85.7	14.3	0.0

【問 22 子ども中高生プラザの認知度×問 4 居住年数別】

	n	知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答
居住年数別				
全体	787	62.8	36.6	0.6
1年未満	33	30.3	66.7	3.0
1年以上3年未満	41	17.1	82.9	0.0
3年以上5年未満	38	36.8	63.2	0.0
5年以上10年未満	90	51.1	46.7	2.2
10年以上15年未満	162	67.9	32.1	0.0
15年以上	420	72.4	27.1	0.5
無回答	3	100.0	0.0	0.0

【問 22 (1) 子ども中高生プラザの利用経験×問 1 (1) 就学・就労状況別】

	n	利 小 用 学 し 生 て に い な る ま で	用 小 し 学 て 生 い の た 頃 ま で 利	用 中 し 学 て 生 い の た 頃 ま で 利	る 現 在 も 利 用 し て い	こ こ れ は ま だ い 利 用 し た	無 回 答
就学・就労状況別							
全体	494	3.6	43.1	19.0	11.7	21.9	0.6
国公立高校	94	2.1	42.6	18.1	16.0	21.3	0.0
私立高校	364	3.6	43.1	19.8	11.3	21.4	0.8
高等専門学校(国公立)	3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
高等専門学校(私立)	3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
特別支援学校	9	0.0	22.2	33.3	11.1	33.3	0.0
専修学校・各種学校	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
公共職業能力開発施設	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フリースクールなどの民間教育施設	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
働いている	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
働いていない	3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
無回答	15	13.3	60.0	13.3	6.7	6.7	0.0

【問 22（1）子ども中高生プラザの利用経験×問 1（2）学年別】

	n	小学生 利用して いた た る ま で	小学生 利用して いた た 頃 ま で 利	中学生 利用して いた た 頃 ま で 利	現在も 利用して い	これまで ない 利用し た	無 回 答
学年別							
全体	473	3.4	42.5	19.5	12.1	22.0	0.6
1年	159	3.8	44.7	15.1	14.5	21.4	0.6
2年	139	3.6	41.0	19.4	9.4	25.9	0.7
3年	136	1.5	43.4	23.5	12.5	18.4	0.7
無回答	39	7.7	35.9	23.1	10.3	23.1	0.0

【問 22（1）子ども中高生プラザの利用経験×問 1（3）学校や職場の場所別】

	n	小学生 利用して いた た る ま で	小学生 利用して いた た 頃 ま で 利	中学生 利用して いた た 頃 ま で 利	現在も 利用して い	これまで ない 利用し た	無 回 答
学校や職場の場所別							
全体	476	3.4	42.4	19.3	12.0	22.3	0.6
港区内	68	1.5	35.3	16.2	25.0	22.1	0.0
港区外の23区	285	3.9	47.4	17.9	9.1	21.4	0.4
都内	23	0.0	39.1	21.7	8.7	30.4	0.0
都外	47	2.1	42.6	21.3	10.6	23.4	0.0
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無回答	52	5.8	26.9	28.8	13.5	21.2	3.8

【問 22（1）子ども中高生プラザの利用経験×問 2 性別】

	n	小学生 利用して いた た る ま で	小学生 利用して いた た 頃 ま で 利	中学生 利用して いた た 頃 ま で 利	現在も 利用して い	これまで ない 利用し た	無 回 答
性別							
全体	494	3.6	43.1	19.0	11.7	21.9	0.6
男性	190	3.2	39.5	21.6	15.8	19.5	0.5
女性	288	4.2	44.4	17.0	9.4	24.3	0.7
答えたくない	13	0.0	61.5	23.1	7.7	7.7	0.0
無回答	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0

【問 22（1）子ども中高生プラザの利用経験×問3居住地区別】

	n	利小 用学 して 生に いた なる まで	用小 して 学 生の いた 頃 まで 利	用中 して 学 生の いた 頃 まで 利	る現 在も 利用 して い	こ れ は ま で 利 用 し た	無 回 答
居住地区別							
全体	494	3.6	43.1	19.0	11.7	21.9	0.6
芝地区	50	8.0	32.0	24.0	8.0	28.0	0.0
麻布地区	89	3.4	34.8	24.7	11.2	25.8	0.0
赤坂地区	59	3.4	37.3	18.6	10.2	28.8	1.7
高輪地区	168	4.2	40.5	22.0	16.7	16.1	0.6
芝浦港南地区	122	1.6	59.8	9.0	8.2	21.3	0.0
無回答	6	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7	16.7

【問 22（1）子ども中高生プラザの利用経験×問4居住年数別】

	n	利小 用学 して 生に いた なる まで	用小 して 学 生の いた 頃 まで 利	用中 して 学 生の いた 頃 まで 利	る現 在も 利用 して い	こ れ は ま で 利 用 し た	無 回 答
居住年数別							
全体	494	3.6	43.1	19.0	11.7	21.9	0.6
1年未満	10	0.0	0.0	0.0	30.0	60.0	10.0
1年以上3年未満	7	0.0	0.0	42.9	14.3	42.9	0.0
3年以上5年未満	14	0.0	7.1	21.4	28.6	42.9	0.0
5年以上10年未満	46	0.0	21.7	28.3	13.0	37.0	0.0
10年以上15年未満	110	4.5	50.0	14.5	10.9	20.0	0.0
15年以上	304	4.3	47.7	19.4	10.5	17.4	0.7
無回答	3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0

【問22(2) 子ども中高生プラザを利用しなくなった理由×問1(1) 就学・就労状況別】

	n	勉強や部活が忙しいから	仕事(アルバイト含む)が忙しいから	一緒に行く人(友人など)がいなくなつたから	仲がよかつたから	スタツフと関係がよくないから	周りに人がいるのが気になる	利用していることを周囲の人に知られたくないから	施設の名称が好みではないから	その他	特に理由はない	無回答
就学・就労状況別												
全体	325	54.5	2.5	40.0	4.9	1.5	6.2	1.8	0.6	12.9	18.8	2.5
国公立高校	59	57.6	3.4	39.0	6.8	3.4	6.8	5.1	0.0	13.6	16.9	3.4
私立高校	242	56.2	2.1	40.9	4.1	1.2	6.2	1.2	0.8	12.4	19.0	2.1
高等専門学校(国公立)	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
高等専門学校(私立)	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特別支援学校	5	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
専修学校・各種学校	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
公共職業能力開発施設	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フリースクールなどの民間教育施設	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
働いている	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
働いていない	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
無回答	13	30.8	0.0	30.8	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	15.4	15.4	7.7

【問22(2) 子ども中高生プラザを利用しなくなった理由×問1(2) 学年別】

	n	勉強や部活が忙しいから	仕事(アルバイト含む)が忙しいから	一緒に行く人(友人など)がいなくなつたから	仲がよかつたから	スタツフと関係がよくないから	周りに人がいるのが気になる	利用していることを周囲の人に知られたくないから	施設の名称が好みではないから	その他	特に理由はない	無回答
学年別												
全体	309	55.7	2.6	40.5	5.2	1.6	6.1	1.9	0.6	12.9	18.4	2.3
1年	101	53.5	1.0	45.5	6.9	4.0	11.9	3.0	1.0	19.8	14.9	0.0
2年	89	53.9	3.4	46.1	3.4	0.0	3.4	1.1	0.0	5.6	22.5	2.2
3年	93	61.3	3.2	30.1	1.1	1.1	3.2	1.1	1.1	10.8	19.4	2.2
無回答	26	50.0	3.8	38.5	19.2	0.0	3.8	3.8	0.0	19.2	15.4	11.5

【問 22（2）子ども中高生プラザを利用しなくなった理由×問 1（3）学校や職場の場所別】

	n	勉強や部活が忙しいから	仕事（アルバイト含む）が忙しいから	一緒に行く人（友人など）がいなくなつたから	仲がよかつたから	スタツフと関係がよくないから	周りに人がいるのが気に入らなかつたから	利用していることを周囲の人に知られたくないから	施設の名称が好みではないから	その他	特に理由はない	無回答
学校や職場の場所別												
全体	310	55.5	2.6	40.3	5.2	1.6	6.1	1.9	0.6	12.9	18.7	2.3
港区内	36	33.3	2.8	22.2	2.8	2.8	2.8	0.0	0.0	22.2	27.8	2.8
港区外の23区	197	57.9	2.0	44.7	5.1	1.0	7.6	2.5	0.5	11.7	17.8	1.5
都内	14	71.4	7.1	35.7	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
都外	31	54.8	0.0	38.7	0.0	0.0	3.2	0.0	3.2	9.7	19.4	6.5
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	32	59.4	6.3	37.5	12.5	0.0	3.1	3.1	0.0	18.8	18.8	3.1

【問 22（2）子ども中高生プラザを利用しなくなった理由×問 2 性別】

	n	勉強や部活が忙しいから	仕事（アルバイト含む）が忙しいから	一緒に行く人（友人など）がいなくなつたから	仲がよかつたから	スタツフと関係がよくないから	周りに人がいるのが気に入らなかつたから	利用していることを周囲の人に知られたくないから	施設の名称が好みではないから	その他	特に理由はない	無回答
性別												
全体	325	54.5	2.5	40.0	4.9	1.5	6.2	1.8	0.6	12.9	18.8	2.5
男性	122	45.9	1.6	33.6	1.6	2.5	4.9	0.8	0.8	11.5	23.0	4.1
女性	189	59.3	3.2	45.0	6.3	1.1	7.4	2.6	0.5	13.8	16.4	1.6
答えたくない	11	72.7	0.0	27.3	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2	0.0
無回答	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0

【問 22（2）子ども中高生プラザを利用しなくなった理由×問 3 居住地区別】

	n	勉強や部活が忙しいから	仕事（アルバイト含む）が忙しいから	一緒に行く人（友人など）がいなくなつたから	仲がよかつたから	スタツフと関係がよくないから	周りに人がいるのが気に入らなかつたから	利用していることを周囲の人に知られたくないから	施設の名称が好みではないから	その他	特に理由はない	無回答
居住地区別												
全体	325	54.5	2.5	40.0	4.9	1.5	6.2	1.8	0.6	12.9	18.8	2.5
芝地区	32	56.3	3.1	31.3	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	31.3	3.1
麻布地区	56	53.6	1.8	42.9	5.4	1.8	7.1	1.8	1.8	12.5	12.5	0.0
赤坂地区	35	57.1	2.9	51.4	2.9	2.9	8.6	2.9	0.0	20.0	17.1	2.9
高輪地区	112	53.6	4.5	37.5	5.4	1.8	8.0	0.9	0.9	15.2	17.9	2.7
芝浦港南地区	86	54.7	0.0	40.7	5.8	1.2	4.7	3.5	0.0	9.3	20.9	3.5
無回答	4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

【問 22（2）子ども中高生プラザを利用しなくなった理由×問4居住年数別】

	n	勉強や部活が忙しいから	忙しい（アルバイト含む）が	一緒に行く人（友人など）がいなくなってきたから	仲がよくなったから	スタッフが関係がよくないから	周りの人がいるのが気に入らないから	利用していることを周囲の人に知られたくないから	施設の名称が好みではないから	その他	特に理由はない	無回答
居住年数別												
全体	325	54.5	2.5	40.0	4.9	1.5	6.2	1.8	0.6	12.9	18.8	2.5
1年未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1年以上3年未満	3	66.7	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3年以上5年未満	4	75.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
5年以上10年未満	23	52.2	4.3	43.5	4.3	0.0	13.0	0.0	0.0	8.7	17.4	0.0
10年以上15年未満	76	51.3	2.6	36.8	6.6	2.6	7.9	3.9	0.0	15.8	19.7	1.3
15年以上	217	55.8	2.3	39.6	4.1	1.4	4.6	1.4	0.9	12.0	18.9	3.2
無回答	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

【問 22（3）子ども中高生プラザを利用したことがない理由×問1（1）就学・就労状況別】

	n	行きやすい場所に	わが家からできるのかが	何ができないのかが	継続利用が面倒だから	行きたいと思わない	その他	無回答
就学・就労状況別								
全体	108	19.4	30.6	8.3	68.5	3.7	0.9	
国公立高校	20	20.0	15.0	10.0	85.0	0.0	0.0	
私立高校	78	20.5	37.2	7.7	61.5	5.1	1.3	
高等専門学校(国公立)	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
高等専門学校(私立)	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
特別支援学校	3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
専修学校・各種学校	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
公共職業能力開発施設	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
フリースクールなどの民間教育施設	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
働いている	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
働いていない	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
無回答	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	

【問 22（3）子ども中高生プラザを利用したことがない理由×問1（2）学年別】

	n	ない 行き から す い 場 所 に	わ か ら で な き い る か ら か が	何 が で な き い る か ら か が	続 き が す 面 倒 た め か ら 手	利 用 が す る た め か ら 手	い か ら た い と 思 わ な	そ の 他	無 回 答
学年別									
全体	104	19.2	30.8	7.7	68.3	3.8	1.0		
1年	34	14.7	44.1	17.6	64.7	2.9	0.0		
2年	36	22.2	19.4	0.0	72.2	5.6	0.0		
3年	25	12.0	28.0	4.0	72.0	4.0	4.0		
無回答	9	44.4	33.3	11.1	55.6	0.0	0.0		

【問 22（3）子ども中高生プラザを利用したことがない理由×問1（3）学校や職場の場所別】

	n	ない 行き から す い 場 所 に	わ か ら で な き い る か ら か が	何 が で な き い る か ら か が	続 き が す 面 倒 た め か ら 手	利 用 が す る た め か ら 手	い か ら た い と 思 わ な	そ の 他	無 回 答
学校や職場の場所別									
全体	106	18.9	31.1	7.5	68.9	3.8	0.9		
港区内	15	13.3	40.0	6.7	73.3	0.0	0.0		
港区外の23区	61	21.3	27.9	9.8	67.2	4.9	1.6		
都内	7	14.3	57.1	0.0	71.4	0.0	0.0		
都外	11	0.0	27.3	0.0	72.7	9.1	0.0		
その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
無回答	11	36.4	27.3	9.1	63.6	0.0	0.0		

【問 22（3）子ども中高生プラザを利用したことがない理由×問2性別】

	n	ない 行き から す い 場 所 に	わ か ら で な き い る か ら か が	何 が で な き い る か ら か が	続 き が す 面 倒 た め か ら 手	利 用 が す る た め か ら 手	い か ら た い と 思 わ な	そ の 他	無 回 答
性別									
全体	108	19.4	30.6	8.3	68.5	3.7	0.9		
男性	37	10.8	24.3	8.1	78.4	2.7	0.0		
女性	70	22.9	34.3	8.6	62.9	4.3	1.4		
答えたくない	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

【問 22（3）子ども中高生プラザを利用したことがない理由×問3居住地区別】

	n	ない 行き やすい 場所 に	わ か ら な い の か ら	何 か で き る の か ら	続 き が す 面 倒 た め だ め か ら	利 用 が す る た め だ め か ら	い か ら た い と 思 わ な	そ の 他	無 回 答
居住地区別									
全体	108	19.4	30.6	8.3	68.5	3.7	0.9		
芝地区	14	21.4	7.1	7.1	100.0	0.0	0.0		
麻布地区	23	30.4	34.8	4.3	69.6	4.3	4.3		
赤坂地区	17	5.9	58.8	5.9	47.1	5.9	0.0		
高輪地区	27	25.9	33.3	14.8	63.0	0.0	0.0		
芝浦港南地区	26	11.5	19.2	7.7	69.2	7.7	0.0		
無回答	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		

【問 22（3）子ども中高生プラザを利用したことがない理由×問4居住年数別】

	n	ない 行き やすい 場所 に	わ か ら な い の か ら	何 か で き る の か ら	続 き が す 面 倒 た め だ め か ら	利 用 が す る た め だ め か ら	い か ら た い と 思 わ な	そ の 他	無 回 答
居住年数別									
全体	108	19.4	30.6	8.3	68.5	3.7	0.9		
1年未満	6	33.3	16.7	0.0	66.7	0.0	0.0		
1年以上3年未満	3	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
3年以上5年未満	6	16.7	50.0	16.7	83.3	0.0	0.0		
5年以上10年未満	17	11.8	29.4	11.8	64.7	0.0	0.0		
10年以上15年未満	22	13.6	40.9	9.1	68.2	4.5	4.5		
15年以上	53	22.6	22.6	7.5	71.7	5.7	0.0		
無回答	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		

【問 23 居場所に求める機能×問 1（1）就学・就労状況別】

	n	行きやすい場所にある	利用方法がわかりやすい	無料で利用できる	も行きたいときにいつでも行ける	自習や読書ができる	勉強を教えてもらえる	スポーツができる	友人と話せたり、遊べたりする	Wi-Fi環境が整っている	ボランティア活動ができる
就学・就労状況別											
全体	787	71.0	44.6	77.1	60.0	56.2	30.1	38.2	52.0	65.8	13.5
国公立高校	134	76.9	41.8	80.6	59.7	62.7	31.3	32.1	56.0	72.4	16.4
私立高校	590	70.2	44.7	77.5	60.7	55.6	30.2	40.5	51.7	65.3	12.7
高等専門学校(国公立)	4	100.0	100.0	100.0	50.0	75.0	50.0	25.0	75.0	50.0	0.0
高等専門学校(私立)	10	60.0	40.0	60.0	70.0	60.0	50.0	30.0	40.0	60.0	10.0
特別支援学校	11	72.7	63.6	54.5	54.5	27.3	18.2	27.3	27.3	36.4	9.1
専修学校・各種学校	2	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	100.0	50.0	50.0
公共職業能力開発施設	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フリースクールなどの民間教育施設	2	100.0	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0
働いている	2	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0
働いていない	6	33.3	50.0	50.0	33.3	50.0	16.7	33.3	33.3	33.3	16.7
無回答	26	65.4	38.5	69.2	53.8	50.0	19.2	30.8	50.0	65.4	15.4

	違う学校の人と出会える	違う世代の人と出会える	悩みや不安を相談できる	一人でも過ごせる	食事や飲み物がある	持参したものを飲食できる	無料または安価で飲食できる	定期的にイベントがある	自分たちで企画したことができる	インターネット上で交流できる	その他	そのような場所はない	無回答
就学・就労状況別(続き)													
全体	28.3	16.1	21.5	48.2	56.4	57.6	19.3	15.4	12.8	2.9	5.0	0.8	
国公立高校	26.1	14.2	23.9	47.8	65.7	59.7	23.1	21.6	14.2	2.2	4.5	0.0	
私立高校	29.8	16.3	21.0	48.6	54.7	57.5	19.5	13.9	12.4	3.1	4.4	0.5	
高等専門学校(国公立)	25.0	0.0	50.0	50.0	50.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
高等専門学校(私立)	20.0	10.0	10.0	40.0	40.0	60.0	10.0	0.0	10.0	0.0	20.0	0.0	
特別支援学校	9.1	18.2	27.3	54.5	63.6	63.6	9.1	36.4	18.2	0.0	9.1	9.1	
専修学校・各種学校	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
公共職業能力開発施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
フリースクールなどの民間教育施設	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	100.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
働いている	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
働いていない	16.7	16.7	0.0	50.0	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	
無回答	15.4	19.2	19.2	42.3	50.0	50.0	11.5	15.4	11.5	3.8	11.5	7.7	

【問 23 居場所に求める機能×問1（2）学年別】

	n	行きやすい場所にある	利用方法がわかりやすい	無料で利用できる	も行きたいときにいつでも行ける	自習や読書ができる	勉強を教えてもらえる	スポーツができる	友人と話せたり、遊べたりする	Wi-Fi環境が整っている	ボランティア活動ができる
学年別											
全体	749	71.4	44.7	77.6	60.5	56.6	30.6	38.6	52.1	66.0	13.2
1年	246	69.1	44.7	78.0	61.4	53.3	28.5	37.0	51.2	64.6	11.0
2年	224	71.4	41.1	78.1	56.3	57.1	33.0	32.1	49.6	65.6	12.9
3年	219	74.4	50.7	77.6	64.8	60.7	30.6	46.6	57.1	68.5	16.4
無回答	60	70.0	36.7	73.3	56.7	53.3	30.0	40.0	46.7	63.3	11.7

	違う学校の人と出会う	違う世代の人と出会う	悩みや不安を相談できる	一人でも過ごせる	持ち参ったものを飲食できるスペースがある	無料または安価で飲食物の提供がある	定期的にイベントがある	自分たちで企画したことができる	インターネット上で交流できる	その他	そのような場所はいろいろ	無回答
学年別(続き)												
全体	28.7	15.8	21.6	48.5	56.6	58.1	19.8	15.4	12.8	2.8	4.7	0.5
1年	30.1	16.3	21.5	49.6	56.5	58.5	20.3	17.5	12.6	3.7	5.7	0.8
2年	31.3	15.2	21.9	49.6	58.5	58.0	20.1	14.7	15.2	2.2	5.4	0.0
3年	26.5	16.9	21.9	46.6	56.6	56.6	19.6	15.1	10.5	2.7	2.7	0.5
無回答	21.7	11.7	20.0	46.7	50.0	61.7	16.7	10.0	13.3	1.7	5.0	1.7

【問 23 居場所に求める機能×問1（3）学校や職場の場所別】

	n	行きやすい場所にある	利用方法がわかりやすい	無料で利用できる	も行きたいときにいつでも行ける	自習や読書ができる	勉強を教えてもらえる	スポーツができる	友人と話せたり、遊べたりする	Wi-Fi環境が整っている	ボランティア活動ができる
学校や職場の場所別											
全体	755	71.5	44.8	77.6	60.4	56.4	30.6	38.5	52.2	66.1	13.4
港区内	110	70.9	44.5	68.2	57.3	54.5	34.5	40.9	52.7	51.8	15.5
港区外の23区	444	71.2	45.9	81.1	60.8	57.2	27.5	34.9	52.0	68.9	13.1
都内	34	76.5	52.9	67.6	52.9	58.8	47.1	52.9	58.8	67.6	20.6
都外	77	68.8	36.4	77.9	64.9	57.1	31.2	39.0	51.9	74.0	9.1
その他	8	75.0	75.0	62.5	75.0	62.5	62.5	75.0	37.5	37.5	50.0
無回答	82	74.4	40.2	76.8	59.8	52.4	31.7	45.1	51.2	64.6	9.8

	異なる学校の人と出会える	異なる世代の人と出会える	悩みや不安を相談できる	一人でなにもせずのんびり過ごせる	持参したものを飲食できるスペースがある	無料または安価で飲食物の提供がある	定期的にイベントがある	自分たちで企画したことができる	インターネット上で交流できる	その他	そのような場所はない	無回答
学校や職場の場所別(続き)												
全体	28.9	16.0	21.7	48.3	56.7	58.0	19.7	15.5	12.8	2.8	4.6	0.5
港区内	25.5	19.1	29.1	46.4	51.8	55.5	18.2	18.2	16.4	6.4	7.3	1.8
港区外の23区	28.4	15.3	20.0	50.2	61.3	58.6	20.5	15.8	13.7	1.8	4.1	0.2
都内	52.9	17.6	20.6	47.1	47.1	64.7	29.4	17.6	11.8	5.9	5.9	0.0
都外	31.2	16.9	24.7	48.1	50.6	55.8	18.2	11.7	9.1	3.9	2.6	1.3
その他	50.0	25.0	12.5	37.5	25.0	37.5	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	22.0	13.4	19.5	42.7	51.2	59.8	15.9	11.0	8.5	1.2	6.1	0.0

【問 23 居場所に求める機能×問2性別】

	n	行きやすい場所にある	利用方法がわかりやすい	無料で利用できる	も行きたいときにいつでも行ける	自習や読書ができる	勉強を教えてもらえる	スポーツができる	友人と話せたり、遊べたりする	Wi-Fi環境が整っている	ボランティア活動ができる
性別											
全体	787	71.0	44.6	77.1	60.0	56.2	30.1	38.2	52.0	65.8	13.5
男性	326	67.2	42.0	73.9	59.5	47.2	26.4	48.8	50.9	62.0	10.7
女性	436	74.5	47.2	79.4	60.8	62.6	33.3	31.4	52.8	68.6	15.1
答えたくない	19	73.7	36.8	84.2	57.9	63.2	31.6	21.1	63.2	78.9	21.1
無回答	6	16.7	16.7	66.7	33.3	50.0	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7

	異なる学校の人と出会える	異なる世代の人と出会える	悩みや不安を相談できる	一人でなにもせずのんびり過ごせる	持参したものを飲食できるスペースがある	無料または安価で飲食物の提供がある	定期的にイベントがある	自分たちで企画したことができる	インターネット上で交流できる	その他	そのような場所はない	無回答
性別(続き)												
全体	28.3	16.1	21.5	48.2	56.4	57.6	19.3	15.4	12.8	2.9	5.0	0.8
男性	27.6	18.4	18.4	39.9	46.9	54.6	18.4	14.4	12.6	4.3	4.6	1.5
女性	28.7	13.8	23.6	54.1	63.1	60.1	20.9	15.8	13.1	1.6	5.5	0.2
答えたくない	31.6	26.3	31.6	63.2	78.9	57.9	5.3	26.3	15.8	10.5	0.0	0.0
無回答	33.3	33.3	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【問 23 居場所に求める機能×問3居住地区別】

	n	行きやすい場所にある	利用方法がわかりやすい	無料で利用できる	も行きたいときにいつでも行ける	自習や読書ができる	勉強を教えてもらえる	スポーツができる	たり友人と話せたり、遊べ	てWi-Fi環境が整っている	きるボランティア活動がで
居住地区別											
全体	787	71.0	44.6	77.1	60.0	56.2	30.1	38.2	52.0	65.8	13.5
芝地区	91	72.5	35.2	80.2	61.5	50.5	34.1	34.1	53.8	61.5	13.2
麻布地区	136	64.7	43.4	70.6	55.1	58.8	27.9	43.4	52.2	59.6	14.7
赤坂地区	121	72.7	52.1	75.2	63.6	57.0	34.7	37.2	52.1	66.9	13.2
高輪地区	220	72.3	42.3	77.7	55.5	56.4	27.7	39.1	53.2	65.0	11.8
芝浦港南地区	212	73.1	47.2	81.1	64.6	56.1	30.7	36.3	50.5	72.6	14.6
無回答	7	42.9	57.1	57.1	71.4	57.1	0.0	42.9	28.6	42.9	14.3

	る違う学校の人と出会える	る違う世代の人と出会える	る悩みや不安を相談できる	び一人でも過ごせる	きる一人でも食べられる	持参したものを飲食できる	物の提供または安価で飲食できる	る定期的にイベントがある	と自分たちで企画したことができる	流インターネット上で交流できる	その他	ないような場所はいろいろ	無回答
居住地区別(続き)													
全体	28.3	16.1	21.5	48.2	56.4	57.6	19.3	15.4	12.8	2.9	5.0	0.8	
芝地区	28.6	23.1	23.1	42.9	52.7	59.3	19.8	14.3	12.1	1.1	5.5	0.0	
麻布地区	29.4	17.6	18.4	47.1	47.8	53.7	18.4	16.2	11.0	1.5	5.1	1.5	
赤坂地区	32.2	15.7	21.5	47.1	62.0	55.4	15.7	15.7	16.5	2.5	4.1	0.8	
高輪地区	25.9	13.2	20.9	50.9	54.5	60.5	18.6	14.1	9.5	6.4	5.5	0.0	
芝浦港南地区	28.3	15.6	24.1	48.6	62.3	57.5	23.1	17.0	16.0	0.9	4.2	1.4	
無回答	14.3	14.3	0.0	57.1	57.1	57.1	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	

【問 23 居場所に求める機能×問4居住年数別】

	n	行きやすい場所にある	利用方法がわかりやすい	無料で利用できる	も行きたいときにいつでも行ける	自習や読書ができる	勉強を教えてもらえる	スポーツができる	たり友人と話せたり、遊べ	てWi-Fi環境が整っている	きるボランティア活動がで
居住年数別											
全体	787	71.0	44.6	77.1	60.0	56.2	30.1	38.2	52.0	65.8	13.5
1年未満	33	54.5	21.2	57.6	33.3	39.4	18.2	24.2	39.4	48.5	9.1
1年以上3年未満	41	65.9	43.9	63.4	61.0	58.5	31.7	41.5	48.8	61.0	14.6
3年以上5年未満	38	86.8	52.6	81.6	65.8	52.6	28.9	31.6	34.2	68.4	18.4
5年以上10年未満	90	65.6	43.3	72.2	62.2	53.3	24.4	35.6	43.3	57.8	16.7
10年以上15年未満	162	69.8	46.9	75.9	60.5	53.7	34.0	35.8	49.4	71.6	14.2
15年以上	420	73.3	45.0	81.2	60.5	59.0	31.0	41.0	57.9	66.9	12.1
無回答	3	33.3	66.7	66.7	100.0	66.7	0.0	66.7	33.3	66.7	33.3

	異なる学校の人と出会える	異なる世代の人と出会える	悩みや不安を相談できる	一人でなにもせずのんびり過ごせる	持参したものを飲食できスペースがある	無料または安価で飲食物の提供がある	定期的にイベントがある	自分たちで企画したことができる	インターネット上で交際できる	その他	そのような場所はない	無回答
居住年数別												
全体	28.3	16.1	21.5	48.2	56.4	57.6	19.3	15.4	12.8	2.9	5.0	0.8
1年未満	33.3	9.1	15.2	42.4	39.4	36.4	9.1	3.0	15.2	9.1	3.0	3.0
1年以上3年未満	31.7	14.6	14.6	43.9	48.8	58.5	17.1	29.3	17.1	4.9	0.0	2.4
3年以上5年未満	23.7	10.5	21.1	52.6	60.5	50.0	15.8	7.9	13.2	5.3	7.9	0.0
5年以上10年未満	20.0	16.7	23.3	42.2	47.8	52.2	18.9	15.6	7.8	2.2	6.7	1.1
10年以上15年未満	27.8	17.3	23.5	47.5	58.6	63.6	22.8	16.0	12.3	1.9	5.6	0.6
15年以上	30.0	16.7	21.7	49.8	59.0	58.6	19.5	15.5	13.6	2.6	4.8	0.5
無回答	33.3	33.3	0.0	100.0	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3 調査票

(1) 高校生世代

①日本語

港区高校生世代意識調査（アンケート）
【高校生世代の皆さんへ】

港区では、高校生世代の皆さんが家庭や学校のほかに、思春期特有の悩みや不安などを相談でき、本音を言うことができる安全で安心して過ごせる第三の居場所を新しく作ることを検討しています。

このアンケートは、皆さんが日常生活や日ごろ考えていることを知ることで、皆さんが必要としている支援や困窮づくりに区が取り組んでいくために使うものです。

アンケートは、無記名でご返信いただくため、個人が特定されることはありませんので、安心してお答えください。令和5年3月1日を基準日として、港区に住んでいる高校生世代（平成16年4月2日～平成19年4月1日生まれ）の皆さんを抽出しています。高校在学の有無に関わらず、皆さんがアンケートの対象となります。

アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年3月
港区子ども家庭支援部子ども家庭課

1 回答にあたってのお願い

- 令和5年4月4日（火）までにご回答ください。
- 回答は、「インターネット」または《郵送》の2つの方法があります。
- 「インターネット」の場合は、指定のURL・二次元コードを通してご回答ください。
- 《郵送》の場合は、同封の返信用封筒（切手不要）にて郵便ポストに投函してください。
- 両方の回答は、封筒のおてぐるご本人が回答くださるようお願いいたします。
- 詳細な回答方法は、次項「具体的な回答方法」をご参照ください。

② 郵送による回答方法

- えんぴつやボールペン等でこの調査票に同封ご記入ください。
- 選択式の質問では、あてはまる選択肢の番号に○を二記入ください。
- 選択式ではない質問では、文字を回答欄にご記入ください。
- 「その他」の回答については、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。（切手不要、氏名等記入不要です）

3 お問い合わせ先

【住 所】〒105-8511 港区芝公園1丁目5番25号
 【担 当 課】港区子ども家庭支援部子ども家庭課
 【電 話】03-3578-2434 【FAX】03-3578-2384
 【受付時間】平日8：30～17：00

1 あなたについて

問1 (1) あなたの現在の状況についてお聞きします。 ※令和5年3月1日時点
就学されている方は1～8、就学されていない方は9・10のいずれかを選択してください。
なお、「1 国公立高校」か「2 私立高校」の場合は、次の右側の(1)から(3)のいずれかを選択してください。(○は1つ)

就学している	全日制・定時制・通信制のどちらか		
	(1) 全日制	(2) 定時制	(3) 通信制
1 国公立高校	(1) 全日制	(2) 定時制	(3) 通信制
2 私立高校	(1) 全日制	(2) 定時制	(3) 通信制
3 高等専門学校(国公立)	/		
4 高等専門学校(私立)			
5 特別支援学校			
6 専修学校・各種学校			
7 公共職業能力開発施設			
8 フリースクールなどの民間教育施設			
就学していない			
9 働いている			
10 働いていない(⇒問2へ)			

問1 (1)で「1 国公立高校」から「5 特別支援学校」のいずれかを選択した方のみお答えください。

問1 (2) 学年をお教えてください。(○は1つ)

1 1年	2 2年	3 3年
------	------	------

問1 (1)で「1 国公立高校」から「9 働いている」のいずれかを選択した方のみお答えください。

問1 (3) あなたの通っている学校または職場はどこにありますか。(○は1つ)

1 港区内	4 都外 () 県
2 港区外の23区 () 区	5 その他 ()
3 都内 () 市	

みずきにお聞きします。

問2 性別をお教えてください。(○は1つ)

1 男性	2 女性	3 答えたくない
------	------	----------

問3 あなたのお住まいはどの地区ですか。(○は1つ)

- 芝地区：(芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1～3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、豊台)
- 麻布地区：(麻布理髪町、麻布永福町、南麻布、元麻布、西麻布、六本木、麻布台、麻布十番、栗麻布)
- 赤坂地区：(元赤坂、赤坂、南青山、北青山)
- 高輪地区：(三田4・5丁目、高輪、白金、白金台)
- 芝浦沿岸地区：(芝浦、海岸2・3丁目、岩崎、台場)

問4 港区での通算の居住年数を教えてください。(○は1つ)

- 1 1年未満
- 2 1年以上3年未満
- 3 3年以上5年未満
- 4 5年以上10年未満
- 5 10年以上15年未満
- 6 15年以上

問5 あなたが現在一緒に住んでいる家族の内訳を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1 父親	4 きょうだい (⇒問6へ)
2 母親	5 その他 ()
3 祖父母	

1 問6は、問5で「4 きょうだい」を選択した方のみお答えください。

問6 あなたのきょうだいの構成についてお聞きします。

問6 (1) あなたは、何人きょうだいですか。(○は1つ)

1 2人きょうだい	3 4人きょうだい
2 3人きょうだい	4 その他 () 人きょうだい

問6 (2) あなたは、きょうだいの何歳目ですか。(○は1つ)

1 1番目	4 4番目
2 2番目	5 その他 () 番目
3 3番目	

問7 (1)で「就学している」(「1 国公立高校」から「8 フリースクールなどの民間教育施設」)のいずれかを選択した方のみお答えください。

問7 あなたは、部活動をしていますか。(○は1つ)

1 している	2 していたが、やめた	3 全くしていない
--------	-------------	-----------

みなさんにお聞きします。

問8 あなたが、学校や職場以外で所属し活動しているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------------|------------------------------|
| 1 ボランティア活動 | 4 インターネット上のコミュニティ(SNS上のグループ) |
| 2 文化活動(料理や美術、音楽などのサークルなど) | 5 その他() |
| 3 スポーツ活動(地域のスポーツクラブや民間のスポーツジムなど) | 6 団体に所属して活動しているものはない |

問9 あなたは、アルバイトをしたことはありますか。(現在している場合も含む)(○は1つ)

- 1 ある ()
2 ない ()

問9 (1) と問9 (2) は、問9で「1 ある」を選択した方のみお答えください。

問9 (1) アルバイトの内容を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------|
| 1 スーパーマーケット | 3 飲食店 |
| 2 コンビニエンスストア | 4 その他() |

問9 (2) アルバイトを始めた理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 自由に使えるお金がほしいから | 5 現在の学費(給・予備校を含む)のため |
| 2 社会勉強の一環として | 6 家計を助けるため(生活費) |
| 3 将来の学費のため(留学を含む) | 7 その他() |
| 4 将来やりたいことのため | |

みなさんにお聞きします。

問10 次のことについて、自分にあてはまるものに○をつけてください。(それぞれに1つ○)

	あてはまる	まああてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない
(ア) 学校が楽しいと思う	1	2	3	4
(イ) 今の生活(学校生活は除く)に満足している	1	2	3	4
(ウ) 自分のことが好きである	1	2	3	4
(エ) 家族のことが好きである	1	2	3	4
(オ) 他人から必要とされている	1	2	3	4
(カ) 友人関係は広いほうだ	1	2	3	4
(キ) 何でも話せる・相談できる相手がいる	1	2	3	4
(ク) 自分は孤独だと感じる	1	2	3	4
(ケ) 自分自身を大切に思っている	1	2	3	4
(コ) 自分が住む地域のために自分の力を働かせたいと思う	1	2	3	4
(ヤ) 社会を自分の力で変えられたいと思う	1	2	3	4
(シ) 将来やりたいことや夢がある	1	2	3	4
(ス) 将来、結婚したいと思う	1	2	3	4
(セ) 将来、子どもがほしいと思う	1	2	3	4

問11 あなたの今後の進路について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 大学に進学する(したい) | 4 就職(自営業を含む)する(したい) |
| 2 専門学校に進学する(したい) | 5 その他() |
| 3 海外に留学する(したい) | 6 わからない |

2 普段の生活について

問12 一緒に住んでいる家族との関係性について教えてください。(それぞれに1つ○)

	良好	まあ良好	どちらでもない	あまり良好ではない	該当しない
(ア) 父親	1	2	3	4	5
(イ) 母親	1	2	3	4	5
(ウ) 祖父母	1	2	3	4	5
(エ) きょうだい	1	2	3	4	5
(オ) その他()	1	2	3	4	5

問13 あなたは、単独家族などのようにかわかっていきますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 ご飯を食べる
- 2 テレビや映画をみる
- 3 買い物に行く
- 4 スポーツをする
- 5 旅行をする
- 6 友人関係について話す
- 7 性格について話す
- 8 外見について話す
- 9 学校生活のことについて話す
- 10 勉強を教えてもらう・教える
- 11 道路や将来について話す
- 12 恋愛について話す
- 13 体や性について話す
- 14 仕事(アルバイト含む)について話す
- 15 その他()
- 16 ほとんどかわからない

問14 あなたは、普段何をしている時が楽しいと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 勉強をしている時
- 2 読書をしている時
- 3 テレビを見ている時
- 4 家族と一緒にいる時
- 5 部活をしている時
- 6 LINE やインスタグラム等 SNS を利用している時
- 7 インターネットで動画やウェブサイトをみている時
- 8 カラオケをしている時
- 9 友人と会っている時
- 10 恋人と会っている時
- 11 スポーツをしている時
- 12 食事をしている時
- 13 ゲームをしている時
- 14 ボランティア活動をしている時
- 15 仕事(アルバイトを含む)をしている時
- 16 その他()
- 17 楽しいと感じることがない

3 悩みや居場所について

問15 現在抱えている悩みはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 勉強や成績に関すること
- 2 道路や将来に関すること
- 3 学校のこと(部活動を含む)
- 4 家族との関係・家庭環境のこと
- 5 友人関係のこと
- 6 恋愛に関すること
- 7 体や性に関すること
- 8 性格に関すること
- 9 外見に関すること
- 10 政治や社会情勢に関すること
- 11 仕事(アルバイト)に関すること
- 12 その他()
- 13 悩んでいることはない

問16 あなたは、悩みを抱えた時、誰に(どこに)相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 父親
- 2 母親
- 3 きょうだい
- 4 祖父母
- 5 その他親族
- 6 友人
- 7 恋人
- 8 学校の先生
- 9 親や予備校の先生
- 10 部活動や習い事の仲間
- 11 職場(アルバイト含む)の上司や同僚
- 12 区役所や公共施設の窓口・職員
- 13 「みなと子ども相談ねっと」
- 14 13以外のインターネットの掲示板や相談サイト
- 15 インターネット上の友人・知人
- 16 その他()
- 17 相談しない(⇒問16(2)×)



「みなと子ども相談ねっと」とは、港区に住む18歳未満の子どもなら誰でも、携帯電話、スマートフォン、パソコンから登録して相談できるシステムです。
名前を言わなくても相談できます。
※各種相談窓口については、二次窓口からお問い合わせいただけます。

問16で「1 父親」と「2 母親」のいずれかまたは両方を選択した場合のみお答えください。

問16(1) あなたは、あなたのお父さんまたはお母さんに悩みを相談するとき、どの程度話しますか。

- (○は1つ)
- 1 詳細まですべて話す
 - 2 悩みの概要のみを話す
 - 3 悩みがあることだけを伝える

⇒問17A

問16で「17 相談しない」を選択した方のみお答えください。

問16(2) 相談しないのはなぜですか。理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 相談するほどなことではないから
- 2 悩みを知られたくないから
- 3 相談するのが面倒だから
- 4 何を問われるか不安だから
- 5 うまく伝えられないから
- 6 相談していることを知られたくないから
- 7 相談しても解決しないと思うから
- 8 相談する相手かいないから
- 9 その他()

みなさんにお聞きします。

問17 どのような方法であれば相談しやすいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 対面で直接
- 2 電話
- 3 スマホやパソコンのメール
- 4 LINE やインスタグラムなどのSNS
- 5 インターネットの掲示板やチャット
- 6 その他()

問18 あなたが悩みについて誰か（どこか）に相談するとき、相談先を誰が基準として重視することはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 ただ話を聞いてくれる | 5 費用の負担がない |
| 2 アドバイスをしてくれる | 6 いつでも相談できる |
| 3 秘密を守ってくれる | 7 その他（ ） |
| 4 利用方法がわかりやすい | 8 特になし |

問19 普段居心地がよいと感じる場所がありますか。（○は1つ）

- 1 ある 2 ない（⇒問19（4）へ）

問19（1）から問19（3）は、問19で「1 ある」を選択した方のみお答えください。

問19（1）あなたが居心地がよいと感じる場所は、どこですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1 自宅 | 11 本屋、CD・DVDショップ |
| 2 友人の家 | 12 ショッピングモール |
| 3 学校 | 13 地域のスポーツクラブや民間のスポーツジム |
| 4 基・予備校 | 14 区立図書館 |
| 5 勤務先（アルバイト含まない） | 15 港区スポーツセンター |
| 6 アルバイト先 | 16 その他区立の公共施設 |
| 7 部活動や習い事の場所 | 17 インターネット上のオンライン空間（SNSやオンラインゲームなど） |
| 8 公園 | 18 オンラインコミュニティ（オンラインサロンなど） |
| 9 ファストフード店やコンビニエンスストア | 19 その他（ ） |
| 10 ゲームセンターやカラオケボックスなどのエンターテインメント施設 | |

問19（2）問19（1）で選択した場所はどこにありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------|----------|
| 1 港区内 | 4 都外（ ）県 |
| 2 港区外23区（ ）区 | 5 その他（ ） |
| 3 都内（ ）市 | |

問19（3）問19（1）で選択した場所が居心地がよいと感じる理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 いつでも行きたいときに行ける | 6 新しいことややりたいことに挑戦できる |
| 2 一人で過ごせる | 7 悩み事の相談ができる |
| 3 何もせずのんびりできる | 8 違う世代の人と出会える |
| 4 ありのままでもいいから、自分を否定されない | 9 その他（ ） |
| 5 好きなことを自由にして過ごせる | |

問19で「2 ない」と回答した方のみお答えください。

問19（4）居心地がよいと感じる場所がないと思うのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1 住んでいる地域にそのような場所がないから | 4 行きたいときに開いていないから |
| 2 行きたいが、行くのに時間がかかるから | 5 必要だと感じないから |
| 3 行きたいが、行くのにお金がかかるから | 6 その他（ ） |

みなさんにお聞きます。

問20 どのような場所であれば行ってみたい、行きやすいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1 いつでも行きたいときに行ける | 7 悩み事の相談ができる |
| 2 一人で過ごせる | 8 違う世代の人と出会える |
| 3 何もせずのんびりできる | 9 その他（ ） |
| 4 ありのままでもいいから、自分を否定されない | 10 特になし |
| 5 好きなことを自由にして過ごせる | |
| 6 新しいことややりたいことに挑戦できる | |

問21 あなたには、普段一緒にいて居心地がよいと感じる人はいますか。（○は1つ）

- 1 いる 2 いない（⇒問22へ）

問21（1）と問21（2）は、問21で「1 いる」を選択した方のみお答えください。

問21（1）あなたが居心地がよいと感じる人は誰ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------|---------------------|
| 1 父親 | 8 学校の先生 |
| 2 母親 | 9 塾や予備校の先生 |
| 3 きょうだい | 10 部活動や習い事の仲間 |
| 4 祖父母 | 11 職場（アルバイト含む）の人 |
| 5 その他親族 | 12 区役所や公共施設の窓口・職員 |
| 6 友人 | 13 インターネット上で繋がっている人 |
| 7 恋人 | 14 その他（ ） |

問21（2）居心地がよいと感じる相手はどのような人ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1 会いたい時いつでも会える | 4 一緒にいると安心する |
| 2 信頼できる、なんでも話せる | 5 尊敬できる |
| 3 お互いにも話さなくても気まずくならない | 6 その他（ ） |

4. 区の施設について

区立の子ども中高生プラザについて

港区には、高校生世代の子どもが利用できる子ども中高生プラザがあります。子ども中高生プラザとは、18歳未満の児童・生徒を対象とした施設で、体育館や音楽室、図書室やスタジアムなどがあり、高校生世代の子どもがスポーツや音楽活動などで利用しやすい環境が整っています。施設は子ども中高生プラザ：神宮前子ども中高生プラザ、新子子ども中高生プラザ、赤坂子ども中高生プラザ、赤坂子ども中高生プラザ：神宮前、赤坂子ども中高生プラザ、港南子ども中高生プラザ、芝浦子ども中高生プラザ、芝浦子ども中高生プラザ



(二次元コード)

みなさんにお聞きします。

問2.2 あなたは、港区にある「子ども中高生プラザ」のことを知っていましたか。(○は1つ)

1 知っていた	2 知らなかった(=問2.3へ)
---------	------------------

問2.2で「1」を知っていた」を選択した方のみお答えください。

問2.2 (1) あなたは、港区にある「子ども中高生プラザ」をいつまで利用していましたか。(○は1つ)

1 小学生になるまで利用していた	4 現在も利用している(=問2.3へ)
2 小学生の間まで利用していた	5 これまで利用したことはない(=問2.2 (3)へ)
3 中学生の間まで利用していた	

問2.2 (1) で「1」小学生になるまで利用していた」から「3」中学生の間まで利用していた」のいずれかを選択した方のみお答えください。

問2.2 (2) あなたが、子ども中高生プラザを利用することをやめたのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

1 勉強や部活が忙しいから	7 利用していることを周囲の人に知られなくなる
2 仕事(アルバイト含む)が忙しいから	8 施設の名前が聞き覚えがないから
3 一緒に行く人(友人など)がいなくなったりから	9 その他()
4 仲がよくなったスタッフがなくなったりから	10 特に理由はない
5 スタッフと関係がよくなるから	
6 同様に人がいるのが気になるようになったから	

=問2.3へ

問2.2 (1) で「5」これまで利用したことはない」を選択した方のみお答えください。

問2.2 (3) 利用したことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 行きやすい場所がないから	4 行きたいと思わないから
2 何かできるかがわからないから	5 その他()
3 利用するための手続きが面倒だから	

11

港区では、高校生世代の皆さんが家庭や学校のほかに、希望する時間帯や場所の指定が可能な施設やサービスを提供しています。安心して過ごせる「第三の居場所」を新しく作ることを検討しています。皆さんの考える第三の居場所について、ぜひ教えてください。

問2.3 港区内に新しく高校生世代の皆さんの居場所をつくることしたら、どのような場所であれば行ってみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1 行きやすい場所がある	13 悩みや不安を相談できる
2 利用方法がわかりやすい	14 一人でも大丈夫な環境がある
3 無料で利用できる	15 持参したものを飲食できるスペースがある
4 行きたいときにいつでも行ける	16 無料または安価で飲食物の提供がある
5 自習や読書ができる	17 定期的にイベントがある
6 勉強を助けてもらえる	18 自分たちで企画したことができる
7 スポーツができる	19 インターネット上で交流できる
8 友人と話せたり、遊べたりする	20 その他()
9 駅-FI施設が整っている	21 そのような場所はいい
10 ボランティア活動ができる	
11 違う学校の人と出会える	
12 違う世代の人と出会える	

5 その他

問2.4 最後に、高校生世代の居場所づくりについて、区に求めることや期待することがありましたら、ご自由に記入ください。

以上でアンケートは終わります。ご協力いただきありがとうございます。

12

1 About yourself

Q1 (1) Please tell us about your current situation. *As of March 1, 2023.
Please select the answer that describes you from 1-8 if you are enrolled in school, and 9-10 if you are not.
If you selected either "1 National or public high school" or "2 Private high school," please also select one item from (1) to (3). (Circle one of the following options).

	Enrolled in school		Full-time, part-time, or by correspondence	
	(1) Full-time	(2) Part-time	(3) Correspondence	(4) Correspondence
1 National or public high school				
2 Private high school				
3 Technical college (national or public)				
4 Technical college (private)				
5 Special needs school				
6 Specialized training/miscellaneous school				
7 Public human resources development facility				
8 Free school or other private-sector educational facility				
Not enrolled in school				
9 Working				
10 Not working (⇒ go to Q2)				

If you chose any answer from "1 National or public high school" to "8 Special needs school," in Q1 (1):

Q1 (2) What year are you in school? (Circle one of the following options)

1 First year 2 Second year 3 Third year

If you chose any answer from "1 National or public high school" to "9 Working," in Q1 (1):

Q1 (3) Where do you go to school or work? (Circle one of the following options)

1 Mito City 4 Outside of Tokyo
 2 In another of the central 23 wards (prefecture)
 (ward/city) 5 Other ()
 3 Another part of Tokyo (city)

The following questions are for everyone.

Q2 What is your gender? (Circle one of the following options)

1 Male 2 Female 3 Prefer not to answer

Q3 Which area of Mito City do you live in? (Circle one of the following options)

- 1 Shiba (Shiba, Kaigan 1-chome, Higashi-shimbashi, Shimbashi, Nishi-shimbashi, Mita 1 to 3-chome, Hanamitsubo, Shibafutano, Shibakusa, Tomonouchi, Atago)
- 2 Azabu (Azabu mainmachi, Azabu nagasakicho, Minami-azabu, Moto-azabu, Nishi-azabu, Roppongi, Azanuchi, Azabu-juban, Higashi-azabu)
- 3 Akasaka (Moto-akasaka, Akasaka, Minami-oyama, Kitaroyama)
- 4 Takasawa (Mita 4 to 5-chome, Takasawa, Shirokane, Shirokanedai)
- 5 Shibaura-konan (Shibaura, Kaigan 2 to 3-chome, Konan, Daiba)

Q4 What is the total number of years you have lived in Mito City? (Circle one of the following options)

- 1 Less than 1 year 4 More than 5 years but less than 10 years
- 2 More than 1 year but less than 3 years 5 More than 10 years but less than 15 years
- 3 More than 3 years but less than 5 years 6 More than 15 years

Q5 Please tell us which family members you live with right now. (Circle all that apply from the following options)

- 1 Father 4 Siblings (⇒ go to Q6))
 2 Mother
 3 Grandparent(s) 5 Other ()

If you chose "4 Siblings" in Q5:

Q6 Please tell us about your brothers or sisters.

Q6 (1) How many siblings are there in your family? (Circle one of the following options)

- 1 Two including me 3 Four including me
 2 Three including me 4 Other (siblings including me)

Q6 (2) What is your age order among your siblings? (Circle one of the following options)

- 1 Oldest 4 Fourth oldest
 2 Second oldest 5 Other (oldest)
 3 Third oldest

If you chose any answer from "1 National or public high school" to "8 Free school or other private-sector educational facility," in Q1 (1):

Q7 Do you belong to any school clubs? (Circle one of the following options)

- 1 Yes 2 I was, but I quit 3 Not now or ever

The following questions are for everyone.

Q8 Do you have any affiliations or do any activities outside of school or work? (Circle all that apply from the following options)

- 1 Volunteer activities
- 2 Cultural activities (cooking, art, or music circles, chat rooms, etc.)
- 3 Sports activities (community sports club or privately owned gym, etc.)
- 4 Online community (social media groups or online chat rooms, etc.)
- 5 Other ()
- 6 Not active in any organization

Q9 Have you ever had a part-time job? (Including now) (Circle one of the following options)

- 1 Yes
- 2 No (Go to Q10)

If you chose "1 Yes" in Q9, please answer Q9 (1) and Q9 (2).

Q9 (1) What kind of part-time job have you had? (Circle one of the following options)

- 1 Supermarket
- 2 Convenience store
- 3 Restaurant
- 4 Other ()

Q9 (2) Why did you decide to start your part-time job? (Circle all that apply from the following options)

- 1 Wanted to earn money to spend freely
- 2 To prepare for life in the community
- 3 For future school costs (including study abroad)
- 4 It's what I want to do in the future
- 5 Current school costs (including cram school or prep school)
- 6 To help my family (with living expenses)
- 7 Other ()

The following questions are for everyone.

Q10 Please circle the best response to each statement. (Circle one applicable option from each item)

	Agree	Agree somewhat	Neutral	Disagree somewhat	Disagree
a. I think school is fun.	1	2	3	4	5
b. I'm satisfied with my life right now (excluding school).	1	2	3	4	5
c. I like myself.	1	2	3	4	5
d. I like my family.	1	2	3	4	5
e. I'm accepted by others.	1	2	3	4	5
f. I have a large circle of friends.	1	2	3	4	5
g. I have someone I can talk to or get advice on about anything.	1	2	3	4	5
h. I feel lonely.	1	2	3	4	5
i. No one understands me.	1	2	3	4	5
j. I want to use my abilities to help my local community.	1	2	3	4	5
k. I think I have the ability to change society.	1	2	3	4	5
l. I have a dream or something I want to do in the future.	1	2	3	4	5
m. I want to get married in the future.	1	2	3	4	5
n. I want to have children in the future.	1	2	3	4	5

Q11 What do you see in your future? (Circle all that apply from the following options)

- 1 Enter university (want to)
- 2 Enter a vocational school (want to)
- 3 Study abroad (want to)
- 4 Find a job (including being self-employed) (want to)
- 5 Other ()
- 6 Don't know

2 About your daily life

Q12 Please tell us about the relationship you have with the family members you live with. (Circle one applicable option for each item)

	(good)	Somewhat at good	Not really good	Somewhat at bad	Dad	N/A
a. Father	1	2	3	4	5	6
b. Mother	1	2	3	4	5	6
c. Grandparent(s)	1	2	3	4	5	6
d. Sibling(s)	1	2	3	4	5	6
e. Other ()	1	2	3	4	5	6

Q13. How do you usually interact with your family? (Circle all that apply from the following options)

- 1 Eating meals together
- 2 Watching TV or movies
- 3 Going shopping
- 4 Playing sports
- 5 Traveling
- 6 Talking about relationships with friends
- 7 Talking about my personality
- 8 Talking about my appearance
- 9 Talking about school life
- 10 Helping me with studies, teaching me
- 11 Talking about university and my future
- 12 Talking about love or dating
- 13 Talking about the body or sex
- 14 Talking about work (including part-time jobs)
- 15 Other ()
- 16 We hardly ever interact

Q14. What do you usually have fun doing? (Circle all that apply from the following options)

- 1 Studying
- 2 Reading
- 3 Watching TV
- 4 Being with my family
- 5 Doing club activities
- 6 Using social media like LINE or Instagram
- 7 Looking at videos or websites online
- 8 Doing karaoke
- 9 Meeting up with my friends
- 10 Meeting up with my boyfriend/girlfriend
- 11 Playing sports
- 12 Tasting
- 13 Playing video games
- 14 Doing volunteer activities
- 15 Working at my job (including part-time jobs)
- 16 Other ()
- 17 I never feel like I'm having fun

3 About your concerns and the place where you feel at ease

Q15. What concerns do you have right now? (Circle all that apply from the following options)

- 1 Issues related to studying or grades
- 2 Issues related to going to university or the future
- 3 School-related (including club activities)
- 4 Relationship with family/home environment
- 5 Relationship with friends
- 6 Issues related to love or dating
- 7 Issues related to my body or sex
- 8 Issues related to my personality
- 9 Issues related to my appearance
- 10 Issues related to politics or the state of society
- 11 Job-related issues (including part-time jobs)
- 12 Other ()
- 13 I don't have any concerns

Q16. Who do you ask for advice (where do you go) when you have a problem? (Circle all that apply from the following options)

- 1 Father
- 2 Mother
- 3 Sibling
- 4 Grandparent
- 5 Other relative
- 6 Friend
- 7 Boyfriend/girlfriend
- 8 Teacher at my school
- 9 Teacher at my cram school or prep school
- 10 Friends from club activities or lessons
- 11 Boss or coworker at my job (including part-time jobs)
- 12 Counselor person or staff at a Minato City office or public facility
- 13 Minato Kids Consultation Website
- 14 A different internet message board or counseling website
- 15 Online friends or acquaintances
- 16 Other ()
- 17 Nobody (sign in Q16(2))



*The Minato Kids Consultation Website is a system in which anyone who lives in Minato City and is under the age of 18 can sign up for consultation services by phone, smartphone, or computer.

You do not have to give your name to get consultation.

*Scan the two-dimensional code to read about the various consultation resources available.

List of consultation resources
20:422 and 4242 (staff)
(Minato City website)

If you chose either or both of "1 Father" or "2 Mother" in Q16:

Q16 (1). To what extent do you talk to your father or mother about your problems? (Circle one of the following options.)

- 1 I tell them everything in detail
- 2 I only provide a general overview of the problem
- 3 I only tell them I have a problem

→Go to Q17

If you chose "17 Nobody" in Q16:

Q16 (2). Why is it that you haven't asked for advice? (Circle all that apply from the following options)

- 1 It's not something I need to ask for advice about
- 2 I don't want people to know about my problem
- 3 It's a hassle to ask for advice
- 4 I'm worried about what they might ask me
- 5 I can't communicate it well
- 6 I don't want people to know that I am asking for advice
- 7 I don't think it will fix the problem even if I ask
- 8 I have nobody who I can ask for advice
- 9 Other ()

The following questions are for everyone.

Q17 What methods do you think would make it easier to ask for advice? (Circle all that apply from the following options.)

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1 Directly in person | 4 Social media (LINE, Instagram, etc.) |
| 2 Over the phone | 5 Online message board or chat room |
| 3 Smartphone or computer email | 6 Other () |

Q18 When you ask someone (go somewhere) to get advice about a problem, what factors are important for you in choosing who (where) to go to? (Circle all that apply from the following options.)

- | | |
|--|---------------------------|
| 1 A person (places) to just listen | 5 Free to use |
| 2 A person (places) to give me advice | 6 Can be used at any time |
| 3 A person (places) that will keep it secret | 7 Other () |
| 4 Easy to understand how to use | 8 Nothing in particular |

Q19 Do you have a place where you usually feel at ease? (Circle one of the following options.)

- | | |
|-------|-------------------|
| 1 Yes | 2 No (→to Q19(4)) |
|-------|-------------------|

If you chose "1 Yes" in Q19, please answer Q19(1) to Q19(3).

Q19(1) Where do you usually feel at ease? (Circle all that apply from the following options.)

- | | |
|--|--|
| 1 At home | 11 Bookstore, CD or DVD shop |
| 2 Friend's house | 12 Shopping mall |
| 3 School | 13 Community sports club or a privately owned gym |
| 4 Crm school or prep school | 14 Public library |
| 5 Workplace (not including part-time jobs) | 15 Minato City sports center |
| 6 Part-time workplace | 16 Another Minato City public facility |
| 7 The place where I do club activities or lessons | 17 Online spaces such as social media, online games, etc.) |
| 8 Park | 18 Online community (online chat rooms, etc.) |
| 9 Fast food restaurant or convenience store | 19 Other () |
| 10 Entertainment facility such as an arcade or karaoke booth | |

Q19(2) Where are the places you selected in Q19(1) located? (Circle all that apply from the following options.)

- | | |
|--|--------------------|
| 1 In Minato City | 4 Outside of Tokyo |
| 2 In another of the 23 central wards () | 5 Other () |
| 3 Another part of Tokyo city () | |

Q19(3) Why do the places you selected in Q19(1) make you feel at ease? (Circle all that apply from the following options.)

- | | |
|--|--|
| 1 I can go there whenever I want to | 6 I can try doing new things and things I want to do |
| 2 I can spend time there by myself | 7 I can get advice about my problems |
| 3 I can relax and not have to do anything | 8 I can meet people from different generations |
| 4 I can be myself without denying who I am | 9 Other () |
| 5 I can spend my free time doing things I like | |

If you chose "2 No" in Q19,

Q19(4) Why do you think there isn't anywhere that you feel at ease? (Circle all that apply from the following options.)

- | | |
|--|---|
| 1 There are no places like that where I live | 4 These places are not open when I want to go |
| 2 I want to go, but it takes too much time | 5 Because I don't think it is necessary |
| 3 I want to go, but it costs too much money | 6 Other () |

The following questions are for everyone.

Q20 Tell us about the kind of place you would like to go if it existed, or which would be easy for you to go to. (Circle all that apply from the following options.)

- | | |
|--|--|
| 1 I can go there whenever I want to | 7 I can get advice about my problems |
| 2 I can spend time there by myself | 8 I can meet people from different generations |
| 3 I can relax and not have to do anything | 9 Other () |
| 4 I can be myself without denying who I am | 10 Nothing to participate |
| 5 I can spend my free time doing things I like | |
| 6 I can try new things and things I want to do | |

Q21 Is there someone who usually makes you feel at ease when you are together? (Circle one of the following options.)

- | | |
|-------|-------------------|
| 1 Yes | 2 No (→go to Q22) |
|-------|-------------------|

If you chose "1 Yes" in Q21, please answer Q21(1) and Q21(2).

Q21(1) Who makes you feel at ease? (Circle all that apply from the following options.)

- | | |
|------------------|---|
| 1 Father | 8 Teacher at my school |
| 2 Mother | 9 Teacher at my crm school or prep school |
| 3 Sibling | 10 Friends from club activities or lessons |
| 4 Grandparent | 11 People from work (including part-time jobs) |
| 5 Other relative | 12 Contact person or staff at the Minato City office or a public facility |
| 6 Friend | 13 People I knew from online |
| 7 Boy/girlfriend | 14 Other () |

Q21 (2) What kind of people do you feel at ease around? (Circle all that apply from the following options)

- 1 Someone I can meet up with whenever I want to
- 2 Someone I can trust and talk to about anything
- 3 Someone I can be with and it doesn't feel awkward if we aren't saying anything to each other
- 4 Someone who I feel safe with
- 5 Someone I can respect
- 6 Other ()

4. About facilities in Minato City

About Minato City's Kids-to-Teens Hall facilities

Minato City has Kids-to-Teens Halls and other similar facilities that children of high school age can use. Kids-to-Teens Hall facilities are for children and students under the age of 18 and include facilities such as gymnasiums, assembly rooms, libraries and studios that high school students can use for sports, music, and other activities.

(Minato City Kids-to-Teens Hall facilities: Shinmisi Kids-to-Teens Hall, Aoba Kids-to-Teens Hall, Akasaka Kids-to-Teens Hall, Akasaka Kids-to-Teens Hall, Aoyama Hall, Okanawa Kids-to-Teens Hall, Kenan Kids-to-Teens Hall, Shibuya Island Children and Senior Citizens Plaza)



(two-dimensional code)

The following question is for everyone.

Q22 Are you aware of Minato City's Kids-to-Teens Hall facilities? (Circle one of the following options)

- 1 Yes
- 2 No (=>Go to Q23)

If you chose "1 Yes" in Q22:

Q22 (1) When did you find out about Minato City's Kids-to-Teens Hall facilities? (Circle one of the following options)

- 1 I used one before I was in elementary school
- 2 I used one when I was in elementary school
- 3 I used one when I was in junior high school
- 4 I still use one now. (=>Go to Q23)
- 5 I've never used one. (=>Go to Q22 (3))

If you chose any answer from "1 I used one before I was in elementary school" to "3 I used one when I was in junior high school" in Q22 (1):

Q22 (2) Why did you stop using the Kids-to-Teens Hall? (Circle all that apply from the following options)

- 1 I got busy with studies or club activities
- 2 I got busy with work (including part-time jobs)
- 3 I no longer had someone (friends, etc.) to go with
- 4 The staff member I was friendly with stopped working there
- 5 I didn't have a good relationship with the staff
- 6 I started feeling uncomfortable about the people around me
- 7 I didn't want people around me to know I was going there
- 8 I don't like the name of the facility
- 9 Other ()
- 10 No particular reason

=>Go to Q23

If you chose "5 I've never used one" in Q22 (1):

Q22 (3) Why haven't you used a Kids-to-Teens Hall? (Circle all that apply from the following options)

- 1 It's not in a location that's easy for me to get to
- 2 I don't know what you can do there
- 3 The procedures for using it are a hassle
- 4 I never wanted to go to one
- 5 Other ()

Minato City is considering creating a "third place" in addition to your home and school that anyone who is of high school age can go, where you can feel relaxed and safe, express your real feelings, and get advice on the worries and anxieties unique to adolescence.

Please tell us about what kind of third place you would like to have.

Q23 If Minato City were to create a new place for high school-aged teenagers where you can feel at ease, what kind of place would be one you'd like to go to? (Circle all that apply from the following options)

- 1 Location is easy to get to
- 2 Easy to understand how to use
- 3 Can be used for free
- 4 Can go whenever I want to
- 5 Can study and read by myself
- 6 Can get help with my studies
- 7 Can play sports
- 8 Can talk and have fun with friends
- 9 There is Wi-Fi available
- 10 Can meet people from other schools
- 11 Can meet people from other generations
- 12 Can get advice on problems or anxieties
- 13 Can relax and not have to do anything, even by myself
- 14 Has a dining space for food and drinks you bring in
- 15 Provides free or inexpensive food and drinks
- 16 Has periodic events
- 17 Can plan our own events
- 18 Can interact online
- 19 Other ()
- 20 That kind of a place isn't needed

5. Other

Q24 Finally, please feel free to share any requests or expectations you have for Minato City with regard to the creation of a new place for high school-aged teenagers.

You have reached the end of the survey.
Thank you for your time.

1 あなた（調査対象のお子さんの保護者）について

問1 回答者の、調査対象のお子さんとの様子を教えてください。(Oは1つ)

1 父親	4 祖母
2 母親	5 その他()
3 祖父	

問2 あなたのお住まいはどの地区ですか。(Oは1つ)

1 35歳未満	5 50歳以上55歳未満
2 35歳以上40歳未満	6 55歳以上60歳未満
3 40歳以上45歳未満	7 60歳以上
4 45歳以上50歳未満	

問3 あなたのお住まいはどの地区ですか。(Oは1つ)

1 芝地区：(芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1-3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕)
2 麻布地区：(麻布狸穴町、麻布永坂町、南麻布、西麻布、元麻布、六本木、麻布台、麻布十番、東麻布)
3 赤坂地区：(元赤坂、赤坂、南青山、北青山)
4 高輪地区：(三田4・5丁目、高輪、白金、白金台)
5 芝浦高輪地区：(芝浦、海岸2・3丁目、高輪、台場)

問4 港区での通算の居住年数を教えてください。(Oは1つ)

1 1年未満	4 5年以上10年未満
2 1年以上3年未満	5 10年以上15年未満
3 3年以上5年未満	6 15年以上

問5 あなたのお勤め状況を教えてください。(Oは1つ)

1 会社員・公務員・団体職員(正社員)	5 主夫・主婦
2 会社経営・役員	6 無職
3 自由業・自営業	7 その他()
4 パート・アルバイト・派遣社員等の非正規職員	

問6 2022年中の世帯年収(一歳にお住まいの方全員の合計)を教えてください。(もっとも近いもの1つにO)

1 200万円未満	5 1000万円以上～2000万円未満
2 200万円以上～400万円未満	6 2000万円以上
3 400万円以上～600万円未満	7 分からない
4 600万円以上～1000万円未満	

2 調査対象のお子さんとのかわり方について

問7 あなたと調査対象のお子さんの関係性を教えてください。(Oは1つ)

1 良好	4 あまり良好ではない
2 まあ良好	5 良好ではない
3 どちらでもない	

問8 あなたは、普段調査対象のお子さんとのようにかかわっていますか。(あてはまるものすべてにO)

1 ご飯を食べる	10 勉強を教える
2 テレビや映画をみる	11 進路や将来について話す
3 面白い物に行く	12 恋愛について話す
4 スポーツをする	13 体や性について話す
5 旅行をする	14 仕事(アルバイト含む)について話す
6 友人関係について話す	15 その他()
7 調査対象のお子さんの性格について話す	16 ほとんどかかわらない
8 調査対象のお子さんの外見について話す	
9 学校生活のことについて話す	

問9 あなたが普段、調査対象のお子さんとかかわる期間についてお聞かせします。

問9(1) あなたは、平日に調査対象のお子さんとかかわる時間が1日あたりどれくらいありますか。(Oは1つ)

1 1時間未満	4 3時間以上4時間未満
2 1時間以上2時間未満	5 それ以上
3 2時間以上3時間未満	6 ない

問9(2) あなたは、休日に調査対象のお子さんとかかわる時間が1日あたりどれくらいありますか。(Oは1つ)

1 1時間未満	4 3時間以上4時間未満
2 1時間以上2時間未満	5 それ以上
3 2時間以上3時間未満	6 ない

問10 あなたは、教育や子どもへの差し方に關する情報を、主に誰またはどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

1 配属者	7 テレビ・ラジオ
2 英詞報	8 インターネット
3 新聞	9 新聞
4 親友	10 雑誌、書籍
5 友人、知人	11 その他()
6 学校、学校の先生	
7 行政の窓口や広報	

3 子どもの喜びやあなたの喜びについて

問11 あなたは、調査対象のお子さんが高校生世代になってから喜びを相談されたことはありますか。(○は1つ)

1 ある	2 ない (9問12入)
------	--------------

問11 (1)と問11 (2)は、問11で「1」ある」を選択した方のみお答えください。

問11 (1) あなたは、調査対象のお子さんからどのような内容について相談されましたか。(あてはまるものすべてに○)

1 勉強や成績に關すること	7 体や性に関すること
2 進路や将来に關すること	8 調査対象の子どもの性格に關すること
3 学校のこと (部活動を含む)	9 調査対象の子どもの外見に關すること
4 家族との関係・家庭環境に關すること	10 政治や社会情勢に關すること
5 調査対象の子どもの友人関係のこと	11 仕事 (アルバイト) に關すること
6 恋愛に關すること	12 その他 ()

問11 (2) あなたは、調査対象のお子さんが悩みをどこに (誰に) 相談しているか知っていますか。

1 知っている	2 知らない
---------	--------

あなたさんにお聞きします。

問12 あなたは、調査対象のお子さんとのかわり方で悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 子どもと過ごす時間が少ない	7 調査対象のお子さんの将来や進路のこと
2 子どもとうまく話さない	8 教育、指導方法がわからない
3 子どもの話を理解できない	9 子育てに關して家族の方針が合わない
4 子どもにうまく助言できるかわからない	10 子育てに關して周囲の理解が得られない
5 調査対象のお子さんの学校生活のこと	11 家族と協力して子育てができていない
6 調査対象のお子さんの仕事(アルバイト含む)のこと	12 その他 ()
	13 ない

問13 あなたは、調査対象のお子さんから相談をされた時や、調査対象のお子さんとのかわり方について悩んだ時、相談する相手はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1 配偶者	9 スクールカウンセラー
2 英詞報	10 教育センター
3 新聞	11 「港区子ども家庭相談ダイヤル」
4 親友	12 「港区おとなの子育て相談ねっと」
5 友人、知人	13 行政の相談機関・支援員
6 学校、学校の先生	14 その他 ()
7 職場の人	15 相談する相手はいない
8 学校、学校の先生	

※「港区子ども家庭相談ダイヤル」とは、18歳未満の子どもや子育てに關する相談員への相談ができます。受付は、午前8時30分から午後6時まで、土曜日は午後5時まで。(日曜、祝日、12月29日～1月3日は除く)

※「港区おとなの子育てねっと」とは、18歳未満の児童の保護者なら誰でも、スマートフォン、パソコンから相談できるシステムです。名前を言わなくても相談できます。

※各種相談窓口については、二次元コードからご覧いただけます。



子ども、子育て
相談センター
(別紙ホームページ)

問14 あなたが、調査対象のお子さんとの遊びのことや、調査対象のお子さんとのかわり方について相談窓口を相談するとき利用しやすいと思うことについて教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1 対面で直接相談できる	7 専門機関や窓口へつないでくれる
2 メールやSNSのメッセージで相談できる	8 専門的な知識を持った人が助言してくれる
3 電話やZoomなどのオンライン会議システムで相談できる	9 相談窓口が統一されている
4 日時を柔軟に対応してくれる	10 利用方法がわかりやすい
5 匿名性の確保や発信を守ってくれる	11 費用の負担がない
6 話を聞き、理解してくれる	12 その他 ()
	13 特にない

4. 区の施設について

港区には、高校生世代の子どもが利用できる子ども中高生プラザ等があります。
子ども中高生プラザ等とは、18歳未満の児童・生徒を対象とした施設で、体育館や宴会
室、図書室やスタジオ等があり、高校生世代の皆さんがスポーツや音楽活動などで利用しや
すい設備が整っています。



(港区立子ども中高生プラザ)：神明子ども中高生プラザ、東仲子ども中高生プラザ、赤坂
子ども中高生プラザ、赤坂子ども中高生プラザ青山館、高輪子ども中高生プラザ、恵比寿と
も中高生プラザ、芝浦アイランド児童遊園交流プラザ)

問15 あなたは、港区にある「子ども中高生プラザ」のことを知っていましたか。(○は1つ)

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

港区では、高校生世代の子どもたちが、家庭や学校のほかに、思春期特有の悩みや不安などが相談でき、
本音を言うことができる安全で安心して過ごせる「新しい居場所」を作ることを検討しています。
ぜひ、保護者の皆さんのご意見を聞かせください。

問16 港区内に新しく高校生世代の居場所をつくるとしたら、高校生世代の子どもたちは、どのような場
所であれは利用すると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 行きやすい場所にある
- 2 利用方法がわかりやすい
- 3 無料で利用できる
- 4 行きやすいときにいつでも行ける
- 5 自習や読書ができる
- 6 勉強を教えてもらえる
- 7 スポーツができる
- 8 友人と居せたり、遊べたりする
- 9 前・后・環境が整っている
- 10 ボランティア活動ができる
- 11 違う学校の人と出会う
- 12 違う世代の人と出会う
- 13 悩みや不安を相談できる
- 14 一人でも相手のんひり選べせる
- 15 持参したものを飲食できるスペースがある
- 16 無料または定価で飲食物の提供がある
- 17 定期的にイベントがある
- 18 自分たちで企画したことができる
- 19 インターネット上で交流できる
- 20 その他()
- 21 そのような場所はほらない

問17 高校生世代の子どもの育ちや権利が保障される居場所や仕組みをつくるために、区はどのよ
うなことに取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 子どもたちの相談を柔軟に対応する仕組みを 5 専門的な知識や資格を持つ人に相談できる仕
 組みをつくる
- 2 子どもたちが気軽に立ち寄れる場所をつくる 6 民間の相談サービスを利用する際の支援(補
 助金等)をする
- 3 子どもや子育てについて不安を抱える保護者 7 インターネット上で交流できる仕組みをつ
 くる
- 4 子どものかわりかについて不安を抱える 8 保護者が情報交換や相談ができる場所をつくる
- 5 その他()

5. その他

問18 最後に、高校生世代の子どものための居場所づくりについてや、高校生世代の子を持つ保護者に
対する支援について、区に期待することや求めることがありましたら、ご自由にご記入くださ
い。

以上でアンケートは終わります。
ご協力いただきありがとうございました。

1 About yourself (the parent or guardian of the child being surveyed)

Q1 What is your relationship to the child being surveyed? (Circle one of the following options)

- 1 Father
- 2 Mother
- 3 Grandfather
- 4 Grandmother
- 5 Other ()

Q2 How old are you? (Circle one of the following options)

- 1 Under 35
- 2 Over 35 but under 40
- 3 Over 40 but under 45
- 4 Over 45 but under 50
- 5 Over 50 but under 55
- 6 Over 55 but under 60
- 7 Over 60

Q3 Which area of Minato City do you live in? (Circle one of the following options)

- 1 Shiiba (Shiba, Kaigan 1-chome, Higashi-shimbashi, Shimobashi, Nishi-shimbashi, Kita 1 to 3-chome, Hamamatsacho, Shibodaimon, Shibakoen, Tonanomon, Atsugi)
- 2 Azabu (Azabu namimaecho, Azabu nagasackcho, Minami-azabu, Moto-azabu, Nishi-azabu, Roppongi, Azabudai, Azabuyuban, Higashi-azabu)
- 3 Akasaka (Moto-akasaka, Akasaka, Minami-oyama, Kita-oyama)
- 4 Takasawa (Mita 4 to 5-chome, Takasawa, Shirokane, Shirokanecho)
- 5 Shibaura-Lynan (Shibaura, Kaigan 2 to 3-chome, Koner, Daibo)

Q4 What is the total number of years you have lived in Minato City? (Circle one of the following options)

- 1 Less than 1 year
- 2 More than 1 year but less than 3 years
- 3 More than 3 years but less than 5 years
- 4 More than 5 years but less than 10 years
- 5 More than 10 years but less than 15 years
- 6 Over 15 years

Q5 What is your employment status? (Circle one of the following options)

- 1 Office worker/civil servant/employee of an organization (regular employee)
- 2 Company manager or executive officer
- 3 Self-employed
- 4 Part-time or contract worker etc. (not a regular employee)
- 5 Homemaker
- 6 Unemployed
- 7 Other ()

Q6 What was your household income for 2022 (including all persons who live with you)? (Circle the option which comes closest)

- 1 Less than 2 million yen
- 2 2 million-less than 4 million yen
- 3 4 million-less than 6 million yen
- 4 6 million-less than 10 million yen
- 5 10 million yen-less than 20 million yen
- 6 Over 20 million yen
- 7 Don't know

3

2 About the way you interact with the child being surveyed

Q7 Please tell us about the relationship you have with the child being surveyed. (Circle one of the following options)

- 1 Good
- 2 Somewhat good
- 3 Not really good or bad
- 4 Somewhat bad
- 5 Bad

Q8 How do you usually interact with the child being surveyed? (Circle all that apply from the following options)

- 1 Eating meals together
- 2 Watching TV or movies
- 3 Going shopping
- 4 Playing sports
- 5 Traveling
- 6 Talking about relationships with friends
- 7 Talking about the child's personality
- 8 Talking about the child's appearance
- 9 Talking about school life
- 10 Helping with studies
- 11 Talking about university and the future
- 12 Talking about love or dating
- 13 Talking about the body or sex
- 14 Talking about work (including part-time jobs)
- 15 Other ()
- 16 We hardly ever interact

Q9 Please tell us how much time you spend with the child being surveyed.

Q9 (1) About how much time do you spend with the child being surveyed on a weekday? (Circle one of the following options)

- 1 Less than 1 hour
- 2 1 hour to less than 2 hours
- 3 2 hours to less than 3 hours
- 4 3 hours to less than 4 hours
- 5 More than 4 hours
- 6 None

Q9 (2) About how much time do you spend with the child being surveyed on a day off? (Circle one of the following options)

- 1 Less than 1 hour
- 2 1 hour to less than 2 hours
- 3 2 hours to less than 3 hours
- 4 3 hours to less than 4 hours
- 5 More than 4 hours
- 6 None

Q10 From where or where do you mainly obtain information about education and how to rear children? (Circle all that apply from the following options)

- 1 Spouse
- 2 Parents
- 3 Parents-in-law
- 4 Friends or acquaintances
- 5 School, teachers at school
- 6 Administrative brochures and PR
- 7 TV, radio
- 8 The internet
- 9 Newspapers
- 10 Magazines, books
- 11 Other ()

4

区 の 木



ハナミズキ

区 の 花



アジサイ



バラ



港区のマークは、昭和24年7月30日に制定しました。旧芝・麻布・赤坂の3区を一丸とし、その象徴として港区の頭文字である「み」を力強く、図案化したものです。

刊行物発行番号 2023118-4827

港区高校生世代実態調査 報告書

令和5(2023)年10月発行

発行・編集 港区子ども家庭支援部子ども若者支援課
港区芝公園一丁目5番25号
03-3578-2111 (代表)